

市町村歳入内譯簿	様式第十二號
市町村歳出内譯簿	様式第十三號
市町村費概算支出整理簿	様式第十四號
雜部金受拂簿	様式第十五號
市町村税其他滞納處分簿	様式第十六號
消耗品受拂簿	様式第十七號
基本財産臺帳	様式第十八號
備品臺帳	様式第十九號
備品貸與簿	様式第二十號

前項ノ帳簿ハ職務上ノ便宜ニ由リ分合スルコトヲ得ルト雖モ其種類様式ノ更正ニ係ルモノハ第一次監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二條 市町村税其他ノ收入金ヲ徴収スル令狀(様式第二十一號)ハ徴収簿ニ據リ調製シ納期アルモノハ該納期十五日以前隨時收入ニ係ルモノハ其納期ヲ定メ遅クモ五日日前各納人ニ發スヘシ

第三條 市町村長ハ前條ノ令狀ヲ發シタルトキハ收入命令原簿(様式第十號)ニ其金額種目ヲ記載シ收入役ニ命令書ヲ交付スヘシ

第四條 收入役ハ各納人ヨリ納金シタルトキハ令狀ト照査シ之ヲ受領シ令狀ニ接續スル領收證ヲ切離シ捺印シテ納人ニ交付シ同時ニ歳入出日計簿(様式第十一號)及當該歳入内譯簿(様式第十二號)ニ登記スヘシ

第五條 市町村ニ於テ金員ノ支出ヲ要スルトキハ市町村長ハ先ツ其受取人ヨリ請求書ヲ徴シ支出命令原簿(様式第十號)ニ記入シ收入役ニ對シ支出命令書(様式第十號)ヲ發シテ其金員ヲ支拂ハ

シムヘシ

第六條 收入役前條ノ命令書ヲ受ケタルトキハ先ツ之ヲ精査シテ歳出内譯簿(様式第十三號)及歳入出日計簿ニ記入シ正當領收證ヲ徴シ其金額ヲ支出スヘシ

正當領收證ハ其金額ノ算出シ得ヘキ様明記スヘシ若シ明記シカタクモノハ明細書ヲ添付シ置クヘシ

支拂命令書及正當領收證其他ノ證書書類ハ目毎ニ一括シ之ヲ保存スヘシ

第七條 歳出中概算支拂ヲ爲ストキハ概算支出整理簿(様式第十四號)ニ記入シ前條ノ手續ヲ爲スヘシ概算支出ノ精算ヲ爲ストキ亦同シ

第八條 夫役現品ノ徴收ニ係ルモノハ令狀(様式第二十二號)ヲ發シタル後市町村長ハ收入役ニ通知シ其使用ハ當該主務者ニ命スヘシ但主務者ハ使用済ノ上收入役ニ報告スヘシ

夫役ノ徴收ニ係ルモノハ市町村長ヨリ收入役ニ對シ豫メ代人料ノ收入ヲ命令シ置クヘシ

收入役ハ主務者ヨリ使用済ノ通知ヲ受ケ若クハ其代人料ヲ收入シタルトキハ夫役現品徴收簿(様式第九號)ニ記入スヘシ

第九條 收入役ハ雜部金ノ受拂ヲ明瞭ナラシムル爲メ受拂ノ時々雜部金受拂簿(様式第十五號)ニ記載シ市町村長ノ檢印ヲ得テ取扱ヲ爲スヘシ

第十條 出納ニ關スル證書書類ニ記載スル數字ハ一、二、三、十、廿、卅、壹、貳、參、拾、貳拾、參拾ノ文字ヲ用フヘシ

第十一條 帳簿及證書書類中頁數ニ係ルモノハ改竄塗抹スヘカラス但誤謬ノ訂正ハ原字ニ朱線ニ條ヲ施シ之ニ檢印スヘシ

記帳ノ誤謬ヲ發見シタルトキハ其事由ヲ詳記シテ之ヲ訂正シ誤謬ノ當日ニ遡リテ正誤スルヲ得

ス

第十二條 前各條中特ニ規程アルモノ、外二十六年四月石川縣訓令甲第三號市役所町村役場帳簿規定準則第三條第四條ヲ適用ス

第十三條 市町村ノ區ニ於テ經濟ヲ異ニスル事件アルカ或ハ市町村ニ於テ組合町村長若クハ水利組合管理者タル場合モ亦本規程ニ準シ出納帳簿ヲ整理スヘシ

様式第一號 (表紙式) (以下表紙式之ニ準ス)

明治何年度市(町村)税徵收簿  
地價割之部

何市役所  
何郡何町(村)役場

明治何年度市(町村)税地價割之部	何期納額	何期納額	何期納額	何期納額
地租割前何程	何月何日 第何號	地租割後何程	何月何日 第何號	何月何日 第何號
金何程何月何日收入	何月何日 第何號	何月何日 納稅義務消滅	何月何日 納稅義務消滅	何月何日 納稅義務消滅
收入○收入役印	還付	金	月日第號	字何
金何程何月何日收入	還付	金	月日第號	字何
收入役印	還付	金	月日第號	字何
合計	合計	合計	合計	合計

合計	合計	合計	合計
合計	合計	合計	合計
合計	合計	合計	合計
合計	合計	合計	合計

備考

一戸別割以下ノ各税モ亦總テ本式ノ例ニ倣ヒ調製スヘシ

一本簿調製後納稅義務消滅シ徵收額ニ異動ヲ生シタルトキハ摘要欄内ヘ其事故ヲ詳記シ納額欄内ニ其月割金額或ハ還付金額ヲ記載スヘシ

様式第二號

明治何年度財産ヨリ生スル收入金受入簿

摘要	科目	目	收入額	人名
某所字何宅地賃地料一ヶ年分	賃	地	料	
何月何日 第何號	何月何日 第何號	何月何日 第何號	何月何日 第何號	字何
金何程何月何日收入	何月何日 第何號	何月何日 第何號	何月何日 第何號	某
收入○收入役印				
合計	合計	合計	合計	合計
合計	合計	合計	合計	合計

備考

一本簿二期以上ノ收入ナルトキハ收入ノ欄ヲ分ツヘシ

様式第三號

明治何年度使用料及手数料徵收簿

(市町村税其他ノ收入金督促手数料ノ外)  
帳簿式ハ様式第二號ニ準シ調製スヘシ)

督促令狀番號	科目	滞納金額	督促手数料	摘要	人名
月日	照税何種金	金			
第月日	地租何種金				

様式第四號

明治何年度雑收入受入簿  
(授業料徴收部ノ外第二號様式ニ準シ調製スヘシ)

月次	徴收額及領收月日	摘要	月次	徴收額及領收月日	摘要
四月分	除何程ノ長印 一月日收入ノ収入役印 羽印		十月分		
五月分			十一月分		
六月分			十二月分		

字何 生能人何 某

七月分	八月分	九月分	一月分	二月分	三月分

様式第五號 明治何年度繰越金受入簿  
(帳簿式ハ第二號様式ニ準シ調製スヘシ)

様式第六號 明治何年度交付金受入簿  
(帳簿式ハ第二號様式ニ準シ調製スヘシ)

様式第七號 明治何年度縣稅補助金受入簿  
(帳簿式ハ第二號様式ニ準シ調製スヘシ)

様式第八號 明治何年度寄附金受入簿  
(帳簿式ハ第二號様式ニ準シ調製スヘシ)

様式第九號 明治何年度夫役現品徴收簿

高總 夫役 何百人  
何物品 何百個

使用目的	使用年月日	使用時限及場所	代人	料
賦課員數	使用受入濟年月日	摘	要	納人氏名
印	印	印		

備考

- 一本簿ハ一事業毎ニ口別ヲナスヘシ
  - 一令狀ト賦課員數ト割印スヘシ
  - 一代人料ヲ納メタルトキハ摘要ノ欄ニ其旨ヲ記シ上欄ニ使用受入濟ノ記入ヲナスヘシ
  - 一寄附ニ係ルモノモ本簿ニ準シ別冊ニ調製スヘシ
- 様式第十號

市町村費收入(支出)命令原簿

原簿命令書

明治 年 月 日 調氏 名 印

決裁 ○ 命令案

收(支)第 號

一金何程 何々何某納何某渡又ハ何月何日限徵收ノ分

右收入(支出)ヲ命ス 但何年度何々ノ内收入又ハ支出

印 割

收(支)第 號

一金何程 何々何某納何某渡又ハ何月何日限徵收ノ分

右收入(支出)ヲ命ス 但何年度何々ノ内收入又ハ支出

明治 年 月 日 何市町村長氏名 印

何市町村收入役何某殿

備考

一 收入命令ハ款或ハ日毎ニ支出命令ハ各目毎ニ發スヘシ  
様式第十一號

明治何年度市町村歲入出日計簿

月日	當日受高	總受高	當日拂高	總拂高	殘高
月日					
月日					
月日					

備考

一本簿ノ當日受高ハ歲入内課簿收入高ノ各項ヲ合計シタルモノヲ總受ハ凡テ同日迄ノ總受高ヲ記載シ當日拂ハ歲入内課簿支出高ノ各項ヲ合計シタルモノヲ記載スヘシ  
様式第十二號

明治何年度市町村歲入内課簿

△印ハ朱書

年月日	摘要	番號	豫算額	收入高	豫算殘高
何年	△第何款何々		△金何程		
何月何日	何期何々税何某外何 十名納ノ分	第何號	金何程○ <small>收入役印</small>	金何程○	金何程○ <small>收入役印</small>
同		第何號	金何程○	金何程○	金何程○
何月何日	計(以下通計ヲ記ス)		金何程○	金何程○	金何程○

備考

一本簿ハ豫算表式ニ依リ款或ハ日毎ニ目札ヲ付シ合冊トスヘシ  
一 豫算額ハ決議額ヲ記載スヘシ追加或ハ變更スルトキ亦同シ  
様式第十三號

明治何年度市町村歲入内課簿

△印ハ朱書

年月日	摘要	番號	豫算額	支出高	豫算殘高
何年	△第何款何々		△金何程		
何月何日	何月分何々何某 外何名渡	第何號	金何程○ <small>收入役印</small>	金何程○	金何程○ <small>收入役印</small>
同			金何程○	金何程○	金何程○
何月何日	計(以下通計ヲ記ス)		金何程○	金何程○	金何程○

備考

一本簿ハ豫算表式ニ依リ各目毎ニ目札ヲ付シ合冊トスヘシ  
一 豫算額ハ決議額ヲ記載スヘシ追加或ハ變更スルトキ亦同シ  
様式第十四號

明治何年度市町村費概算支出整理簿

年月日	摘要	番號	概算支出高	精算高	返納高	不足退給高	算頭	未
何年何月何日	何某何地出張費概算	第 號	金何程				何月何日精算	
、、、	、、、	、	金何程					
、、、	通 計	第 號	金何程					
、、、	通 計	第 號	金何程					
、、、	通 計	第 號	金何程					

印長  
 年月日 摘要 要 受 拂 殘  
 何誰何府縣何郡市町村大字ニ於テ死亡諸費何縣廳ヨリ下渡  
 何誰死亡諸費何府縣何市町村役場償還ノ爲メ町村長某渡  
 何誰本縣何郡市町村大字ニ於テ救護費照應ヨリ下渡

備 考  
 一本簿ハ合冊トシ各目毎ニ目札ヲ附スヘシ  
 様式第十五號  
 明治何年度雜部金受拂簿

様式第十六號

年月日	摘要	期	收入スヘキ金員名稱	滞納金額	滞納處分決着額	行以前ニ收シテシテシ金額	行以上ノ收入額	附高	要住	處氏	名
年月日	何誰救護費何郡町村役場償還ノ爲メ町村長某渡										

公費處分財產差額金  
 執行年月令ヲ發シタ  
 日  
 期  
 收入スヘキ  
 金員名稱  
 滞納金額  
 滞納處分決着額  
 行以前ニ收シテシテシ金額  
 行以上ノ收入額  
 附高  
 要住  
 處氏  
 名

備 考  
 一本簿ハ科目毎ニ口別シテ整理スヘシ  
 一收入スヘキ金員名稱ノ欄ニハ其處分ニ關スル諸費用等ヲ明記スヘシ  
 様式第十七號  
 明治何年度消耗品受拂簿

紙 半  
 月 日 摘 要 受 拂 殘  
 合 計

備 考  
 明治何年度雜部金受拂簿

- 一本簿ハ種類毎(例ヘハ半紙又ハ美濃紙ト云フカ如シ)ニ口別ヲナスヘシ
- 一物品ノ交付ハ拂ノ欄へ受取人ニ捺印セシムヘシ
- 一合計ハ毎月末日ニ受拂残ノ總高ヲ掲グヘシ

基本財産臺帳  
土地ノ部

郡名	市町村名	大字名	番地	地目	段別	地價	地租	價格	編入年月日	備考

備考

- 一基本財産臺帳ハ總テ之ヲ一冊トナシ各其種類ニ依リ口別ヲナスヘシ基本財産ニアラサル財産モ本式ニ倣ヒ別帳ニ調製スヘシ
- 一價格ノ欄ニハ買入直段又ハ編入當時ノ實價ヲ記入ス
- 一編入年月日ノ欄ニハ基本財産ト定マリタル年月日ヲ記入シ除却年月日ノ欄ニハ基本財産ヨリ除却シタル年月日ヲ記入ス
- 一以上ノ諸件ハ建物以下ノ四様式ニモ之ヲ適用スヘシ又本様式及以下諸様式外ノ種類アルトキハ各式ニ準シ適宜調製スヘシ

公債證書ノ部

公債證書額面	公債證書番號	種類	價格	編入年月日	備考

備考

- 一種類ノ欄ニハ整理公債金録公債等ヲ記入ス
- 一諸會社株券ノ如キモ本式ニ準シ調製スヘシ

建物ノ部

郡名	市町村名	大字名	番地	地種	目坪	數價	格	構造種	使用名	編入年月日	備考

備考

- 一 種目ノ欄ニハ土藏板敷長屋等ノ類ヲ記入ス
- 一 構造種類ノ欄ニハ日本造平家建造作付又ハ西洋造ニ階家等ヲ記入ス
- 一 使用名ノ欄ニハ現ニ供用シアル其名稱又ハ供用目的ノ名稱ヲ記入ス
- 一 建物ハ凡テ平面圖ヲ添付スヘシ

積立金ノ部

金額	種類	目	編入年月日	除却年月日	備考

備考  
 一種目ノ欄ニハ凶荒豫備或ハ學事等ヲ類別記入ス  
 積立穀ノ部

石	數	種	類	價	格	蓄積場處	編入年月日	除却年月日	備考

備考  
 一種類ノ欄ニハ米麥粟等ヲ類別記入ス  
 様式第十九號

何	番	號	品	目	買	數	價	格	單	價	摘	要

備品臺帳

備考  
 一 備品ハ所屬ノ區別ニ依リ部分ケテ爲スヘシ  
 一 摘要ノ欄ニハ買入年月日或ハ毀損ノ事項等ヲ記入スヘシ  
 一 價格ハ買入代價又ハ評價格ヲ以テ記入スヘシ  
 一 單價ハ一個ノ價ヲ記入スヘシ  
 一 同種ノモノ數個アルトキ例ヘハ椅子桌子ノ類ハ何號ヨリ何號マテト記入スヘシ  
 様式第二十號

備品貸與帳

番	號	品	目	個	數	貸與年月日	返納年月日	摘要	借受人氏名

備考  
 一 備品ヲ貸與シタルトキハ貸與年月日ノ下ヘ借受人ニ捺印セシメ返納ノトキハ返納年月日ノ下ニ取扱者證印スヘシ  
 一 共用ニ係ルモノハ其取扱者專用ニ係ルモノハ其專用者ヲ借受人トナスヘシ  
 一 學校ノ備品ハ校長若クハ其指命ノ取扱者ヲ以テ借受人トナスヘシ  
 一 基本財産ヲ貸與シ小作料又ハ使用料若クハ利息等ヲ徴スルモノモ本簿ニ準シ便宜調製記入スヘシ



様式第二十一號

第 號	納 人 何市町村字 某
割印	一金 明治 年 何期地價割又ハ何々附加税トカ 右何年 月 日 限リ收入役へ收ムヘシ 年 月 日 市町村長 氏名印
第 號	納 人 何市町村字 某
割印	一金 明治 年 何期地價割又ハ何々附加税トカ 右 領 收 候 也 年 月 日 市町村收入役 氏名印

令狀ハ徵收簿ト割印スヘシ  
様式第二十二號一

年度	納 人 何市町村字 某
割印	夫 役 何人 但此代人料壹人分金 右何年 月 日ヨリ何所へ何々ノ爲メ出役スヘシ但出役時限ハ每 日午前第 時ヨリ午後第 時迄トス若シ代人料ヲ納メントスルモ ノハ右出役期日三日前ニ之ヲ收入役へ納ムヘシ 年 月 日 市町村長 氏名印
年度	納 人 何市町村字 某
割印	夫 役 何人 使用受入 濟

主務者何市町村助役又ハ書記  
何 某 印

年月日

備考

一若シ代人料ヲ納ムルトキハ其金額ヲ記入シ收入役領收ノ印ヲ捺スヘシ  
様式第二十二號二

年度	何々品	何個	納人	何市町村字	某
年度	何々品	何個	納人	何市町村字	某
右何年月日限收入役へ相納ムヘシ	市町村長 氏名印				
割印	何個				
年度	何々品	何個	納人	何市町村字	某

右領收候也

年月日

市町村收入役 氏名印

○石川縣訓令甲第五號

郡市役所  
町村役場

市町村出納檢閱規左之通相定ム

石川縣知事代理

石川縣書記官 龍岡信熊

明治二十六年四月一日

市町村出納檢閱規

- 第一條 市制第百十一條及町村制第百十一條ノ出納檢査ハ左ノ例ニ依リ之ヲ行フヘキモノトス
- 一 市町村稅其他市町村ノ收入及支出各其取扱規程ニ對スル正否
- 二 收支命令ノ金額ト之ニ對スル帳簿及納付並領收書ノ對照
- 三 豫備費支出ノ當否
- 四 金錢、物品ノ請求書、領收書並收支ニ關スル證書類ノ整否
- 五 現在ノ金錢、物品ト之ニ對スル帳簿ノ對照
- 六 基本財産取扱ノ當否
- 七 前各項ノ外必要ト認ムル事項

第二條 前條ノ検査ヲ了ヘ正當ナリト認メタルトキハ其帳簿ヘ検査ノ年月日職氏名ヲ記入シ職印ヲ捺スヘシ

臨時検査ニ於テハ立會人モ亦前項ノ手續ヲナスヘシ

第三條 検査上左ノ事項ハ市ハ知事町村ハ郡長ニ報告スヘシ

一 例月検査ノ定日

一 不當ノ收支若クハ不整理

一 臨時検査ノ状況

○石川縣訓令甲第六號

市町村吏員事務引繼順序左ノ通相定ム

郡 市 役 所  
町 村 役 場

石川縣知事代理

石川縣書記官 龍岡信熊

明治二十六年四月一日

市町村吏員事務引繼順序

第一條 市町村長及收入役ノ事務引繼ハ本順序ニ依ルヘシ

市參事會員并町村助役委員等其分掌事務ノ引繼モ亦本順序ノ例ニ依ル

第二條 市町村長及收入役退任ノ際ハ其退任ノ日ヨリ十日以内ニ事務引繼ヲナスヘシ

市町村長及收入役死亡ノ時ハ市町村長ノ事務ハ其代理者收入役ノ事務ハ市町村長代テ其死亡ノ日ヨリ十日以内ニ前項ノ手續ヲナスヘシ

第三條 市町村長收入役ノ後任者第二條ノ期限内ニ就職セサルトキハ直ニ市町村長ハ其代理者ニ

收入役ハ其市町村長ニ事務ノ引繼ヲナスヘシ

第四條 前條ノ引繼ヲ受ケタル者後任者就職ノ時ハ七日以内ニ引繼ヲ爲スヘシ

第五條 前各條ノ期限内ニ於テ事故アリテ引繼ヲ爲ス能ハサルトキハ其理由ヲ具シ期限ヲ定メ連署ノ上若シ連署シ能ハサル事實アラハ一方ヨリ第一次監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第六條 事務ノ引繼ハ第七條ニ定ムル所ノ目錄又ハ仕譯書若クハ演述書ニ依リ物件ニ係ルモノハ其對照ヲ了ヘ受渡ヲナスヘシ

第七條 簿書及財産ハ其名稱員數等ヲ詳記シタル目錄、出納ニ關スルモノハ其收支仕譯書處分未濟ノ事務其他將來ノ處分ニ就キ意見アルモノハ演述書ヲ添フヘシ

第八條 事務引繼ノ期日ハ五日以前ニ第一次監督官廳ヘ報告スヘシ同廳ハ引繼ノ當日吏員ヲ派遣シテ臨檢セシムルコトアルヘシ

第九條 事務引繼上意見ヲ異ニスルモノアルトキハ第一次監督官廳ノ指揮ヲ受クヘシ

第十條 事務引繼濟ノ上ハ互ニ受渡濟ノ證書ヲ交付シ即日其顛末ヲ引繼ヲ受ケタル者ヨリ第一次監督官廳ニ報告スヘシ

○石川縣訓令甲第七號

市町村巡視規程左ノ通相程ム

但明治二十二年四月二十三日石川縣訓令第六十六號ヲ廢止ス

明治二十六年四月一日

石川縣知事代理

石川縣書記官 龍岡信熊

郡 市 役 所  
町 村 役 場

石川縣知事代理

石川縣書記官 龍岡信熊

明治二十六年四月一日

市町村巡視規程

- 第一條 郡長ハ毎年少クモ一回部内町村ヲ巡視シ且郡書記ナシテ隨時巡視セシムヘシ  
郡書記ニ巡視ヲ命スルトキハ事務ノ種類又ハ部内ノ地域ニ因リ其分擔ヲ定ムルコトヲ得其之ヲ定メタルトキハ知事ニ報告スヘシ
- 第二條 巡視スヘキ事項ノ概目左ノ如シ
  - 一 町村全体ノ狀況
  - 二 吏員ノ勤怠能否及事務ノ成績
  - 三 町村役場事務分課及執務ノ体裁
  - 四 町村事務ノ狀況
  - 五 町村吏員ノ處置法律命令ノ規定ニ適合スルヤ否
  - 六 吏員ノ部民ニ對スル接遇
  - 七 町村會々議ノ狀況
  - 八 町村會議員選舉ノ狀況
  - 九 豫算決算ノ整理
  - 十 營造物及財産ノ管理
  - 十一 簿書ノ整頓並保存
  - 十二 出納ノ正否及現金ノ保管
  - 十三 町村經濟ノ狀況
- 其他必要ト認ムル事項
- 第三條 前條各事項ノ細目ハ郡長之ヲ定メ知事ニ報告スヘシ

- 第四條 郡長巡視ヲ了リタルトキハ其事項ノ詳細ヲ知事ニ報告スヘシ
- 第五條 郡書記巡視ヲ了リタルトキハ別紙書式ノ復命書ヲ郡長ニ呈供スヘシ  
郡長ハ郡書記ノ復命書ヲ勘査シ將來ノ處分ニ就キ意見アル者ハ其復命書ニ添ヘ知事ニ報告スヘシ
- 第六條 知事ハ屬ナシテ隨時市町村ヲ巡視セシム其巡視ノ事項並手續及復命書式等ハ第一條末項第二條及第五條ノ例ヲ適用ス  
但巡視事項ノ細目ハ別ニ定ムル所ニ依ル
- 第七條 屬巡視ヲ了リタルトキハ其復命書ヲ知事ニ呈供スヘシ
- 第八條 屬書記ハ巡視事項ヲ視察スルノ外知事郡長ノ命令ヲ待タズシテ直ニ指揮スルコトヲ得ス但法律命令ニ違ヒ又ハ錯誤ヲ發見シ事輕微ニシテ直ニ更正シ得ヘキモノハ町村長ニ注意ヲ與フルコトヲ得若シ其直ニ更正セシメ難キモノハ即時屬ハ知事書記ハ郡長ニ報告スヘシ
- 第九條 巡視ノ事項ハ秘密ニ取扱ヒ他ニ漏泄セシムヘカラス

復命書式

町村巡視	明治	年	月	日	何郡何町村
復命書	巡視				
事項	要領				
市町村内ノ狀況					
吏員ノ勤怠					
事務ノ成績					
町村事務ノ狀況					

一 用紙ハ美濃紙ヲ用ヒ一葉内ニ一市町村ニ係ル各事項ヲ記入スル爲メ豫メ區畫ヲ印刷シ置キ若シ區畫狹隘ニシテ記入シ得サルトキハ更ニ同用紙ヲ用フヘシ

二 記載ハ簡明ヲ要シ事實ハ想像ニ涉ラス視察ノ實況ヲ掲クヘシ

一 事務ノ改正等ニ就キ意見アルモノハ別ニ其詳細ヲ具申スヘシ

○石川縣訓令甲第八號

郡 市役所  
町 村役場

市町村事務報告例左ノ通知定ム  
但從來ノ訓令ニシテ本例ニ抵觸スルモノハ渾テ廢止ス

石川縣知事代理

石川縣書記官 龍岡信熊

明治二十六年四月一日

市町村事務報告例

第一條 本例ハ市町村ノ事務ニ就キ郡市町村長ヨリ其緩急ニ從ヒ報告スヘキ事項、順序ヲ示スモノトス

第二條 報告ヲ分テ豫報、即報、及年報ノ三種トス

豫報ハ事實ノ生スル前即報ハ事實ノ生シタル日年報ハ毎年一回指定ノ時日迄ニ報告スヘキモノトス

第三條 市ノ報告ハ縣知事ニ町村ノ報告ハ郡長ニ呈供スヘシ

第四條 市町村ノ事務ニシテ報告ヲ要スル事項左ノ如シ

第一款 豫報

- 一 市町村會議員選舉期日
- 二 市町村會開會期日
- 三 市町村會議件
  - 第二款 即報
  - 一 市町村會議員、市町村吏員選舉ノ結果及其選舉錄原本
  - 二 市町村會閉會並其決議裁決及議事錄原本
  - 三 市町村會議決ノ執行停止及再議ニ付シタル事件
  - 四 市町村會議員選舉ノ効力ニ關スル處分
  - 五 市町村公民權ノ特免停止及市町村費増課處分
  - 六 市町村内ニ區ヲ設ケ區長及代理者ヲ置キ又ハ之ヲ廢スル事
  - 七 常設若クハ臨時委員ノ設置及廢止ノ事
  - 八 市町村會議員、市町村吏員ノ就職、退任及辭職 様式(第五條様式第四號ニ準ズ)
  - 九 市町村助役並市參事會員及市町村委員ノ分掌事項
  - 十 市町村會會議細則及役所、役場内諸規定
  - 十一 市町村吏員ノ懲戒處分
  - 十二 市町村歳入歳出豫算表並其更正追加及決算
  - 十三 市町村事務報告書及財産明細表寫
  - 十四 一時借入金及三在以内ノ公債募集
  - 十五 學藝美術ニ關スル物品ノ異動
  - 十六 訴訟並和解ニ關スル事

第三款 年報

- 一 市町村税金納處分ニ係ル人員及金額  
様式(第五條様式第  
三號)準ス 七月十日
  - 二 市基本財産  
様式(第五條様式第  
五號)準ス 七月二十日
  - 三 市共有財産  
様式(第五條様式第  
六號)準ス 七月二十日
  - 四 市町村吏員退職料受領人員及金額  
様式(第五條様式第  
七號)準ス 二月二十八日
  - 五 市町村會議員選舉人調  
様式(第八號) 一月三十一日
- 第五條 町村ノ事務ニ就キ郡長ヨリ知事ニ報告スヘキ事項左ノ如シ
- 第一款 即報
  - 一 町村制ニ依リ郡長限リ施行事件
  - 二 町村歳入歳出豫算更正(追加)
  - 三 町村會議員並町村吏員異動  
様式(第四號)
  - 第二款 年報
  - 一 町村歳入歳出豫算  
様式(第一號) 四月三十日
  - 二 町村歳入歳出決算  
様式(第二號) 七月二十日
  - 三 町村税ノ滞納處分ニ係ル人員及金額  
様式(第三號) 七月二十日
  - 四 町村基本財産  
様式(第五號) 七月二十日
  - 五 町村共有財産  
様式(第六號) 七月二十日
  - 六 町村吏員退職料受領人員及金額  
様式(第七號) 三月十五日

- 七 町村會及同議員選舉人調  
様式(第九號) 一月三十一日
  - 八 町村事務ノ帳弛  
一月三十一日
- 第六條 前各條ノ外法律命令ニ依リ報告スヘキモノハ各其規定ニ依ルヘシ  
様式第一號 (用紙美濃紙)

自明治何年四月  
至同 何年三月

明治何年度町村費歳入出豫算報告書

何 郡 役 所

歳入豫算總計表

科 目	本年 度 豫 算 高		前 年 度 豫 算 高		比 較
	入	雑 收	入	雑 收	
財産ヨリ生スル收					増 減
使用料及手数料					
雑 收					

●訓令甲

科目及金高	役場名	何役場	公債	何々	合計
財産ヨリ生スル収入					
使用料及手数料					
雑収入					
前年度ヨリ繰越金					
國庫交付金					
縣稅交付金					
寄附金					
町村稅					
地價割					

歳入像算町村別表

四十一

●訓令甲

前年度ヨリ繰越金	國庫交付金	縣稅交付金	寄附金	町村稅	地價割	營業割	戶別割	家屋割	間接稅	附加稅	所附稅	段別割	夫役	何々

四十二





				臨時費							
科目及金高	役場名	何役場	何々	何	衛生費	教育費	土木費	役場費	役場費	何	何々

歳出豫算役場別表

經常費																		
科	目	役場費	會議費	土木費	教育費	衛生費	救助費	警備費	勸業費	諸税及負擔	町村公債費	雜支出	共同物諸費	豫備費	本年度豫算高	前年度豫算高	增比	較減

常 經 費						時 費				
會 議 費	土 木 費	教 育 費	諸 稅 及 負 擔	町 村 公 債	雜 支 出	像 備 費	計	何 々	衛 生 費	教 育 費

町村組合並存續會費賦出豫算區域別表

常 經 費												臨 費	
救 助 費	警 備 費	勸 業 費	諸 稅 及 負 擔	町 村 公 債 費	雜 支 出	共 同 物 諸 費	像 備 費	計	役 場 費	土 木 費	何 々	衛 生 費	教 育 費

合	臨時費			何々
	計	育	木	
計				

備考

一 豫算表中町村別表及區域別表ハ書式ノ用紙ヲ役場等ノ數ニ足ル丈幾枚ニテモ綴ルヘシ

一 町村別表ハ一町村限リ要スル收支額區域別表ハ組合學校費等ノ如キ數役場ニ跨ル收支額ヲ區別セシモノニテ之ヲ總計表ニ合算登記スヘシ

一 區域別表ノ歳入ハ直接徵收セシモノハ該表ニ其區別明了ヲ得ルト雖モ組合會ニ於テ單ニ町村負擔額ノミヲ定メテ各自ノ出金高ハ町村會ニテ取極ノ町村ノ收入ト共ニ徵收セシ額ハ町村別表ノ方チ存シ置キ區域別表ノ方ハ右ニ該當スル收入ヲ掲ケサルモノトシ兩表ニ金高ノ重複セサル様登記スヘシ

一 區域別表ノ歳入豫算表中負擔額トアルヲ總計表ニハ町村稅ノ科目ニ編入スヘシ

樣式第三號 (用紙美濃紙) (△印ハ朱書)

白明治何年四月  
至同 何年三月

明治何年度町村費歳入出決算報告書

何 郡 役 所

歳入之部

科	目 決 算 高 豫 算 高			比 較
	増	比	減	
財産ヨリ生スル收				
入				
使用料及手数料				
雑 收				
入				
前年度ヨリ繰越金				
國庫交付金				
縣稅交付金				

訓令甲

科 目	決 算 高 額		比 較
	決 算	高 額	
寄附金			
町村税			
地價割			
營業割			
戶別割			
家屋割			
間税國税附加税			
所得稅附加稅			
段別割			
夫役			
何々			
公債			
何々			
衛生費			
救助費			
教育費			
町村會ノ決議高			
學區會等ノ決議高			
區域會決議高			
土木費			
會議費			
役場費			
合計			

歲出之部

五十一

訓令甲

何 々	公 債	何 々	夫 役	段 別 割	所 得 稅 附 加 稅	間 稅 國 稅 附 加 稅	家 屋 割	戶 別 割	營 業 割	地 價 割	町 村 稅	寄 附 金

五十一

警備費	
勸業費	
諸税及負擔	
町村公債費	
雜支	
共用物諸費	
何々	
役場費	
土木費	
町村會ノ決議高	
區域會決議高	
教育費	
町村會ノ決議高	

學區會等ノ決議高	
衛生費	
何々	
合計	
歳入	
歳入	
内	
金	
金	
金	
計	
現	
現	
現	

△内番アルトキハ此七字ヲ要セス

翌年度へ繰越高

基本財産へ編入

豫算ニ對スル何收入實收ノ減損へ補填

何々

翌年度へ繰越高

備考  
一決算殘金ハ翌年度繰越金ニ編入スルヲ通例トスト雖モ若シ議會ノ決議ヲ經テ殘金ノ内基本財産へ編入スルカ又ハ收入豫算ニ屬スル實收減損ヲ補填セシ場合ハ差引殘ニ於テ其金高ヲ内書シテ現殘金ヲ出シ即チ其金ハ翌年度ニ於テ前年度ヨリノ繰越金トナルヘキモノニ付前後金高

ニ差違ヲ生セサル様注意スヘシ  
 又歳出科目中ニ豫備費ヲ掲グルトキハ豫算額ハ掲出スヘキモ決算ハ其支出ヲ爲シタル費目ニ於テスヘキ筋ナルカ故ニ豫備費ノ欄ニハ支出額ヲ明示スルニ及ハス

何年度町村税滞納處分實況調

何	町	村	何	何	村	町		何
						税	税	
員	員	員	員	員	員	員	員	員
額	額	額	額	額	額	額	額	額
額	額	額	額	額	額	額	額	額
額	額	額	額	額	額	額	額	額
額	額	額	額	額	額	額	額	額
額	額	額	額	額	額	額	額	額
額	額	額	額	額	額	額	額	額

備考  
 一本表ハ單ニ一町村ノ例ヲノミ掲ケタルモノナレハ郡内各町村毎ニ此式ニ依リ全表ヲ調製スヘキモノトス(以下ニ表亦同シ)

樣式第四號

某郡町村吏員及議員異動報告

職	名	給料額	報酬額	就任、退任、辭職 月日	住所大字番地	族籍氏名

一 他市町村へ處分ヲ囑托セシモノハ相當欄へ組入ルヘシ  
 一 通貨ヲ差押へ徴收シタルモノニ係ル稅額人員ハ第九欄へ組入レ該額ハ同欄内ニ朱書ヲ以テ内書スヘシ  
 一 評價ヲ以テ賣却徴收シタルモノニ係ル稅額人員ハ第十欄へ組入レ該額ハ同欄内ニ朱書ヲ以テ内書スヘシ

樣式第五號

某郡町村基本財産調

町村名	土地價格	建物價格	穀物價格	諸公債證 諸株券價 格			現金	其他諸品 價格	合計
				格	格	格			

備考  
 何年度末現在

一土地、建物、穀物、公債證書、株券共其種類ヲ細別スルニ及ハス各價格ノ總計ヲ見積概算ヲ以テ記入スヘシ但山林原野ノ土石木等ノ價格ハ土地ニ合算スヘシ

一土地ノ價格ハ比隣同等地ノ賣買實價、土石木竹ハ見積價、建物價格ハ評價、穀物諸公債證書及株券價格ハ時價、其他諸品價格ハ其品物ニ應シ時價又ハ評價ヲ以テスヘシ

様式第六號

町村名	某郡町村共有財産調			何年度末現在		
	別土地價格	建物價格	穀物價格	諸公債證書價格	諸株券價格現	金其他諸品價格
一町村共						
有數町村共						
何町村共						
村						
町						
村						
計						

備考

一土地、建物、穀物、公債證書、株券共其種類ヲ細別スルニ及ハス各價格ノ總計ヲ見積概算ヲ以テ記入シ貸付金ハ現金ト見做シ記入スヘシ但山林原野ノ土石木等ノ價格ハ土地ニ合算スヘシ

一土地ノ價格ハ比隣同等地ノ賣買實價、土石竹木ハ見積價、建物價格ハ評價、穀物諸公債證書及株券價格ハ時價、其他諸品價格ハ其品物ニ應シ時價又ハ評價ヲ以テスヘシ

様式第七號

市町村吏員退隱料受領人員及金額		明治何年十二月三十一日調	
種別	人員	金額	
市町村長			
市町村役			
合計			

備考

一本表ニ掲グル人員ハ十二月三十一日ノ現員ヲ掲ケ金額ハ其現員ニ支給スヘキ年額ヲ掲載スヘシ假令ハ書記ニシテ退隱料年額六圓ヲ受クルモノ二人アレハ人員二人支給金額拾貳圓ト掲載スルカ如シ

一市町村制ニ依リ官職其他ノ職務ニ就キ給料ヲ受クル者ト雖モ本表ニハ之ヲ合算シ除クヘカラス

様式第八號

市町村會議員選舉人調		明治何年十二月三十一日調	
選舉權ヲ有スル者總數	士族	平民	別

様式第九號

町村會及同議員選舉人調		明治何年十二月三十一日調	
種別	會數	選舉權有スル者總數	同種別
町村會			士族平民
町村組合會			
町村總會			
合計			

備考

一 町村組合會ハ町村制第十六條ニ依テ設置スルモノナ云フ  
 一 町村總會ハ町村制第三十一條ニ依テ設置スルモノナ云フ其選舉權有スルモノ、數ハ掲載スルニ及ハス  
 一 會數ハ開會ノ度數ニアラス設置ノ數ナリ

○石川縣訓令甲第九號

郡役所

郡事務報告例左ノ通相定ム

但從前ノ訓令ニシテ本例ニ牴觸ノモノハ渾テ廢止ス

明治二十六年四月一日

郡事務報告例

石川縣知事代理

石川縣書記官龍岡信熊

第一條 本例ハ郡ノ事務ニ就キ其緩急ニ從ヒ郡長ヨリ知事ヘ報告スヘキ事項、順序ヲ示ス者トス  
 第二條 報告ハ分テ豫報、即報、週報、年報ノ四種トス  
 豫報ハ事實ノ生スル前、即報ハ事實ノ生シタル日、週報ハ事實ノ生シタル日ヨリ一週日以内、年報ハ毎年一回指定ノ時日迄ニ報告スヘキモノトス  
 第三條 郡ノ事務ニシテ報告ヲ要スル事項左ノ如シ

第一款 豫報

- 一 郡會議員選舉期日及會場并指定會長氏名
- 二 郡會議案及議件
- 三 郡會開會期日

第二款 即報

- 一 郡會議員選舉會景況及結果
- 二 郡會議員、議長代理者郡吏員、郡參事會員并其補充員就職及其異動(様式第一號)
- 三 郡會議員選舉効力ニ關スル訴願
- 四 大地主名簿ニ對スル裁決
- 五 郡會議員資格有無ニ關スル處分ノ件
- 六 郡會郡參事會ニ於ケル選舉顛末
- 七 郡會閉會期日
- 八 郡參事會委任事項
- 九 郡會再議命令ノ件
- 十 會計檢査ノ顛末



- 十一 郡制ニ依レル郡長専決處分  
 十二 訴訟ニ關スル件
- 第三款 週報
- 一 郡會決議、議事録及議事ノ景況  
 二 郡參事會ノ議決、裁決及議事ノ景況
- 第四款 年報
- 一 郡歳入歳出豫算表  
 二 郡歳入歳出決算  
 三 郡財產明細表寫  
 四 郡會議員選舉調  
 五 郡共有財産調
- 議決後十日以内  
 認定後同上  
 豫算表ト同時  
 (様式第二號)  
 四月十五日  
 (様式第三號)  
 四月七日
- 第四條 前各條ノ外法律命令ニ依リ報告スヘキモノハ各其規定ニ依ルヘシ
- 様式第一號

某郡會議員郡吏員等異動報告

職名	給料額	報酬額	就退職月日	住處大字番號	族籍	氏名

備考

一 郡吏員トハ郡制第五十八條同第五十九條ニ所謂吏員、委員ヲ云フ

様式第二號

某郡會議員選舉調

明治何年十二月三十一日現在

族	籍		町村ノ選舉セシ者	天田主ノ選舉セシ者	合	計	選舉權ヲ有スル大地主
	華族	士族					

備考

一 大地主ノ選舉セシ者ノ欄ニハ郡制第八條第二項ニ據リ選舉ニ依ラスシテ郡會議員トナリタル者ヲ合載スヘシ

様式第三號

某郡共有財産調

明治何年度末現在

土地價格	建物價格	穀物價格	諸設備價格	諸株券價	現金	其他諸品	合計

備考

一 土地、建物、穀物、公債證書、株券トモ其種類ヲ細別スルニ及ハス各價格ノ總計ヲ見積概算ヲ以テ記入シ貸付金ハ現金ト合算記入スヘシ但山林原野ノ土石木等ノ價格額ハ土地ニ合算スヘシ  
 二 土地ノ價格ハ比隣同等地ノ賣買實價、土行竹木ハ見積價格、建物價格ハ評價、穀物諸公債證書及株券價格ハ時價、其他諸品價格ハ其品物ニ應シ時價又ハ評價ヲ以テスヘシ  
 ○石川縣訓令甲第十號

郡市役所  
町村役場

本縣縣稅檢査規則左ノ通相定ム

石川縣知事代理

石川縣書記官 龍岡信熊

明治二十六年四月一日

石川縣縣稅檢査規則

- 第一條 縣稅檢査員ハ縣屬若クハ郡書記ヲ以テ之ニ充ツ
- 第二條 縣稅檢査員ハ毎年六回乃至八回各郡ヲ毎月七日乃至十四日金澤市ヲ巡視スヘシ  
巡視了リタルトキハ毎回檢査シタル事項ヲ詳記シテ復命書ヲ呈供スヘシ
- 第三條 縣稅檢査員ハ市役所及町村役場ニ就キ縣稅及賦金ノ賦課徵收ニ關スル帳簿及憑書ヲ點檢シ其事務ノ整否ヲ查察スヘシ
- 第四條 前條ノ點檢ヲ要スル帳簿及書類ハ概ネ左ノ如シ
  - 一 營業稅雜補稅ノ臺帳及人名簿
  - 二 營業者及縣稅賦課物件ニ係ル所有者ノ屆書
  - 三 縣稅賦課ニ關スル通報書
  - 四 縣稅分賦ニ係ル市町村會議案及議事錄決議錄

五 縣稅調定原簿及收納ニ係ル帳簿  
六 滯納處分ニ關スル書類

第五條 前條ノ點檢ニ依リ逋稅者及犯則者アリト認ムルトキハ第九條乃至第十五條ノ規程ニ依ルヘシ

第六條 縣稅檢査員ハ當該吏員ノ事務取扱上法規ニ違ヒ又ハ錯誤ヲ發見シタルトキハ其事由ヲ推問シ及答辯書ヲ徵スルコトヲ得

第七條 縣稅檢査員ハ其必要ヲ認ムルトキハ縣稅ノ滯納處分ニ臨ミ其取扱方ヲ觀察スルコトアルヘシ

第八條 縣稅檢査員第三條ノ調査了リタルトキハ事務取扱ノ整否ニ關スル調査表ヲ作り其町村役場ニ係ルモノハ郡長ノ檢閱ヲ經テ第二條復命書ニ添附スヘシ但第六條ノ答辯書ヲ徵シタルトキモ亦同シ

第九條 縣稅檢査員ハ營業者ニ就キ看板並鑑札ノ有無及納稅ノ濟否ヲ檢査スヘシ

第十條 縣稅檢査員ハ縣稅及賦金ニ關スル營業ニ對シ調査上必要ト認ムルトキハ本人又ハ代人ノ許諾ヲ經テ其家宅及營業場等ヲ臨檢スルコトヲ得但左ノ讀票ヲ攜帶スヘシ

官 氏 名

石川縣縣稅檢査之章

石川縣

第十一條 前條ノ臨檢ハ日出ヨリ日没マテノ間ニ限ル但夜間營業ノ者ハ此限ニ在ラス  
 第十二條 臨檢中犯則ニ係ル證憑若クハ物件ヲ發見シタルトキハ縣稅檢査員自ラ其調書ヲ作り本  
 人又ハ代人ト共ニ署名捺印ス但署名シ能ハサル者ハ其旨ヲ附記スヘシ  
 第十三條 前條ノ調書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ  
 一 本人又ハ代人ノ住所氏名年齢身分職業  
 二 犯則事件發見ノ手續及日時場所  
 三 事實ノ推問及陳述  
 四 證憑物件ノ種類及員數  
 第十四條 犯則ノ調査了リタルトキハ縣稅檢査員ハ直ニ管轄區裁判所檢事ニ告發スヘシ  
 第十五條 逋稅脫稅ノ追徵ニ係ルモノハ縣稅檢査員ニ於テ其調書ヲ作り郡市長ニ報告スヘシ  
 前項ノ調書ニハ逋稅者及脫稅者ノ住所氏名營業種類金額及年度納期ヲ記載スヘシ  
 第十六條 縣稅檢査員ハ市町村ニ於ケル縣稅分賦ノ滴否ヲ視察スヘシ其事項左ノ如シ  
 一 市町村會ノ決議分賦標準ノ有無及其滴否  
 二 納稅者實際ノ情況ト分賦額トノ關係  
 必要ノ場合ニ於テハ納稅者ニ就キ實況ヲ視察スルコトアルヘシ  
 ○石川縣訓令甲第十一號

郡 市 役 所  
 町 村 役 場

市町村收入役忌引病氣看護及私事旅行等ニテ公務ニ從事スルヲ得サルトキハ渾テ明治二十三年本  
 縣訓令第八號ノ手續ニ準據スヘシ

明治二十六年四月七日

石川縣知事代理

石川縣書記官 龍岡 信熊

石川縣訓令甲第十一號參照

石川縣訓令第八號明治二十三年八月二十八日發布公報第七十二號

郡市役所 町村役場

市長町村長并助役忌引病氣看護及私事旅行等ニテ公務ニ從事スルヲ得サルトキハ自今左ノ手續ニ依ルヘシ  
 第一條 市長町村長及助役忌引病氣看護及私事旅行等ニテ公務ニ從事スルヲ得サルトキハ即日忌引届出ヘシ  
 第二條 市長町村長及助役ニシテ父母及妻ノ病氣ヲ看護スル親戚其他僕婢ナキニ依リ公務ヲ欠キ之ヲ看護セントスルモノハ醫  
 案書ヲ添ヘ其情狀ヲ具シ日限ヲ定メ出願認可ヲ受ケヘシ  
 第三條 市長町村長及助役醫案書若クハ旅行セント欲スルトキハ其事實ヲ具シ日限ヲ定メ出願認可ヲ受ケヘシ  
 第四條 市長町村長及助役病氣ノ爲ニ任地ヲ離レ療養セント欲スルトキハ醫案書ヲ添ヘ其病症ノ輕重ニ因リ療養ノ日限ヲ定メ  
 出願認可ヲ受ケヘシ若シ日限内全癒ニ至ラス尙其地ニ止マリ療養セントスルトキハ更ニ其狀ヲ具シ醫案書ヲ添ヘ日限ヲ定メ  
 延期出願認可ヲ受ケヘシ  
 第五條 第三條ニ依リ歸郷并旅行中發病續キテ療養セント欲スルトキハ第四條ニ準シ出願認可ヲ受ケヘシ  
 第六條 市長町村長及助役病氣ノ爲メ出動スル能ハサルモノ三日以内ハ出願時以前ニ其役所役場ニ届出四日以上ニ及フトキ  
 ハ市長并市助役ハ縣知事ニ町村長并町村助役ハ郡長ニ届出其十五日以上ニ及フトキハ引籠ノ初日ヨリ三十日毎ニ醫案書ヲ添  
 へ縣知事若クハ郡長ニ届出ヘシ  
 第七條 市長町村長及助役ニシテ私事訴訟ノ原告人又ハ被告人引合人トナリ是ガ爲メ出動セサルモノハ第六條ニ準シ届出ヘシ  
 但本條ノ場合ニ於テ任地ヲ離ルモノハ第四條ニ準シ出願認可ヲ受ケヘシ  
 第八條 本令中別ニ規定シタル場合ヲ除クノ外市長并市助役ハ縣知事ニ町村長并町村助役ハ郡長ニ出願若クハ届出ヘシ  
 第九條 第六條第七條ニ依リ市役所町村役場ニ於テ受理シタル缺勤届ハ毎月五日取纏メ市役所ハ縣知事へ町村役場ハ郡長ニ届  
 出ヘシ

○石川縣訓令甲第十二號

郡 役 所  
縣 立 學 校  
縣 立 病 院

縣稅ヲ以テ維持スル建造物建築新設修繕施行規則左ノ通相定ム

但明治十九年十一月十一日石川縣訓令第四十二號ハ自今廢止ス

明治二十六年四月十四日

石川縣知事 三間正弘

縣稅支辨ノ建造物建築新設修繕施行規則

第一條 建築新設修繕工事ハ左ノ各種ニ分ツ

第一類 豫算金高百圓以上

各廠ノ需求ニ應シ設計施工共本廳内務部ニ於テ擔當スヘシ

第二類 豫算金高百圓未滿拾圓以上

各廠ニ於テ工事ノ設計書ヲ調整シ經伺ノ上施工スヘシ

第三類 豫算金高拾圓未滿

設計施工共各廠限リ執行スヘシ

第三類ノ工事ト雖モ建築新設及ヒ模様替ニ係ル分ハ渾テ經伺ノ上施工スヘシ

金澤市内ニ在ツテハ第二第三類ノ工事ト雖モ渾テ本廳内務部ニ於テ設計又ハ施工スルコトアル

ヘシ

金澤市外ニ於ケル第一類ノ工事ト雖モ時宜ニ依リ廠長ハ執行方委任スルコトアルヘシ

第二條 豫算外ニ起ル工事ハ渾テ設計書ヲ添ヘ事由ヲ具シ認可ヲ經タル後ニ非サレハ施工スルヲ

得ス

但施工ノ順序ハ前條ニ依ルヘシ

第三條 本廳内務部ニ於テ設計施工スル工事ト雖モ其監督及検査ニ至リテハ時宜ニ依リ特ニ廠長

ヘ委任スルコトアルヘシ

監督及検査ヲ委任スル場合ニ於ケル心持方ハ明治十八年地第百二十三號達ニ依ルヘシ

第四條 金澤市外ニ於ケル第二第三類ノ工事ハ各廠長ニ於テ監督及検査スヘシ

但時宜ニ依リ特ニ内務部第二課員ヲ派遣シ監督及検査セシムルコトアルヘシ

第五條 工事ハ渾テ明治二十五年告示第四十六號本縣工事競争入札規則ニ法リ請負ニ附スヘシ但

金額五拾圓未滿拾圓以上ノモノハ五名以上ノ指名入札ニ附シ拾圓未滿ノモノハ隨意契約ヲ以テ

請負ヲ命スルコトヲ得

各警察署ニ在テハ工費參圓未滿ノモノニ限リ隨意契約ヲ爲スヲ得ト雖モ其他ハ經伺ノ上前條ニ

依リ施行スヘシ

第六條 經伺スヘキ工事ノ允許ヲ得タルトキハ日數十五日間已内ナ期シ競争入札ヨリ受負ヲ命ス

ル迄ノ事ヲ整理シ請負ヲ命シタルトキハ三日已内ニ其金額及請負人住所氏名起工竣成ノ月日ヲ

届出ヘシ但第二類ノ工事ハ契約書命令書寫添付スヘシ

第七條 工事入札ノ金高設計金額ニ照シ増差ヲ生シ再入札ニ附スルモ尙超過スルトキハ入札金高

明細書取添伺出指揮ヲ受クヘシ

第八條 經伺スヘキ工事ハ竣工検査済ノ後其出來形精算書ヲ添ヘ工費ヲ請求シ其他ハ竣成後三日

以内ニ起工以來ノ日限及設計書ヲ届出ヘシ

第九條 經伺ヲ要セサル工事ト雖モ工費不適當ト認ルトキハ其理由ヲ舉證セシムルコトアルヘシ

第十條 定額ノ修繕工費支拂ニ對シテハ毎年四月五日限リ精算書届出ヘシ

第十一條 此規則ニ於テ各縣ト稱スルハ警察署監獄署同支署各郡役所尋常師範學校農學校工業學校金澤病院驅黴院勸業博物館トス

○石川縣訓令甲第十三號

郡 役 所  
町 村 役 場

市町村文書保存準則左ノ通相定ム  
明治二十六年四月十四日

石川縣知事 三間正弘

市町村文書保存準則

- 第一條 市役所町村役場ニ於テ文書ノ保存ハ渾テ本則ニ據ルヘシ但他ノ法律規則中明文ヲ掲クル者ハ各其規定ニ據ルヘシ
- 第二條 保存スヘキ文書ノ編纂ハ毎歴年若クハ年度ノ終ヨリ三箇月以内ニ必ス之ヲ完了スヘシ
- 第三條 保存ノ簿冊ハ帳簿目錄ヲ製シテ是ニ記載シ増減ノ都度必ラス加除スヘシ
- 第四條 文書ノ保存期限ハ左ノ四種トス但本條第四ハ文書ノ種目及年限ヲ定メ第一次監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ
  - 第一 永久
  - 第二 滿五年
  - 第三 滿一年
  - 第四 必要ニ應シテ特ニ期限ヲ定ムル者
- 第五條 前條保存期限ハ第二條ノ編纂完了ノ年若クハ年度ヨリ起算スヘシ
- 第六條 左ノ文書ハ永久保存スヘシ

第一 法律命令及上司ノ訓令指令ノ類

第二 戶籍簿土地臺帳地籍財產目錄等ノ如キ法律命令ノ結果ニ依ルト否トナ問ハス渾テ臺帳又ハ根簿ニ屬スル者

第三 統計書類

第四 條例規則ノ類

第五 會議ノ決議書及豫算書決算書ノ類

第六 事務引繼ニ係ル一切ノ書類

第七 爭論又ハ訴訟ニ關スル書類

第八 沿革ニ關スル書類及後鑑トナルヘキ書類

第七條 左ノ文書ハ滿五年間保存スヘシ

第一 人民ノ願届書類

第二 他廳トノ往復書類

第三 會計徵稅ニ關スル書類

第四 處分濟書類

第八條 左ノ文書ハ滿一年間保存スヘシ

第一 統計報告等ノ材料

第二 一時限リノ處辨ニ屬スル書類

第九條 前各條ニ掲ケタル種類ニ該當セサル文書ニ就テハ其保存期限ヲ定メ第一次監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十條 契約證書會計ニ關スル書類又ハ事未了ニ屬シ數年ニ渉ル書類ノ如キハ結局ノ後各當該ノ

種類ニ從ヒ編纂スヘシ

第十一條 保存期限ヲ過レハ廢棄ノ處分ヲ爲ス可シ但廢棄ニ際シ文書ニ印影等アツテ他ニ移用シ得ルノ虞アル者ハ渾テ截斷若クハ燒棄スヘシ

第十二條 保存ノ文書ハ毎年夏季ニ於テ必ラス之ヲ乾燥シ濕潤ヲ去リ蟲害ヲ防グコトヲ要ス

○石川縣訓令甲第十四號

郡市役所  
町村役場

市町村ニ於テ調製スヘキ本縣縣稅徵收帳簿ニ關スル規程左ノ通相定ム但明治二十六年年度所屬ノ分ヨリ施行ス

明治二十六年四月十五日

石川縣知事 三間正弘

市町村縣稅徵收帳簿ニ關スル規程

第一條 市役所町村役場ハ縣稅徵收ノ爲メ會計年度毎ニ左ノ帳簿ヲ調製スヘシ

縣稅徵收原簿

(樣式第一號)

縣稅收入日計簿

(樣式第二號)

第二條 市町村長ハ納期ノ一定シタルモノハ稅目毎ニ樣式第一號ノ二三四五ニ據リ隨時徵收ニ係

ルモノハ樣式第一號ノ六ニ據リ徵收原簿ヲ調製スヘシ

前項ノ帳簿ハ執務上ノ便宜ニ依リ款項目ニ從ヒ分合スルコトヲ得

第三條 前條ノ徵收原簿ニ據リ市長ハ徵稅令書(樣式第二號)ヲ町村長ハ徵稅傳令書(樣式第三號)ヲ調製シ納期ノ一定シタルモノハ該納期十五日前ニ隨時收入ニ係ルモノハ直ニ各納人ニ交付ス

ヘシ

第四條 市町村長ハ令書ヲ交付スルト同時ニ樣式第四號ニ據リ收入命令書ヲ調製シ之ヲ收入役ニ交付スヘシ

第五條 收入役ニ於テ稅金ヲ收入シタルトキハ樣式第三號領收證書ニ收入ノ年月日ヲ記入調印シ令書ヲ切離シテ役所又ハ役場ニ止メ領收證書ハ納人ニ交付スヘシ

第六條 收入役ハ收入日計簿ヲ調製シ稅目毎ニ收入セシ金額ヲ記載シ其合計ニ市町村長ノ檢印ヲ受クヘシ

第七條 收入役ハ第五條ニ依リ切離セシ令書ニ據リ徵收原簿ニ收入額ヲ記入シ調印スヘシ

第八條 收入役ハ市町村長ノ調製シタル納付書ニ調印スルトキ又ハ町村長ニ於テ隨時徵收ノ稅金ヲ納付スルトキハ收入日計簿ニ其金額ヲ記載シ町村長ノ檢印ヲ受ケ以テ現金受授ノ證トスヘシ

第九條 徵收原簿收入日計簿及令書ニ記載スル數字ハ一、二、三、十、廿、卅、壹、貳、拾、貳拾、參拾ノ文字ヲ用フヘシ

誤記訂正ヲ要スルトキハ原字ニ朱線ニ條ヲ施シ之ニ檢印スヘシ

第一號ノ一 (表紙式)

明治	何	年度	縣	稅	徵	收	原	簿
地	租	割	部	稅	徵	收	原	簿
(分册シタルトキノ例)								
何	何	市	町	(村)	役	場	所	



訓令甲

明治何年度縣稅雜種稅何稅合計			
月次	徵收額	摘要	月次
七月分	金、		一月分
八月分			二月份
九月份			三月份
四月分	金何程何月何日收入○ 金何程何月何日收入○ 計金何程何月何日上納 (長印)	何人分 何人分收入 何人分收入	七月份
五月分			八月份
六月分			九月份
目折			

七十五

備考

へ附リニ本總ノル課ノ月  
シス納依式テハモス賦稅

備考

へ製リニ本總ノル異率テニ稅  
シス納依式テハモナノ稅

明治何年度縣稅雜種稅何稅			
月次	徵收額	摘要	月次
六月分			十二月份
五月分	金、		十一月分
四月分	何月何日何何何 何月何日收入○收 入役印)		十月分
年度内ニ於テ日割 ル月アルトキハ其 本由ヲ記入スヘシ			
第一號ノ四			
第一號ノ五			
摘要			
前期納額			
後期納額			
何類 使役何人 金第何 何何 程號日			字 何何 某
何類 使役何人 金第何 何何 程號日			人 名

訓令甲

七十四



十月分	十一月分	十二月分	一月分	二月分	三月分
-----	------	------	-----	-----	-----

第一號ノ六

明治何年度縣稅隨時徵收

令書番號	摘要	徵收額	領收月日	上納月日	人	名
第何號	何稅何期分何月何日	金何程○(長印)	何月何日○(收入役印)	何月何日○(長印)	字	何何某
第何號	何稅何日分又	金、				
何月何日	何稅何日分又					

第二號ノ一(表紙式)

明治何年度縣稅收入日計簿

何市役所  
何町(村)役場

第二號ノ二

月日	摘要	收入額	上納額	差引殘高
何月何日	何稅何々 (何種何ノ某外何名納 税目毎ニ記載ス)	何程○ (收入役印)		
計	計	何程○ (長印)		何程
何月何日	何稅何々	何程○		
計	計	何程○ (長印)		

何月何日	何税何々	何程○	何程○	何程○	何程
何税外何廉	何程○	何程○	何程○	何程○	何程
計	何程○	何程○	何程○	何程○	何程
通計	何程○	何程○	何程○	何程○	何程

第三號  
用紙適宜 縱四寸五分ノモノニ枚接續  
横三寸三分

原簿ト  
割印

第何號 字何 氏名納  
 (何年度) (何々(款)) (何々(項)) (何々(目))  
 (月割徴収又ハ員數日數ニ依リ徴收スル縣稅ハ此處ニ其員數ヲ記載スヘシ)

一金何程

右何年何月何日 本市町村收入役へ現金拂込ニ其領收證ヲ付テ本職ノ  
 檢印ヲ請フヘシ  
 明治何年何月何日 何市町村長 氏名印

第何號	役印	字何	氏名納
(何年度)	何々(款)	何々(項)	何々(目)

(月割徴収又ハ員數日數ニ依リ徴收スル縣稅ハ此處ニ其員數ヲ記載スヘシ)

一金

右領收候也  
 明治何年何月何日 何市町村收入役 氏名印

第四號

明治何年何月何日 調 氏名印

第何案	第何號	命令書
一金何程	右收入ヲ命ス	割印
右收入ヲ命ス	明治何年度(何期)縣稅何稅	何々何月何日限徵收ノ分
第何號	命令書	明治何年度(何期)縣稅何稅
一金何程	行收入ヲ命ス	何々何月何日限徵收ノ分
行收入ヲ命ス	明治何年何月何日	何市町村長 氏名印
明治何年何月何日	何市町村收入役何某殿	

○石川縣訓令甲第十五號

郡市役所  
町村役場

明治二十五年五月五號陸軍召集旅費出納官吏中左ノ變更定ス  
明治二十六年四月二十二日 石川縣知事三間正弘

陸軍召集旅費 <sup>臨時</sup> 出納官吏人名書	
郡名	支給所
能美郡	粟生村役場
全	別宮村役場
	出納官吏氏名
	郡書記 生橋金三郎
	野村英政

○石川縣訓令甲第十六號

郡市役所  
町村役場

明治二十五年一月本縣訓令第五號內務部報告例左ノ通改定ス  
明治二十六年五月十二日 石川縣知事三間正弘

石川縣內務部報告例

第一條 本例ハ郡市町村長ヨリ本縣ノ令達ニ依リ內務部ニ屬スル事項ヲ報告スヘキ定例順序ヲ規定ス

第二條 本例ニ依リ報告スヘキ事項ヲ分テ甲乙各五種トシ即報、月報、季報、半年報、年報トス  
即報ハ即時月報ハ毎月季報ハ每三個月半年報ハ每半年年報ハ毎年一回若クハ數年ニ一回報告スヘキモノトス

第三條 本例報告例目甲部ニ屬スルモノハ郡市長ヨリ知事ヘ乙部ニ屬スルモノハ町村長ヨリ郡長市長ヘ差出スモノトス  
知事ヘハ差出スモノトス

但有期ノ報告ニシテ事項ノ掲載スヘキ事實ナキトキハ該期限迄ニ其趣ヲ報告スヘシ

第四條 郡長ハ町村長ノ報告ニ依リ一郡表ヲ製スヘキモノハ様式ニ從ヒ調製五日以内ニ知事ヘ呈供スヘシ

但經由ニ係ルモノ又ハ一郡編集ニ一部表ヲ製スルヲ要スルモノハ各其事項點閱ヲ爲シ速ニ發送ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條 報告期限ハ從前成規アルモノト否トヲ問ハス本例報告例目ニ規定シタルモノハ渾テ其期限迄ニ發送スヘシ

但從前ノ成規ニシテ例目ノ期限ニ抵觸スルモノハ延テ其令達ヲ更正シタルモノト見做スヘシ

第六條 本例報告例目適用ノ欄ニ令達附號ノ掲載ナキモノハ本例ニ依リ新タニ報告スヘキモノトス

第七條 今後新タニ發スル令達ニシテ期限ヲ定メ報告スヘキモノ又ハ從前ノ令達ニシテ改削シタルトキハ延テ本例報告例目中追加又ハ改削シタルモノト見做スヘシ

第八條 報告書ハ様式ニ規定アルモノ、外渾テ左ノ離形ノ中折系紙ヲ用キ五種ニ通用スヘシ

但訓令告示等ノ報告ヲ要スル場合印刷シタルモノヲ其儘差出スハ妨ケナシ

第九條 報告書ハ添書ヲ要セス其記載方一事件又ハ一表毎ニ紙頁ヲ改メ紙末適宜ノ所ニ於テ年月日宛名ヲ記シ報告者署名捺印スヘシ

石川縣内務部報告例目		報	
附 號	件 目	様式 種類	適用
甲 第一	天災地變失火並災害著キモノハ更ニ詳況	第一課	主管課發送期限

知 事 宛	明治 年 月 日	郡市長 名 印	右 及 報告 宛 地

第八條ニ指クシ五種ニ用フヘキ料紙ノ離形 寸五分幅九寸五分長六段

附號	件目	様式種類	適用	主管課	發送期限
第二	衆議院議員當選人資格並履歷	△		同	
第三	縣會議員選舉景況及結果報告	△		同	
第四	水利組合條例第五十三條命令及執行ノ景況			同	
第五	水利組合條例第五十四條懲戒處分及賠償處分			同	
第六	水利組合收入支出監查願末			同	
第七	水利組合重要工事著手落成			同	
第八	水利組合會議員選舉ノ景況			同	
第九	水利組合會議決議書及議事景況			同	
第十	水利組合費豫算更正及追加			同	
第十一	郡市告示			同	
第十二	金圓等寄附者屆	△		同	
第十三	撫育人製品出納報告	△	二十五年四月訓令第三十九號	同	
第十四	博覽會共進會其他類似會ノ開閉及景況			第二課	

第十五	農工商事ニ關スル臨時景況			同	
第十六	縣道線新設變更工事竣功	△		同	
第十七	陸海軍官憲ヨリ徵發書ヲ受ケタル時ノ報告		二十年六月訓令第六十一號	第三課	
第十八	陸海軍官憲ヨリ徵發書ヲ受ケル時物件差出場所指定屆			同	
第十九	軍隊ニ泊以下行軍景況			同	
第二十	管外留學生修學地報告	△	十七年四月學二十番達	同	
第二十一	小學校舍開校ニ關スル報告		二十四年十月縣令第六十號	同	
第二十二	小學校基本財産ニ關スル報告		二十四年十月訓令第七十八號	同	
第二十三	小學校ノ校址校舍具ニ關スル報告		二十四年十月訓令第七十九號	同	
第二十四	傳染病患者報告	△	二十五年十二月訓令第九十六號	同	
第二十五	傳染病患者轉歸報告	△	同	同	
第二十六	縣稅滯納處分濟報告	△	二十三年五月訓令第六十八號	第四課	
第二十七	窮民及棄兒死亡屆		二十三年十月訓令第七十八號	同	
第二十八	稅則違犯沒收品賣却ニ係ル報告		二十四年十二月訓令第六十七號	同	

● 月 報	附 號	件 目	様式	種類	適 用	主管課	發送期限
第一	郡役所筆生任免届		△		十九年七月總第百十號達	第一課	毎月七日
第二	窮民救済金算出書報告		△		二十五年四月訓令第三十九號	同	毎月五日
第三	窮民救恤及棄兒養育米代仕譯書		△		二十二年七月訓令第六十八號	第四課	毎月七日
第四	歳入金收入報告		△		二十三年三月訓令第三十六號	同	同
第五	府縣費前渡金什拂計算書		△		二十三年四月訓令第二百十六號	同	毎月十日
第六	毎月收入報告書		△		二十五年三月訓令第二十一號	同	毎月五日
第七	毎月支出報告書		△		同	同	毎月十日
第八	領收證書未到達仕譯書		△		同	同	同
第九	市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料法納金報告書		△		二十五年四月訓令第二十九號	同	毎月五日
● 季 報							
● 半 年 報							
第一	船燈信機器監査報告		△		二十五年五月訓令第七十七號	第二課	六月五日

之

● 年 報	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十	第十一
第一	郡ノ事務並部内ノ景況	市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料法納金報告書	歳入決算報告書	水利組合費豫算表	水利組合費決算報告書並之ニ關スル書類	水利組合事業及事務ノ景況	郡役所備人員俸給調	土地ニ係ル市町村費不納者公賣處分報告	商業人員及課額表	工業人員及課額	雜種稅課額調表
第二	議決後十日以内	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第三	議決後十日以内	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第四	議決後十日以内	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第五	議決後十日以内	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第六	議決後十日以内	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第七	議決後十日以内	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第八	議決後十日以内	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第九	議決後十日以内	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第十	議決後十日以内	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
第十一	議決後十日以内	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

附 號	件 目	樣式	種類	適 用	主管課	發送期限
第十二	著名港灣出入船舶表	△		二十五年十二月訓令第九十六號	同	同
第十三	都邑物價	△			第二課	一月十五日
第十四	農商諸會社表ノ一	△			同	同
第十五	同上ノ二	△			同	同
第十六	工業會社及製造所表ノ一	△			同	同
第十七	同上ノ二	△			同	同
第十八	町村立(私設)燈標統計表	△		二十年十月訓令第二百十九號	同	同
第十九	町村立(私設)書標統計表	△		同	同	同
第二十	著名港灣輸出入物品ノ數量元價	△			同	一月三十一日
第二十一	海員雇入雇止手數料明細表	△			同	四月十五日
第二十二	採取行業明細表			二十五年五月訓令第五十七號	同	一月三十一日
第二十三	鑛物明細表			二十五年十一月訓令第八十六號	同	同
第二十四	縣道道幅取擴工事竣功	△			同	二月二十八日

第二十五	市町村費負擔土木工費總計表	△		二十年六月訓令第六十一號	同	七月三十一日
第二十六	徵發令第十二條第一項物件表	△		二十三年九月訓令第八十八號	第三課	二月盡日
第二十七	日本式西洋式鑄造場表	△		同	同	同
第二十八	施監三臺以上裝置鐵工場表	△		同	同	同
第二十九	西洋形船舶器械製造修費場表	△		同	同	同
第三十	平均物價表	△		同	同	同
第三十一	登簿噸數百噸未満漁船表	△		同	同	同
第三十二	登簿噸數百噸以上漁船表	△		同	同	同
第三十三	家庭人口等表	△		同	同	每三年二月二十日
第三十四	馬匹表	△		同	同	同
第三十五	物產收穫高表	△		同	同	同
第三十六	馬匹買數表	△		二十二年一月訓令第十一號	同	十一月三十日
第三十七	馬車馬具買數表	△		同	同	同
第三十八	小學校生徒體格檢查表	△		二十二年六月告示第八十三號	同	每年大試業ノ翌月

附號	件目	樣式種類	適用	主管課	發送期限
第三十九	小學校生徒貯金一覽表	△	十九年四月乙百三十一號布達	同	一月十日
第四十	私立小學校學級編制等調查報告		令第四十四號	同	六月三十日
第四十一	就學猶豫等調查報告	△	令第四十五號	同	同
第四十二	學事年報條項及調查表	△	令第四十四號	同	一月三十一日
第四十三	公立學校職員在職年數及年齡表	△	訓令第八十五號	同	一月十五日
第四十四	鍼灸術等人員表	△		同	一月三十一日
第四十五	病院統計表	△		同	同
第四十六	賣藥請賣並行商鑑札等員數表	△	十四年五月丙五十三番達	同	同
第四十七	產婆教授所開會及生徒員數表	△		第三課	一月三十一日
第四十八	每年四月一日葬役所所在地下米平均相場屆			第四課	四月十日
第四十九	電信柱敷地手當金請求書取纏報告		二十三年五月訓令第六十六號	同	四月二十日
第五十	會計規則第九十七條現金出納計算書	△		同	五月三十一日
第五十一	會計規則第九十五條收入計算書	△		同	十月三十一日

部

附號	件目	樣式種類	適用	主管課	發送期限
第五十二	縣稅滯納處分實況報告	△	二十三年五月訓令第六十八號	同	翌年度五月二十日
第五十三	物品出納計算書	△	令第二十號	同	年度後二個月以內
第五十四	稅外諸收入決算書	△	令第二十一號	同	五月十日
第五十五	歲出決算報告書	△	同	同	同
第五十六	徵兵器物品出納調查書	△	二十四年三月訓令第六十九號	同	四月十五日
第五十七	鑑札用品出納計算書		二十五年九月訓令第七十七號	同	年度後一個月以內

乙



附號	件目	様式	種類	適用	主管課	發送期限
第七	水利組合費像算ノ更正及追加		經由		第一課	
第八	陸海軍官憲ヨリ徵發書ヲ受タル時報告		同	二十年六月訓令第六十一號	第三課	
第九	陸海軍官憲ヨリ徵發書ヲ受ケタル時物件差出場所指定届		同		同	
第十	買入汽船表	△	同	二十三年九月訓令第二百二十四號	同	
第十一	陸軍召集令到着日數表中ニ係ル異動報告		同	二十二年九月訓令第二百六十九號	同	
第十二	市町村ニ於テ開設セル教育會		同	十九年四月丙第四十號達	同	
第十三	漂著物公賣代官沒金報告	△	同	二十三年五月訓令第七十九號	第四課	
第十四	負債主失踪届		同		同	
第十五	負債主身代限處分届		同	十九年十一月訓令第七十七號	同	
第十六	負債主死亡若クハ退隱等ニテ相續人ニ負債ノ義務轉換届		同		同	
第十七	負債主他都市ニ移轉若クハ轉入届		同		同	

第一	戸數割賦課戸數増加表	△	郡役所 留置所	二十五年三月訓令第二十五號	第一課	毎月二日
第二	金圓等寄附者届	△	製表		同	毎月十日
● 季報						
第一	死亡原因表	△	製表	十八年八月衛第七十六號達	第三課	四月二十日
第二	出生表	△	同		同	同
● 半年報						
第一	登簿船免狀ヲ要セサル西洋形船舶表	△	製表		第二課	七月十五日
第二	日本形船舶表	△	同		同	同
第三	登簿船免狀ヲ要セサル西洋形船舶表並外國人ニ係ル實質課税員數表	△	同		同	同
第四	日本形(五十石未満ヲ除ク)新造解僱員數表	△	同		同	同
● 年報						
第一	水利組合事業及事務ノ景況		經由		第一課	組合會計年度 一個月以内 議決後十日以内
第二	水利組合費像算表		同		同	同
第三	水利組合費決算報告書并之ニ關スル書類		同		同	同

附號	件目	樣式	種類	適用	主管課	發送期限
第四	戶數割賦課戶數調表			二十五年三月訓令第二十五號	同	四月二十日
第五	戶口表	△	製一部表		同	一月二十日
第六	人口出入表	△	同		同	同
第七	本籍人族別表	△	同		同	同
第八	本籍人生年別表	△	同		同	同
第九	本籍人出產死亡婚姻表	△	同		同	同
第十	就除籍送入籍及失踪表	△	同		同	同
第十一	現住人出產死亡表	△	同		同	同
第十二	陸運發著荷物/個數	△	同		同	同
第十三	耕作及捕魚採藻業戶數表	△	同		同	每六年一月二十日
第十四	質屋/貸金	△	同		同	一月二十五日
第十五	西洋形船舶長運轉手機關手水火夫等現員	△	同	二十二年五月訓令第九十三號	第二課	二月十日
第十六	食糧產額表	△	同		同	一月二十五日

之

第十七	繭產額表	△	同		同	同
第十八	生絲產額表	△	同		同	同
第十九	屑絲真綿蠶卵紙產額表	△	同		同	同
第二十	製茶產額表	△	同		同	同
第二十一	牛數表	△	同		同	同
第二十二	豚數表	△	同		同	同
第二十三	馬數表	△	同		同	同
第二十四	桑畑段別表	△	同		同	同
第二十五	織物產額表/一	△	同		同	同
第二十六	同上/二	△	製一表郡		第二課	一月二十五日
第二十七	綿絲產額表	△	同		同	同
第二十八	水產製造物產額價額表/一	△	同		同	同
第二十九	同上/二	△	同		同	同
第三十	同上/三	△	同		同	同

附號	件目	樣式	種類	適用	主管課	發送期限
第三十一	同上ノ四	△	製一郡表		第二課	一月二十五日
第三十二	同上ノ五	△	同		同	同
第三十三	田畑自作地小作地表	△	同		同	同
第三十四	茶畑段別表	△	同		同	同
第三十五	大豆粟稗產額表	△	同		同	同
第三十六	黍蜀黍蕎麥產額表	△	同		同	同
第三十七	甘藷馬鈴薯產額表	△	同		同	同
第三十八	實綿大麻苧麻菜種產額表	△	同		同	同
第三十九	葉煙草藍葉甘藷產額表	△	同		同	同
第四十	生蠟漆汁產額表	△	同		同	同
第四十一	蠟表吳座類產額表	△	同		同	同
第四十二	西洋紙及摺附水產額表	△	同		同	同
第四十三	油類產額表	△	同		同	同

第四十四	陶磁器及漆器價額表	△	同		同	同
第四十五	製革產額表	△	同		同	同
第四十六	農工及諸雇賃錢表	△	同		同	同
第四十七	民有山林表	△	同		同	同
第四十八	牧場表	△	同		同	同
第四十九	製紙產額表	△	同		同	同
第五十	麥稗紐產額表	△	同		同	同
第五十一	漁獲金額表	△	同		同	同
第五十二	勤勉貯蓄ノ景況	△	同		同	同
第五十三	海員雇入雇止證書用紙受拂明細表	△	同		同	四月十日
第五十四	商價種別	△	同		同	同
第五十五	諸市場表	△	同		同	同
第五十六	麥作付段別及收穫石高表	△	同		同	其七月十五日
第五十七	米穀作付段別及收穫石高表	△	同		同	其十二月二十日

部	附 號	件 目	様式種類	適 用	主管課	發送期限
	第五十八	私立西洋形造船所及造船表	△ 同	同	同	一月十五日
	第五十九	度量衡器使用者統計表	△ 同	同	同	二月二十八日
	第六十	石炭消費高報告	△ 同	同	同	三月三十一日
	第六十一	水害表	△ 同	同	同	一月二十五日
	第六十二	學齡兒童就學及家庭教育等ニ關スル調査報告	△ 同	同	同	六月十五日
	第六十三	市町村立小學校學級編制等調査報告	△ 同	同	同	六月三十日
	第六十四	死亡者年齡區別表	△ 同	同	同	一月二十五日
	第六十五	種痘明細表	△ 同	同	同	同
	第六十六	町村別年末現住家數表	△ 同	同	同	同

一様式ノ欄ニ於テ△ヲ付スルモノハ渾テ様式アルモノ、印ナリ  
 一種類ハ乙部ニ屬スル報告ニシテ郡役所ニ於テ一郡製表ヲ要スルモノ又ハ經由ニ止マルモノ若クハ一郡表ヲ製スルニ及ハス單ニ總集進達ヲ要スルモノ等ヲ區別シタルモノナリ  
 (様式零ス)  
 ○石川縣訓令甲第十七號

市 役 所  
 町 村 役 場

國稅ニ關スル左ノ帳簿ハ別紙様式ニヨリ毎年十二月末日現在合計額ヲ取調翌年一月三十一日限り所轄直稅分署ヘ申報シテ照査ヲ受クヘシ  
 一土地臺帳及土地所有者名寄帳合計額(様式一號)  
 一徵稅元帳合計額(様式第二號乃至六號)  
 明治二十六年五月十二日  
 石川縣知事 三間正弘  
 △印ハ朱

(第一號様式)

明治何年十二月三十一日土地臺帳及名寄帳合計額現在調

地 目	段 別	地 價	地 租	翌年ニ涉ル月割増△減租額	筆 數
田	一五〇 一六〇	二八五 六八	七 四三	△三〇 三五	一、二五
畑	三三 六三	五、五 六二	三 九	△〇 三	三、八五
郡村宅地	二五〇〇	五、六 四〇	一 四	〇	一〇一
何々	〃	〃	〃	〃	〃
何々	〃	〃	〃	〃	〃
計	〃	〃	〃	〃	〃

右之通候也

年月日

知事宛

何市町村長 氏 名印

備考

有租地成中本年十二月拂下又ハ下渡地ニシテ翌年ヨリ賦租スルモノ、段別地價ハ拂下又ハ下渡當年ニ編入シテ整理スヘシ

(第二號様式)

明治何年十二月三十一日船舶現在調

船別	艘數	噸數	石數	稅額
西洋形 蒸汽船				
西洋形 風帆船				
日本形 五十石以上船				
三間以下 小船				
四間 小船				
五間 小船				
三間以下 遊船				

四間 遊船

五間 遊船

右之通候也

年月日

知事宛

何市町村長 氏 名印

(第三號様式)

明治何年十二月三十一日諸車現在調

車別	輛數	稅額
馬車 二疋立以上		
馬車 一疋立		
荷積馬車		
人力車 二人乘		
人力車 一人乘		
牛車		
荷積大車		

荷積中小車  
右之通候也  
年月日  
知事宛

何市町村長 氏 名 印

(第四號様式)

明治何年十二月三十一日煙草營業現在調

營業種別	人	員	稅	額
製造				
仲買				
小賣				
計				

右之通候也  
年月日  
知事宛

何市町村長 氏 名 印

(第五號様式)

明治何年十二月三十一日賣藥營業現在調

營業目	人	員	方	數	稅	額
營業						

右之通候也  
年月日  
知事宛

何市町村長 氏 名 印

(第六號様式)

明治何年十二月三十一日牛馬賣買免許現在調

業目	人	員	鼻	綱	數	稅	額
牛馬賣買							

右之通候也  
年月日  
知事宛

何市町村長 氏 名 印

○石川縣訓令甲第十八號

市役所  
町村役場

明治二十五年石川縣訓令第十二號學齡兒童ノ就學及家庭教育等ニ關スル規則第十二條各款ノ報告ハ左ノ様式ニ依ルヘシ  
 明治二十六年五月十六日  
 石川縣知事 三問 正弘

學齡兒童ニ關スル報告  
 様式

學齡兒童 (四月一日現在)	區 別		區 內				區 譯			
	員 數		前學年 中ノ員 數				前學年 末ノ員 數			
	男	女	私	公	私	公	私	公	私	公
就學	就學 猶豫	就學 免除	私	公	私	公	私	公	私	公
卒業	就學 猶豫	就學 免除	私	公	私	公	私	公	私	公
對スル員數	對スル員數	對スル員數	對スル員數	對スル員數	對スル員數	對スル員數	對スル員數	對スル員數	對スル員數	對スル員數
現數	現數	現數	現數	現數	現數	現數	現數	現數	現數	現數

記載心得

一 四月一日現在學齡兒童數ハ四月ニ於テ六歳一箇月以上ノ兒童ノ員數ヲ記載スルモノトス  
 一 卒業ノ公トハ市町村立尋常小學校若クハ代用私立小學校ノ課程ヲ卒業シタル兒童ヲ記載シ私

トハ家庭又ハ其他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ卒リタル兒童ヲ記載ス但石川縣尋常師範學校附屬小學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ卒業シタル兒童ハ公ノ欄ニ合記ス  
 一 卒業ノ前學年中ノ員數トハ前學年ニ於テ新ニ尋常小學校ノ教科ヲ卒業シタル兒童ヲ記載シ其以前ニ卒業シタル兒童ヲ前學年前ノ員數ニ記載ス  
 一 就學ノ公トハ市町村立尋常小學校若クハ代用私立小學校ニ就學スル兒童ヲ記載シ私トハ家庭又ハ其他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ヲ記載ス但石川縣尋常師範學校附屬小學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ハ公ノ欄ニ合記ス  
 一 就學ノ新學年ニ對スル員數トハ新學年ニ對シ新ニ就學ノ手續ヲナシタル兒童ヲ記載シ前學年末ノ現數トハ三月三十一日現ニ就學シ居ル兒童ヲ記載ス  
 一 就學免除ノ新學年以後ニ對シ員數トハ新學年以後ニ對シ新ニ就學免除ノ手續ヲナシタル兒童(免除ヲ取消シタル)ヲ記載シ前學年末ノ現數トハ三月三十一日現ニ免除セラレ居ル兒童ヲ記載ス  
 一 就學猶豫ノ手續ヲナシタル後猶豫ノ事由消滅シタル兒童ハ就學猶豫ノ欄ニ記入セ  
 一 直線ヲ劃スル各欄ハ内譯ヲ要セサルモノトス

石川縣訓令甲第十九號

郡 市 役 所  
 町 村 役 場

明治二十五年石川縣訓令第四十三號中「六月一日」トアルテ「四月一日」ト改メ「六月三十日」トアルヲ「五月十五日」ト改メ表中「卒業兒童男何人女何人」記載心得第五項中「並卒業兒童數ト」トアルヲ削リ表中每學級ノ學年及每學級兒童數ヲ記載スヘキ各欄内ノ豎線ヲ削リ記載心得第三項ヲ「一學年





○石川縣訓令甲第二十一號

本年五月農商務省令第十號ヲ以テ鑛業條例施行細則第七條へ追加相成候ニ付同則第七條第八條ノ屆書ニ對シテハ郡市町村大字小字名ヲ土地臺帳若クハ其他ノ公簿ニ照シ其異同ヲ客年六月本縣訓令第六十一號ノ取調ト同時ニ具申スヘシ

○石川縣訓令甲第二十二號

一官吏又ハ著名ノ人士地方來往ノ際生徒隊ヲ成シテ道路ニ送迎スルノ事アルカ爲ニ或ハ學課ヲ妨ケ又ハ無用ノ勞ニ涉ルコトアリ自今皇族ニ對シ又ハ其學校長及教員ニ對スル場合ノ外公立學校長及教員ハ生徒ヲ誘導シテ此等ノ行爲ヲナスコトアルヘカラス但特別ノ事情ニ由リ縣立學校ニ於テハ知事市町村立學校ニ於テハ郡長又ハ市長ノ許可ヲ得ルトキハ此限リニアラス一學校生徒ノ遊歩運動ハ快活ノ氣象ヲ養フノ一端ナリト雖モ鮮麗ノ旗幟及帽子等ヲ用テ殊ニ女生徒ニ於テ盛粧ヲ競フカ如キハ爲ニ無用ノ費ヲ爲スニ至リ其弊少シトセス校長及教員タル者宜シク注意ヲ加フヘシ

○石川縣訓令甲第二十三號

船舶賣買讓與ノ甲乙兩管署ニ交渉スルモノハ鑑札引換願書經由ノ際鑑定鑿場所轄地ノ市町村ニ於

郡市役所

郡市役所  
公立學校

市役所  
町村役場

テ其當期ニ係ル税金納否ノ證明トシテ左ノ式ニ據リ別紙ニ調製該願書ニ添付スヘシ  
明治二十六年六月十六日 石川縣知事 三間正弘  
本船ニ對スル何年前半年分(後半年分)税金ハ納済(未済)ナルコトヲ證明ス  
年月日 石川縣何郡何町長何ノ某印  
○石川縣訓令甲第二十四號 郡市役所  
町村役場

本年五月本縣訓令甲第十六號內務部報告例中へ左ノ通追加ス  
明治二十六年六月十六日 石川縣知事 三間正弘  
乙之部即報追加

第十八海難報告 經由 第一課

海難報告 第十八 報 即 船種 船名 何々丸又ハ何々號 日本形何百何十石積西洋形「源船」帆船噸數公稱馬力長幅鐵製木製內車外車噸數 何府縣(北海道)何郡市町村何某(外國船ナレハ其國名及船主名ヲ記ス以下之ニ準ス)

船名	船長	乗組人員	出帆港年月日	航路及到着港	遭難箇所及年月	乗組員及船客死傷	積荷ノ損否	遭難ノ景況
艦船長外何十何人	艦船長外何十何人	何年何月何日何府縣(北海道)何國何郡市何港何灣出帆	(何々港ヲ經)何々國沖合ヲ經テ何府縣(北海道)何國何郡市何港何灣到着ノ目的	何府縣何國何郡市沖合ニ於テ何年何月何日船體覆沒(機械破損)	乗組員何人死(傷)行衛知レス(船客何人死(傷)行衛知レス)乗組員其他死傷ナシ	何々何程濫(破)流(沈)損害ナシ	何年何月何日何府縣(北海道)何國何郡市何町村沖合ニ於テ風波吹起(漸次)忽チ暴風ト爲リ(暗礁)深瀬ニ乗上(何々船ト衝突)何々ノ方法ヲ用キ(何々ノ目的)ニヨリ之ヲ防カント(下ロサント)セシモ其効ヲ奏セス全何日何府縣何郡市町村沖合ニ於テ(其場ニ於テ)遂ニ覆没シ(損所ヲ生シ)何某ノ救助ニヨリ何地へ上陸(何々港へ入港)セリ其他實況詳細ヲ記入ス	

○石川縣訓令甲第二十五號

漁船ノ類モ本表ニ準據シ迅速ニ報告スヘシ  
 本表報告ハ最モ迅速ヲ要スルヲ以テ事實ノ生シタル場合ニ於テ先ツ第一ニ此報告ヲ爲スヘシ

郡市役所  
 町村役場

○石川縣訓令甲第二十六號

明治二十五年三月農商務省令第六號鑛業條例施行細則第七條ニ據リ試掘又ハ探掘ヲ出願シタルトキ及試掘願書採掘願書又ハ其添付圖面ヲ修正シ並第八條ニ據リ試掘地若クハ鑛區ノ訂正ヲ出願シタルトキ當廳へ届出スヘキ書類ハ書留郵便ヲ以テ指出スヘキ旨告示甲第十五號發布候就テハ爾來郡市役所町村役場へ右書類差出候者有之候ハ、右告示ノ趣旨ニヨリ直接當廳へ可指出旨指前スヘシ

郡市役所  
 縣立學校  
 縣立病院

石川縣會計規則第十一條及第五十二條第二項中「尋常師範學校」ノ下へ「尋常中學校」ノ五字ヲ挿入ス  
 明治二十六年七月十一日  
 石川縣知事 三間正弘

○石川縣訓令甲第二十七號

石川縣訓令第二十六號參照  
 石川縣訓令第十四號會計規則(明治二十五年三月五日發布公報第十七號)抄錄  
 第十一條 此規則ニ於テ各條ト稱スルハ警察署監獄支署郡市役所尋常師範學校工業學校農學校金澤病院トス  
 第五十二條 金庫ハ金澤市ニ本金庫各郡ニ支金庫ヲ置ケ  
 本金庫ハ縣廳及尋常師範學校工業學校金澤病院金澤市役所ニ屬スル現金ヲ取扱ヒ支金庫ハ其所在地ノ監獄支署郡役所ニ屬スル現金ヲ取扱フヘシ

郡市役所



本年訓令甲第四十八號ニテ廢止

訓令甲

百十四

小學校及高等小學校ニ就職セシ教員ハ任免ノ手續ヲ經スシテ直ニ現立尋常小學校訓導若クハ准訓導タルモノトス但校長兼任ノモノハ特ニ其兼任ノニ消滅スルモノトス

明治二十六年八月一日

石川縣知事 三間正弘

○石川縣訓令甲第三十號

郡市役所  
町村役場

市町村立小學校ニ於テ裁縫ヲ教授スヘキ免許狀ヲ有スル教員候補者ヲ得難キトキハ品行方正ニシテ教授上適當ト認ムルモノニ限リ一時雇員トシ任用スルコトアルヘシ  
前項ノ場合ニ於テハ市町村長若クハ町村學校組合長ハ明治二十五年石川縣令第二十五號ノ手續ニ準シ縣知事ニ申請スヘシ

明治二十六年八月四日

石川縣知事 三間正弘

○石川縣訓令甲第三十一號

郡市役所

去ル明治二十五年陸軍省令第五號附錄第二樣式陸軍臨時召集旅費概算表旅費計算方ハ江州柳ヶ瀬迄ハ陸路柳ヶ瀬ヨリ名古屋迄ハ瀨車路ニヨリ調査スヘキ儀ニ有之候處本年第二次調査ヨリ總テ陸路ヲ以テ計算スヘキ様改正候旨其節ヨリ通知アリタルニ付右様取扱フヘシ  
但近衛師團臨時召集旅費ハ來明治二十七年出師準備調査ヨリ本文ノ通取扱フヘシ

明治二十六年八月四日

石川縣知事 三間正弘

○石川縣訓令甲第三十二號

郡役所

縣立學校  
縣立病院

縣有財産明細表別紙甲乙號表式ニ準シ調製シ毎年五月三十一日限り當廳へ差出スヘシ

但本年ニ限り八月三十一日迄ニ差出スヘシ

石川縣知事 三間正弘

(別紙)

記載例

- 一 調査ハ總テ毎年三月三十一日現在ニ依ル
- 一 各主管毎ニ甲乙號表樣式ニ準シ其主管ニ屬スル財産表ヲ調製スルモノトス
- 一 各表中ニ一般經濟ニ屬スルモノト特別經濟ニ屬スルモノトヲ區別シ其旨ヲ記載スヘシ又一般經濟ニ屬スルモノ、内郡市ニ屬スルモノト郡ノミニ屬スルモノトノ區別亦全シ
- 一 表中廉數及點數ハ圖書ニ就テハ其部數ヲ以テ廉數トシ冊數ヲ以テ點數トス器械ニ就テハ同一品ヲ以テ一廉トシ其數量ヲ以テ點數トス其他之ニ準ス
- 一 備品中器械トハ椅子、机、算盤等ノ類ヲ云ヒ雜品トハ机掛、夜具、風呂敷等ノ類ヲ云フ
- 一 乙表ノ各款項及項中ノ小計毎ニ前年度財産表記載高ニ比シ増減アルモノハ之レカ比較増減ヲ示シ且ツ其理由ヲ記載スヘシ
- 一 公債證書ハ甲號表ニハ證書額面金高ヲ記載シ乙號表ニハ其買入當時ノ金高及現在市價ヲ併記スヘシ

(甲號樣式)

石川縣縣有財産表

明治二十六年三月三十一日現在

第一款 現金及證券

訓令甲

百十五

第一項 現金

救濟金

第二項 公債證券

證券類面

内譯

證券類面

證券類面

證券類面

證券類面

證券類面

證券類面

第三項 貸付及預金

内譯

内譯

金

金

金

金

救濟金

備荒儲蓄金

救濟金

學資金

衛生積金

金澤病院積金

博物館積金

勸業資金

學資積金

何某外名へ貸付

預金局へ預入

衛生積金

金 金 金 金 金 外金

内譯 内譯

第二項 不動産

第一款 土地

第一款 土地

第一款 土地

第一款 土地

第一款 土地

第一款 土地

第一款 土地

第一款 土地

第一款 土地

但何々へ預入  
金澤病院積金  
但何々へ預入  
勸業博物館積金  
何某外 十名へ貸付  
何々へ預入  
勸業資金  
但何々へ預入  
石川縣及富山縣共有貸付金  
但何々へ貸付

用途定マラサル分

段 段 段  
畝 畝 畝  
步 步 步

草生地	何箇所	外
柴草山	何箇所	段 畝 步
荒蕪地	何箇所	段 畝 步
第二	備荒儲蓄金經濟ニ屬スル分	
倉庫敷地	何箇所	坪合 勺才
第三	廳舎等敷地	
坪合		坪合 勺才
縣廳敷地	金澤市廣坂通	以下準之
警察部敷地	全	
尋常師範學校敷地	全	
同附屬農業實習地	金澤市本多町二番丁	
全附屬石垣	全	
農學校敷地	羽咋郡東土田村字火打谷	
全校實驗用地	全	
全校所有地	金澤市出羽町一番丁	
工業學校敷地	全市 殿町	
金澤病院敷地	全市高岡町下殿ノ内	
金澤驅微院敷地		

縣會議事堂敷地	全市 廣坂通
江沼郡役所敷地	江沼郡大聖寺町字八間道
能美郡役所敷地	能美郡小松町字小馬出町
石川郡役所敷地	石川郡松任町字東二番町
河北郡役所敷地	河北郡津幡町字加賀爪
羽咋郡役所敷地	羽咋郡羽咋町
鹿島郡役所敷地	鹿島郡七尾町字藤橋
鳳至郡役所敷地	鳳至郡輪島町字河井町
珠洲郡役所敷地	珠洲郡飯田町
大聖寺警察署敷地	江沼郡大聖寺町字京町
山中分署敷地	全郡 山中村
全署附屬火除地	全
動橋分署敷地	全郡動橋村字動橋
小松警察署敷地	能美郡小松町字京町
別宮分署敷地	能美郡別宮村字別宮
寺井分署敷地	全郡寺井村
松任警察署敷地	石川郡松任町字安田町
金石分署敷地	全郡金石町字本町
鶴來分署敷地	全郡鶴來町
美川分署敷地	全郡美川町

金澤警察署敷地	全	金澤市廣坂通	
全署附屬火除地			
津幡警察署敷地		河北郡津幡町字加賀爪	
全署石垣			
羽咋警察署敷地		羽咋郡羽咋町	
高濱分署敷地		全郡高濱町字高濱	
南大海分署敷地		全郡南大海村字ニツ屋	
七尾警察署敷地		鹿島郡七尾町字阿良町	
御祖分署敷地		全郡御祖村字藤井	
輪島警察署敷地		鳳至郡輪島町字鳳至町	
穴水分署敷地		全郡穴水村字大町	
櫛比分署敷地		全郡比村字走出	
監獄署敷地		金澤市尻垂坂通三丁目	
小松監獄支署敷地		能美郡小松町字小馬出町	
七尾監獄支署敷地		鹿島郡七尾町字腰橋	
全支署附屬地		全郡全町字龜山町	
全支署附屬埋葬地			
第二項 倉庫			
第一項 倉庫			
備荒儲蓄金經濟ニ屬スル分	物		
何箇所			
			坪合勺才

建 物	第二	廳舍等建物	
附屬物			
內 課			
縣廳々舍及附屬建物		金澤市廣坂通	坪合勺才
全上附屬物			揭示場外
警察部廳舍及附屬建物		全	表門外廉
全上附屬物		全	表門外廉
尋常師範學校々舍及附屬建物		全	表門外廉
全上附屬物		羽咋郡東土田村字火打谷	井戸外廉
農學校々舍及附屬建物		全	井戸外廉
工業學校々舍及附屬建物		金澤市出羽町一番丁	井戸外廉
全上附屬物		全	井戸外廉
金澤病院本館及附屬建物		金澤市殿町	井戸外廉
全上附屬物		全	井戸外廉
金澤臨鐵院館舍及附屬建物		金澤市高岡町下敷ノ内	井戸外廉
全上附屬物		全	井戸外廉
勸業博物館々舍及附屬建物		金澤市出羽町	井戸外廉
全上附屬物		全	井戸外廉

牛馬改良事務所建物	全市	廣坂通	
江沼郡役所廳舎及附屬建物	全	江沼郡大聖寺町字八間道	揭示場外 廉
能美郡役所廳舎及附屬建物	全	能美郡小松町字小島出町	井戸外 廉
石川郡役所廳舎及附屬建物	全	石川郡松任町字東二番町	井戸外 廉
河北郡役所廳舎及附屬建物	全	河北郡津幡町字加賀爪	揭示場外 廉
羽咋郡役所廳舎及附屬建物	全	羽咋郡羽咋町	井戸外 廉
鹿島郡役所廳舎及附屬建物	全	鹿島郡七尾町字藤橋	揭示場外 廉
鳳至郡役所廳舎及附屬建物	全	鳳至郡輪島町字河井町	井戸外 廉
珠洲郡役所廳舎及附屬建物	全	珠洲郡飯田町	井戸外 廉
大聖寺警察署々舎及附屬建物	全	江沼郡大聖寺町字京町	揭示場外 廉
山中分署々舎及附屬建物	全	郡山中村	

全上附屬物	全		揭示場外 廉
動橋分署々舎及附屬建物	全	郡動橋村字動橋	揭示場外 廉
小松警察署々舎及附屬建物	全	能美郡小松町字京町	揭示場外 廉
別宮分署々舎及附屬建物	全	郡別宮村字別宮	表門外 廉
寺井分署々舎及附屬建物	全	郡寺井村	門外 廉
松任警察署々舎及附屬建物	全	石川郡松任町字安田町	門外 廉
金石分署々舎及附屬建物	全	郡上金石町字本町	揭示場外 廉
鶴來分署々舎及附屬建物	全	郡鶴來町	揭示場外 廉
美川分署々舎及附屬建物	全	郡美川町	揭示場外 廉
金澤警察署々舎及附屬建物	全	金澤市廣坂通	揭示場外 廉
金澤市巡查派出所及附屬建物	全	金澤市野田寺町外 个所	揭示場外 廉



津幡警察署々舍及附屬建物	全	河北郡津幡町字加賀爪	揭示場外 廉
全上附屬物	全		
森本村巡查駐在所	全	全郡森本村字北森下	揭示場外 廉
羽咋警察署々舍及附屬建物	全	羽咋郡羽咋町	揭示場外 廉
全上附屬物	全		
高濱分署々舍及附屬建物	全	羽咋郡高濱町字高濱	揭示場外 廉
全上附屬物	全		
富來分署々舍及附屬建物	全	全郡富來村字地頭町	揭示場外 廉
全上附屬物	全		
南大海分署々舍及附屬建物	全	全郡南大海本村字ニツ屋	揭示場外 廉
全上附屬物	全		
七尾警察署々舍及附屬建物	全	鹿島郡七尾町字阿長町	門外 廉
全上附屬物	全		
御祖分署々舍及附屬建物	全	全郡御祖村字藤井	揭示場外 廉
全上附屬物	全		
輪島警察署々舍及附屬建物	全	鳳至郡輪島町字鳳至町	揭示場外 廉
全上附屬物	全		
穴水分署々舍及附屬建物	全	全郡穴水村字大町	揭示場外 廉
全上附屬物	全		
櫛比分署々舍及附屬建物	全	全郡櫛比村字走出	揭示場外 廉

全上附屬物	全	全郡宇出津町字宇出津	揭示場外 廉
宇出津分署々舍及附屬建物	全		
全上附屬物	全	飯田警察署々舍及附屬建物	揭示場外 廉
飯田警察署々舍及附屬建物	全	珠洲郡飯田町	揭示場外 廉
全上附屬物	全		
監獄署々舍及附屬建物	全	金澤市尻垂坂通三丁目	揭示場外 廉
全上附屬物	全		
小松監獄支署々舍及附屬建物	全	能美郡小松町字小馬出町	井戸外 廉
全上附屬物	全		
七尾監獄支署々舍及附屬建物	全	鹿島郡七尾町字藤橋	井戸外 廉
全上附屬物	全		
金澤測候所附屬物	全	金澤市廣坂通縣廳構内	觀測臺外 廉
第三款 廳舍等備付品			
第一項 警察廳舍備付品			
器械	廉		
雜品	廉		
圖書	廉		
計圖	廉		
內譯	廉		
器械	廉		
點			
點			
點			
點			

警 察 部	金 澤 警 察 署	大 聖 寺 警 察 署 及 全 分 署	小 松 警 察 署 及 全 分 署	松 任 警 察 署 及 全 分 署	津 幡 警 察 署	羽 作 警 察 署 及 全 分 署
圖 雜 器	圖 雜 器	圖 雜 器	圖 雜 器	圖 雜 器	圖 雜 器	圖 雜 器
書 品 械	書 品 械	書 品 械	書 品 械	書 品 械	書 品 械	書 品 械
廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉
點	點	點	點	點	點	點
計	計	計	計	計	計	計
廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉
點	點	點	點	點	點	點

七 尾 警 察 署 及 全 分 署	輪 島 警 察 署 及 全 分 署	飯 田 警 察 署	第 二 項 監 獄 廳 舍 備 付 品	內 譯	監 獄 署
圖 雜 器	圖 雜 器	圖 雜 器	圖 雜 器	圖 雜 器	圖 雜 器
書 品 械	書 品 械	書 品 械	書 品 械	書 品 械	書 品 械
廉	廉	廉	廉	廉	廉
點	點	點	點	點	點
計	計	計	計	計	計
廉	廉	廉	廉	廉	廉
點	點	點	點	點	點

●附令甲

風至郡役所	鹿島郡役所	羽咋郡役所	河北郡役所	石川郡役所	能美郡役所	江沼郡役所
雜器	圖書	雜器	圖書	雜器	圖書	雜器
品	書	品	書	品	書	品
廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉
點計	點計	點計	點計	點計	點計	點計
廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉
點	點	點	點	點	點	點

百二十九

●附令甲

內譯	計圖書	雜器	第三項郡役所備付品	各警察署留置場備品	七尾監獄支署	小松監獄支署
廉	廉	廉	雜器	雜器	圖書	圖書
廉	廉	廉	內雜器	內雜器	工業器具	工業器具
廉	廉	廉	品	品	品	品
點	點	點	廉	廉	廉	廉
點	點	點	點計	點計	點計	點計
廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉
點	點	點	點	點	點	點

百二十八

尋常中學校	尋常師範學校															
內化學科	教授用器械	器械	各科用	博物科	圖書科	手工科	金石科	標圖書	雜品	裁縫科	幼兒科	體操科	音樂科	圖畫科	家事科	手工科
廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉
點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點
										計						
										廉						
										點						

計標圖書	內	器	第四項 縣立學校及病院備付品										珠洲郡役所	圖	器	圖	
廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉
點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點
										廉	廉	廉	廉				
										點	點	點	點				
										廉							
										點							

雜品	器械	備付品	第五項 勸業博物館備付品及陳列品	金澤病院	治療器械	雜品	圖書	各科用	雜部	陶畫科	漆物科	織物科	染色科	內彫刻科	標本	圖書	雜品	各科用
廉	廉			廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉
點	點			點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點
	計				計													
	廉				廉													
	點				點													

工業學校	物理科	圖畫科	裁縫科	化學科	畫學科	彫刻科	繡物科	漆物科	陶畫科	內染色科	教授用器械	器械	標本	圖書	教授用雜品	雜品	各科用	養蠶科	獸醫科	農業科
	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉
	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點
	計																	計		
	廉																	廉		
	點																	點		

勸業博物館

陳列品	化學製品	陶磁器	金屬器	七寶器	玻璃玉石製	漆器及描金	器	木竹製品	動物ヨリ得	織物製品	紙及紙製品	古器類	農產物	海產物	農業器	漁業器	動物製	植	金石標本	
廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉
點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點
計																				
廉																				
點																				

第六項

前各項ノ外廳舍等備付品

機器類	油畫類	幅畫類	圖畫類	屏風類	製糸類	教育類	書籍類	寫真類	雜貨類	工藝品原料	器	雜品	圖書	牛馬	計	內譯	測候所
廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉
點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點
計																	
廉																	
點																	

申茶屋	松任	美川	鷗來	御歩町	北石坂町	榮町	福浦	七尾
檢	檢	檢	檢	檢	檢	檢	檢	檢
徵	徵	徵	徵	徵	徵	徵	徵	徵
所	所	所	所	所	所	所	所	所
雜器	雜器	雜器	雜器	雜器	雜器	雜器	雜器	雜器
品械	品械	品械	品械	品械	品械	品械	品械	品械
廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉
點	點	點	點	點	點	點	點	點
計	計	計	計	計	計	計	計	計
廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉
點	點	點	點	點	點	點	點	點

小松	大聖寺	金澤	敦育	地方衛生會	縣參事會	縣會	觀測用雜品
檢	檢	驅	會	會	會	會	會
徵	徵	徵	徵	徵	徵	徵	徵
所	所	院	會	會	會	會	會
雜器	雜器	治療用器械	雜器	雜器	圖雜器	圖雜器	圖雜器
品械	品械	品械	品械	品械	書品械	書品械	書品械
廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉
點	點	點	點	點	點	點	點
計	計	計	計	計	計	計	計
廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉	廉
點	點	點	點	點	點	點	點

公	測	全	檢	小	飯	宇	輪
園	量	上	疫	木	田	出	島
雜	器	各	用	檢	檢	津	檢
器	具	郡	器	徵	徵	檢	徵
品	雜	役	具	所	所	所	所
品	器	所	雜	雜	雜	雜	雜
品	品	係	器	器	器	器	器
品	械	ル	品	品	品	品	品
品	品	分	品	品	品	品	品
廉	廉	係	廉	廉	廉	廉	廉
廉	廉	係	廉	廉	廉	廉	廉
點	點	係	點	點	點	點	點
計	計	係	計	計	計	計	計
廉	廉	係	廉	廉	廉	廉	廉
點	點	係	點	點	點	點	點

理由	本年度現在	前年度現在	比較増又ハ減
	本年度ニ於テ増加(減少)ノ理由ハ何々ニ依ル		
	(第二例)		

種	牛	馬	牡牛	頭	牝牛	頭計	廉	頭
試驗用貸付器具	農業器械	漁業器械	廉	點	點	計	廉	點
(右ノ外該當ノ者ハ渾テ本様式ニ準シ款項中ニ記載スヘシ)								
(乙號様式)								
(第一例)								
第一款第一項現金ノ内								
金	救濟金							
何々ノ規定ニ依リ又ハ何々ニ依リ何所ニ於テ保管ス又ハ預金局ニ預入スルノ類ヲ配ス								
増減比較								

證書額面金	學資金
-------	-----



内譯				
種類	券面金額	枚數	小計	買入金額
				市價

増減比較

(第三例)

第一款第三項貸付及預ケ金ノ内

金

内

内譯

勸業博物館積金

何某外何名貸付

内譯				
金額	借主人名	貸付年月	全上事由	返納期限

増減比較

(第四例)

第二款第一項土地ノ内

何町何段何畝何歩

内譯

用途定マラサル分

宅地 町段 畝 歩				
歩數	地種	地目	所在郡市町村大字小字番地	貸付等ノ事由

増減比較

田町段畝歩

増減比較				
歩數	地種	地目	所在郡市町村大字小字番地	貸付等ノ事由

(第五例)

第二款第二項建物ノ内

何百何十何坪

内譯

縣廳舎建物

別表甲

百四十一

建	坪	名	稱	構	造	建	築	年	月	所在
										在郡市町村 字小字番地

増減比較

(第六例)

第三款第四項縣立學校及病院備付品ノ内  
師範學校ノ部

何百何十何廉 何千何百點

器械

内譯

算	何	籐	籐	革	名	稱	個	數
盤	机	子	子	子	稱	個	何	脚
		脚	脚	脚				
		脚	脚	脚				
		脚	脚	脚				

書

棚

何

個

増減比較

何百何十何廉 何千何百點

教授用器械

内譯

物理科用

名	稱	個	數

増減比較

數學科用

名	稱	個	數

増減比較

○石川縣訓令甲第三十三號

郡市役所  
町村役場

赤痢病像消毒ノ義ニ付テハ是迄訓令置候處近來金澤市並鳳至郡外四郡内町村ニ於テ點々發生シ

漸次蔓延ノ兆有之候付テハ別冊消毒方心得ハ本年三月該病豫防消毒施行方ニ關シ内務省ニ於テ諮問會ヲ開設セラレタル際衛生局長等ノ演說アリタルモノ、中目下緊切ノ部分ヲ抄録シタルモノニ有之候條之ニ據リ尙明治二十四年本縣訓令第三十五號傳染病豫防心得書ヲ參照シ勉メテ初獲ニ於テ撲滅候様精々注意スヘシ

明治二十六年九月八日

石川縣知事 三間正弘

中濱内務技師演說抜抄

豫防消毒法

凡ソ豫防法ハ其未タ流行チナサ、ルニ先チテ施スチ至當トス故ニ先赤痢ノ流行スルノ徴アル地方ニ於テ四五月ノ交下痢ヲ發シ數日間治セサルモノハ縱ヒ未タ赤痢ノ診斷チ下スチ得サルモ下泄物ニ格魯兒石灰水又ハ生石灰ヲ混スルニ怠ルヘカラス

又患者ヲ隔離スル爲避病院ヲ設立スルチ必要トス、蓋シ地方ニアリテハ親屬近隣ノ輩患家ニ集リ往々飲食チナシ病毒ニ觸ル、チ知ラサルコト多シ殊ニ夏期下泄物ニ群集セル蒼蠅飲食物ニ觸ル、モ意トスルコトナク長崎縣南高來郡ノ如キハ米食スルチ罕ナリトスルモ死者アルトキハ米飯ヲ變スルノ風アルチ以テ之ヲ食センカ爲メニ近隣相傳ヘテ其家ニ集ル等皆病ノ傳播チ助ケルモノナリ故ニ可成ハ迅速ニ隔離スルチ宜シトシ其最モ有効ナルハ避病院ニ於テ之ヲ施スアリ

概シテ患者ハ避病院ニ入ルチ好マサルノ風アリ而シテ其原因ニハ種々アルヘキモ要スルニ避病院ノ構造不良ナル其主因ノ一ナルヘシ蓋シ往々其構造粗惡ニシテ健康者ト雖モ久シキニ堪ヘサルカ如キモノナキニアラス然ルニ尙患者ヲ投セントス之ヲ嫌忌スルモ亦宜ナラスヤ如斯キ不良ノ病院ハ患者ノ病ヲ險惡ニスルコトアルノミナラス他ニ病ヲ傳播スルノ具トナルコトアリ此種ノ病院ニ於テハ適當ノ看護人モナク僅カニ家族チ同伴スル位ニ止マリ素ヨリ下泄物ノ消毒モ行届カス其他

患者ト健康者トノ區別ナク彼此同衾スルモノサヘアリ故ニ甚タ危險ナルハ不良ナル避病院ニシテ大流行ノ原因トナルコトナキニアラスルヘシ極言スレハ不良完全ナル避病院ハナキニ如カサルナリ大ナル市町村ニ於テハ往々善良ナル常置ノ避病院アレトモ斯ノ如キ設ナキ地ニ於テハ豫メ避病院ニ充ツヘキ家屋ヲ撰定スルチ得策トス素ヨリ華美ナルチ要セサレトモ少クモ生計チナス健康ナル人民カ居住スルニ足ル程ノ建物ヲ要シ其適當ノ看護人チモ置クチ必要ナリトス

避病院チ檢スルニ天幕ヲ用ユルモ大ニ便利ナリ現ニ昨年ハンブルグニ於テ虎列刺病ノ流行スルニ際シ獨逸各師團ヨリ衛生隊チ同地ニ派遣シテ之ヲ設置シ大ニ便利チ得タリト云フ天幕ハ二重ノ布ニテ高ク架シ床チ張り十分ニ雨露ヲ凌グニ足リ一箇十二人チ容レ熱湯冷水チ貯ヘ各天幕ニ浴槽一箇チ具ヘ、電燈二箇チ點シテ幕内ノ光チ取レリ右ノ他移轉シ得ヘキ病室ノ種類多數アリト雖モ天幕病院チ最モ簡日廉ナリトシ平日之レチ貯フレハ管ニ赤痢ニ限ルノミナラス虎列刺、腸室扶斯ノ流行ニ際シテモ隨意ニ之ヲ設立スルチ得ヘク不慮ノ天災ニ遇フモ一時雨露ヲ凌グニ有要ナルヘシ

右ノ他必要ナルハ痲病患者若クハ下痢患者チ速カニ發見シ一方ハ豫防消毒チ全フシ又一方ハ醫師ノ治療チ受ケシムルニアリ流行地方ニ於テハ往々赤痢病ニ罹ルモ醫師ノ治療チ受ケス賣藥チ服シテ一時チ凌ギ甚シキニ至リテハ加持祈禱チ以テ之ヲ醫セントスルモノアリ故ニ各家ニ就キ患者ノ有無ヲ探査スレハ忽チ漏ノ患者チ發見スルチ例トス

右ノ狀況ハ各地大差ナカルヘシ故ニ赤痢患者ノ疑アルモノハ警察官、郡吏、町村吏、衛生組合員等チシテ其家ハ勿論近隣チ戸毎ニ檢シテ漏レノ患者チ速カニ注意スヘシ、流行ノ甚シカラサルニ當テ撲滅チ計ルコソ其効チモ奏スルナレ故ニ右等ノ場合ニ於テハ豫防法ニ熟シタル縣官ニ時チ移サス速ニ派遣シテ此探査チ監督スルチ緊要トス、此方法ハ平日ニ於テ豫メ其準備チ爲シ置キ之チ要スル場合ニ於テハ直チニ實行スルチ宜シトス

患者ノ便器ニハ蓋ヲ設クルヲ必要トス之レ群蠅ノ集リテ他ニ病毒ヲ傳播スルコトナカラシメンカ  
爲メナリ、患者ト便器トノ蚊帳中ニ置クモ宜シ

消毒(滅菌)法

本病ノ病毒下泄物中ニ舍ルハ疑フヘカラス面シテ最モ確實ニ最モ安價ニ消毒シ得ル方法ハ濕熱ヲ  
用ユルニアリ、實驗ニ由ルニ人獸傳染病中最モ頑固ナル病毒(脾脫痘芽)ト雖モ攝氏百度以上ノ熱  
蒸氣ニ觸レシメ或ハ熱湯中ニテ煮ルトキハ數十分ニシテ死滅スルモノナリ、赤痢ノ病毒ヲシテ縱  
ヒ脾脫痘芽ノ如ク最モ抵抗力強キモノトスルモ此法ニ由レハ容易ニ滅亡スルヤ必セリ  
兵庫縣、高知縣等ニ於テハ客年之ヲ實際ニ施シテ良効アリシト云フ其方法ハ後藤衛生局長ノ考案  
ニ出テ患者アル家ニハ像メ石炭油ノ明錐ヲ與ヘテ直チニ之レニ下泄物ヲ受ケシメ毎二日乃至三  
日ニ一回清潔ナル錐ト交換シ汚物アルモノハ火ニ上セ沸騰セシムレハ凡ソ一時間ニシテ消毒ヲ終  
フ、左レハ消毒後直ニ之ヲ尋常ノ廁ニ投スルモ防ケナシトス  
消毒藥中實際便利ナルモノハ十%格魯兒石炭水、二倍昇水、五%石炭酸水、石灰乳等ナリ  
ミツセンノ試驗ニ由レハ格魯兒石炭五%ノ割合ニ之ヲ加フレハ三十分間ニ脾脫痘菌ヲ死滅セ  
シム故ニ十倍ノ混合物ヲ造リ下泄物ト同等ノ量ヲ加ヘ其攪拌スルトキハ安全ナル消毒法ト云フ  
ヘシ  
千倍昇水中ニ〇・五%ノ割合ニ鹽酸若クハ酒酸ヲ加フレハ消毒力著シクシテ糞便ニ使用スルモ  
消毒ノ効アリ(用量ハ下泄物ト同量ニシテ其攪拌シ十時間以上放置スヘシ然レトモ其頗ル毒力  
ヲ有スルカ故ニ大ニ注意スルヲ要ス  
二十倍ノ石炭酸水ハ大ニ消毒ノ効力アリ然レトモ之レニ〇・五%ノ鹽酸若クハ酒酸ヲ加フレハ更  
ラニ消毒力ヲ増加ス

生石灰ハ虎列刺、腸室扶斯ノ病毒ヲシテ確實ニ死滅セシム然レモ抵抗力ノ最モ甚キ脾脫痘菌芽  
ヲ死滅セシムルコト能ハスシテ只多少其發育ヲ妨グルノミ但シ尋常使用スル所ノ五%即二十倍  
ノ石炭酸水ト雖トモ此菌芽ヲ死滅セシムルコトナリ故ニ赤痢ノ病毒若シ虎列刺又ハ腸室  
扶斯ニ類スル者ナレバ石炭ヲ以テ十分ニ消毒スルヲ得ベク又最モ抵抗力著シクシテ脾脫痘菌芽ニ  
均シキ者トスルモ之レガ爲メニ其發生ヲ妨グルノ能力アレバ學術上未ダ赤痢ノ病毒ヲ確定スルコ  
ト能ハズト雖トモ之ヲ實際消毒用ニ供スルモ不可ナルコトナシ若シ本品ヲ以テ消毒用ニ適セズト  
云ハ、石炭酸ヲモ不適當ト云ハサルヘカト云

生石灰ハ大理石、石灰石等ヲ煨化シ炭酸ヲ驅逐シタルモノニシテ酸化加爾曼ナリトス而シテ其  
性水ト炭酸トニ抱合スルノ力著シケレハ之ヲ氣中ニ置ケハ水ヲ探テ水酸化石灰トナリ又氣中ノ炭  
酸ヲ採リテ炭酸石灰ニ變ス

生石灰既ニ少量ノ温湯ヲ灌ケバ發熱シテ散トナル之レ化學上氣中ヨリ水分ヲ取りテ散末トナリタ  
ルモノニ同シ、若シ尙多量ノ水ヲ加フレバ小分ハ溶解シ多分ハ混同シ之ヲ振盪スレハ乳様ノ物體  
トナル之ヲ石灰乳トス、石灰乳ヲ安靜ニ置ケバ二層ニ分離シ上層澄明ノ液ヲ石灰水ト云ヒ下層ニ  
沈降スルモノハ即チ水酸化石灰ナリ

水酸化石灰(石灰乳共)ハ素ヨリ消毒ノ効アリ、炭酸石灰ハ其効ナシ故ニ消毒ニハ炭酸石灰ニ變シ  
タルモノヲ用ユヘカト云

傳染病豫防心得書ニ「生石灰ハ之ニ少量ノ水ヲ灌ケバ熱ヲ發シ崩壞スルモノヲ用ユヘシ」トアリ然  
レトモ水ヲ灌ヒテ熱ヲ發セサレハ消毒ノ効ナシト云フニアラス、水酸化石灰ハ水ヲ灌クモ熱ヲ發  
セサルニ消毒ノ力アリ消毒スルニハ常ニ水酸化石灰ニ水ヲ混シタルモノ(石灰乳)ヲ用ユルニアラ  
スヤ、只水ヲ灌キテ發熱スルモノ云々ハ其品ノ純良ニシテ炭酸ニ化合セサルヲ知ルノ便法ヲ示ス

ニ過キス但シ炭酸石灰ハ水ヲ濯ヒテ發熱セス  
 右ノ他一般俵入石灰ト稱シ建築家ノ使用スルモノアリ其主成分ハ酸化加爾斐謨ニシテ此種ノ良品  
 ニ至リテハ大小ノ礫ヲ混シ水ヲ濯ケハ發熱スル等生石灰ニ同シキモ製造後久シキヲ經タルモノハ  
 已ニ水分ヲ採取シテ粉末トナリ又炭酸ヲ採リテ炭酸石灰ニ化シタル部分多シ、如斯キ品ト雖トモ  
 尙建築ニ使用スルモノアリ  
 右ノ品ニシテ尙酸化加爾斐謨又ハ水化加爾斐謨ヲ含有スルコト多ケレハ消毒ニ使用スルヲ得ルカ  
 故ニ余ハ曾テ衛生試驗所員ニ命シ精密ナル試驗ヲ施サシメタリ、此試驗ニハ可成多數ノ品ヲ得  
 トテ府下六ヶ所ノ營業者ヨリ購入シテ驗セシニ左ノ成績ヲ得タリ

俵入石灰 六種中水酸化石灰ノ最モ多キハ九〇・一二四% (煨性石灰六八・二一)  
 六六・九六〇% (煨性石灰五〇・六九)  
 八一・七八九即性煨石灰六一・九一四  
 同 最モ少キハ  
 六種ノ平均水酸化石灰  
 右ノ品ハ試驗ノ當時東京ニ於テ大約十一貫目入ニテ一俵三拾錢三拾貳錢ナリキ而シテ加爾斐謨ハ  
 多クハ水酸化石灰トシテ存在シ、水ヲ濯クモ熱ヲ發セス然レトモ消毒ノ効力アルハ炭酸ニ化合セ  
 サル水酸化石灰多ク之レアルヲ以テ知ルヘシ、其最モ劣等ノモノト雖モ有効成分ノ含量五〇%  
 以上ノ煨性石灰ニ相當スレハ之レニ倍スルノ量ヲ用ユレハ十分ニ消毒ノ目的ヲ達スヘシ  
 右ノ他牡蠣殼ヲ煨シ炭酸ヲ驅逐シテ製スル牡蠣灰ト稱スルモノアリ其主成分ハ之レ又酸化加爾斐  
 謨ニシテ漆喰ヲ製スルニ用ユ東京市中各處ニ於テ其六品ヲ購求シ檢スルニ  
 水酸化石灰ヲ最モ多量ニ含ムモノハ 七八・四六% (煨性石灰五九・三八)  
 同 最モ少量ニ含ムモノハ 五五・四六% (煨性石灰四一・九八)  
 六五・六二八即 (煨性石灰四九・六六八)  
 六種ノ平均水酸化石灰

左レハ牡蠣灰ト雖トモ消毒ノ効アリテ通常生石灰ヲ使用スル代リニ其量ニ倍半若クハ三倍ヲ用ユ  
 レハ十分消毒ノ効アルナリ其費用ハ試驗ノ當時東京ニ於テハ三貫目入一俵五錢ナリキ  
 俵入石灰ト牡蠣灰トヲ比スルニ甲ハ概シテ水酸化石灰ヲ含ムコト多キヲ以テ之ヲ使用スルヲ優レ  
 リトス然ルニ彼此價ニ於テ相違スル所アレハ金壹圓ニテ購ヒ得ル有効成分ハ左表ノ如ク却テ牡蠣  
 灰ニ多シトス

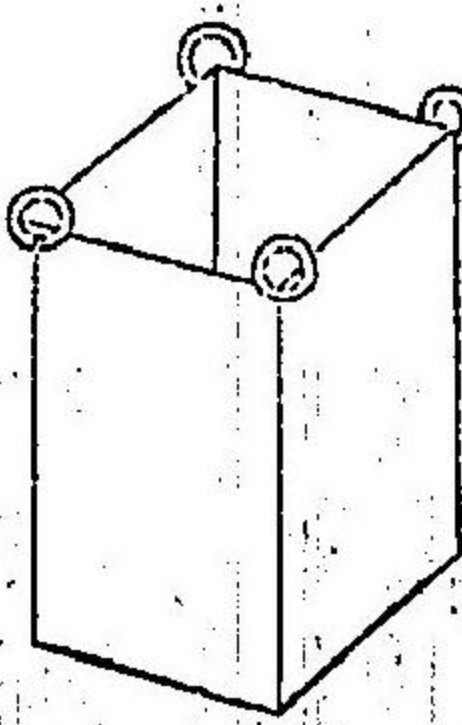
石 灰	金壹圓	價目(十一貫目一俵)	三〇、〇(三拾錢トシテ)
牡蠣 灰	金壹圓	價目(一俵三貫目入)	三九、四(金五錢トシテ)
有力成分一貫目ヲ得ントスレハ左ノ貫目ト價格ヲ要ス			
俵入石灰ノ量	俵入石灰ノ量	此價	
一貫目	一貫二百二十目	三錢三厘三毛	
全	全	貳錢五厘三毛	
牡蠣灰	一貫目	一貫五百二十目	
右ハ東京ニ於テ購求シタル物品ノ試驗成績ナレハ本邦各地ニ於テ販賣スルモノハ或ハ其有効成分			
ニ多少ノ差ナキヲ保セサルカ故ニ可成粉末トナラサル生石灰ヲ用ユルヲ可トシ、若シ場合ニ由リ			
粉末若クハ俵入石灰牡蠣灰等ヲ使用セサルヲ得サルニ於テハ像メ有効成分(煨性石灰)ノ含量ヲ檢			
定シ多キニ從ツテ之ヲ使用スヘシ其ノ試驗ノ簡易ナル方法ニ至テハ後日更ラニ報道スル所アラン			
トス			

衛生局長演說中抜抄  
 先ツ過刻中濱技師ノ演說中ニ一言セシ武力製石油空罐應用ノ事ヨリ説明スヘシ昨年松平熊本縣知

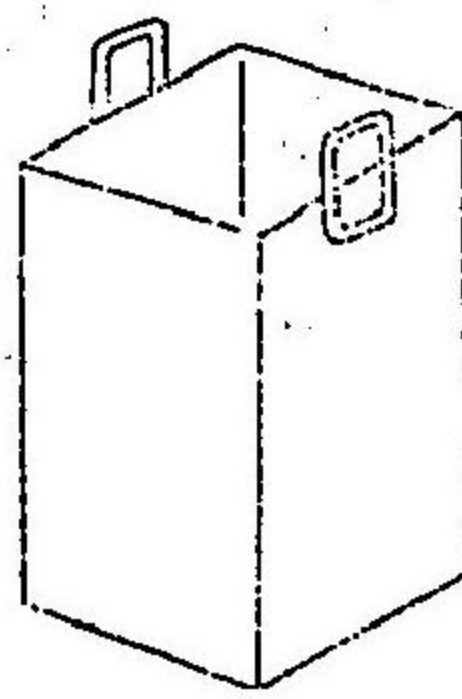
事我衛生局ニ來リ赤痢病豫防消毒ノ事ヲ協議シ同照他田郡警察署長醫部工藤古壽慶々其管轄内流  
 行地ニ出張シテ消毒ノ施行ニ從事セシカ常ニ簡便有効ノ方法ヲ得ンコトヲ焦慮シ遂ニ石油空罐應  
 用ノ事ヲ工夫シ之ヲ實地ニ試用シテ頗ル簡便ナルヲ覺ヘタリトテ則チ其方法ノ適否ヲ小官ニ質セ  
 リ小官亦曾テ簡便消毒方法ニ苦慮スル者ナリ此方法ヲ聞キ實用上果シテ有効簡便ナルコトヲ信セ  
 リ適々兵庫高知兩縣ノ赤痢病流行地ニ出張スルノ好機ヲ得タルヲ以テ多少ノ考案ヲ加ヘテ實地ニ  
 應用セシニ寔ニ民家ニ適セル簡易有効ノ良法ナルコトヲ確認セリ是レ赤痢ノ消毒ニ石油空罐ヲ供  
 用スルノ由來ニシテ左ニ其方法ヲ細説スヘシ

第一 武力製石油空罐ノ上面ヲ切り離シ蓋ナキ武力箱ト爲シ第一圖ノ如ク其四隅ニ針金ヲ以テ環  
 ナ附ス環ハ第二圖ノ如ク其兩側ニ附スルモ可ナリ別ニ第三圖ノ如キ把手ヲ作り把手ノ鈎ヲ武力箱

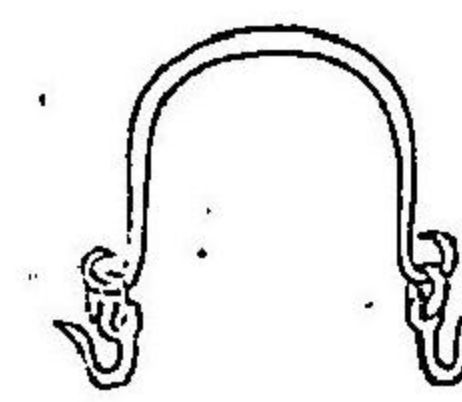
第一圖



第二圖

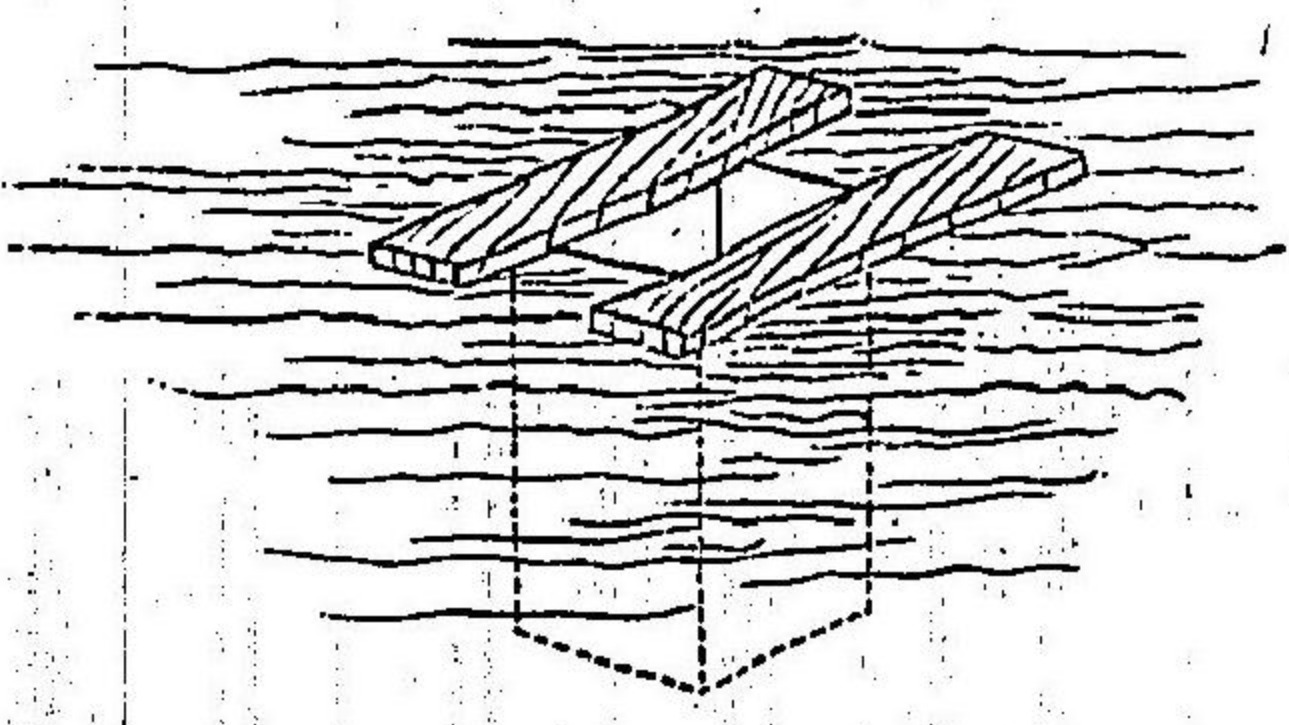


第三圖

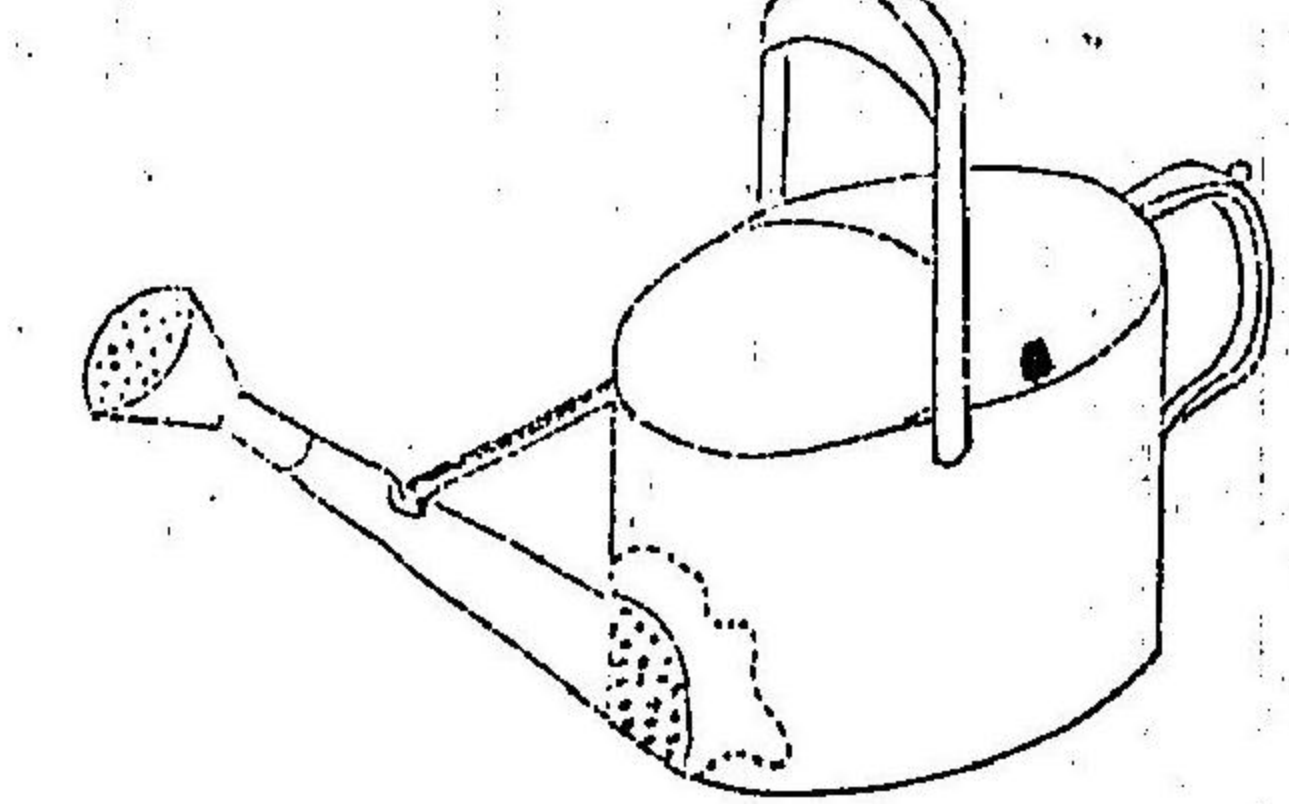


ノ環ニ掛ケ持運ヒニ便ナラシム其把手ヲ作り附ケニ爲スハ不便アリ必ズ別々ニ之ヲ作り置クヘシ  
 環ノ附ケ方モ箱ニ孔ヲ穿テ牛ノ鼻環ノ如ク針金ヲ通シテ之ヲ曲クレハ夫レニテ十分ナリ只手丈夫  
 ナ主トスヘシ全國ヲ通シ箱壹個ニ付五六錢ヲ出セハ容易ニ製造スルコト得ヘケン扱町村役場ニ於  
 テハ不斷此箱數個以上ヲ備ヘ置キ患者發生ノ報告ニ接シタルトキハ直ニ之ヲ持參シ患者ノ便所ニ  
 通ヒ得ル者ナレハ庭前便宜ノ場所ニ此箱ノ容ルヘキ穴ヲ掘リ箱ヲ落シ込ニ其上ニ二枚ノ板ヲ程能

第四圖



第五圖

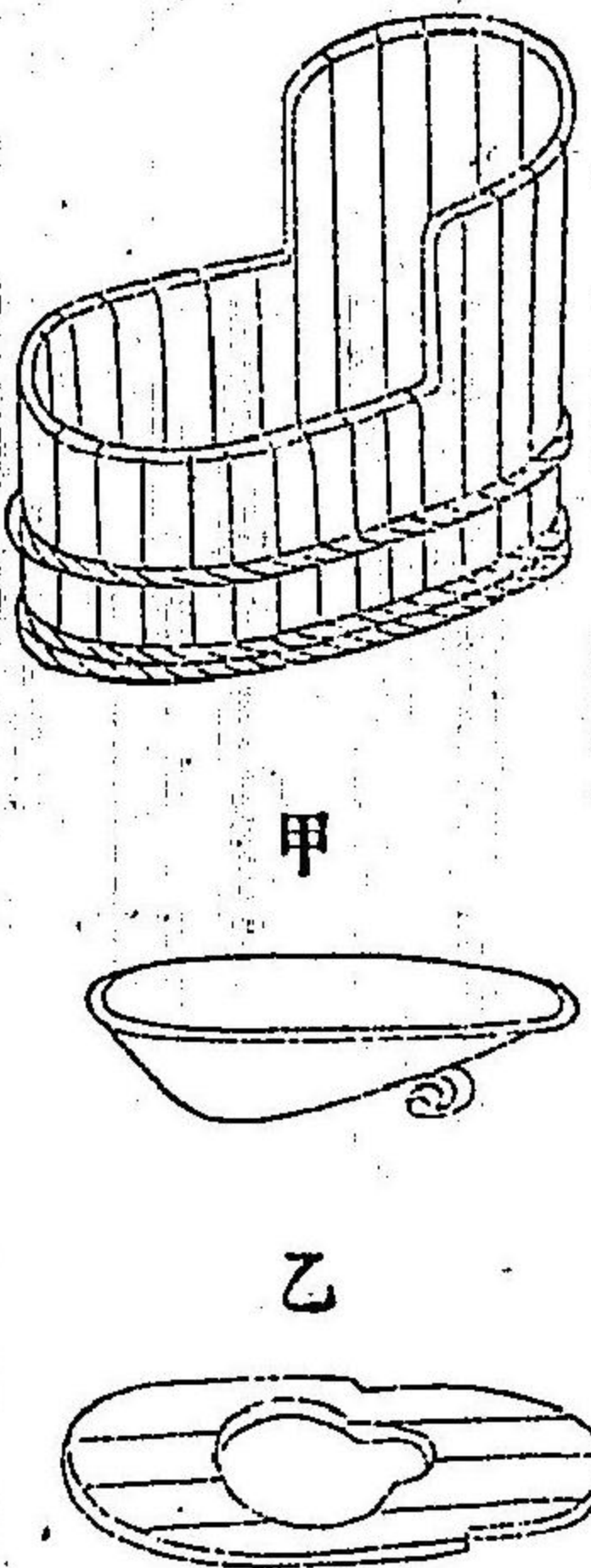


十倍ノ石炭酸水又ハ生石灰若クハ石灰乳ヲ投スヘシ斯クテ三四日ヲ經レハ尿管消毒水ナト積リテ  
 武力箱ノ凡ソ半分目位ニ充ツヘケレハ其際他ノ箱ト取換ユヘシ取換ユヘキ日限ハ豫メ幾日ト定メ  
 難カラシカ宛ニ角尿管其他ノ半分目位ニ充ツルヲ度トシ別ノ箱ト取換ヘ置テ之ヲ煮沸ス(煮沸ノ  
 方法ハ後ニ説明スヘシ)此ニ注意スヘキ事アリ箱ヲ取換ユルニ際シ踏板ヲ剝キ起ストキニハ必ス  
 其前ニ第五圖ノ如露ヲ以テ石炭酸水又ハ石灰水ヲ灑キテ塵芥ノ飛揚セサル様踏板及ヒ其近傍ヲ濕  
 潤ナラシムヘシ場合ニ據リテハ單ニ水ニテモ可ナリ

右ノ如ク一個ハ便器ニ供シ一個ハ其取換ニ備ヘ別ニ一個ハ下痢物ヲ拭ヒタル襪ヲ容ルノ用ニ  
 供スル爲メ患者發生ノ報告ニ接シタルトキハ一人ノ患者ニ付武力箱三個宛ヲ持參スルヲ要ス

第二 又第六圖在來普通ノ木製便器ヲ用ユルモ可ナリ尤モ第六圖甲ノ如キ武力製木ノ葉形ノ皿ヲ

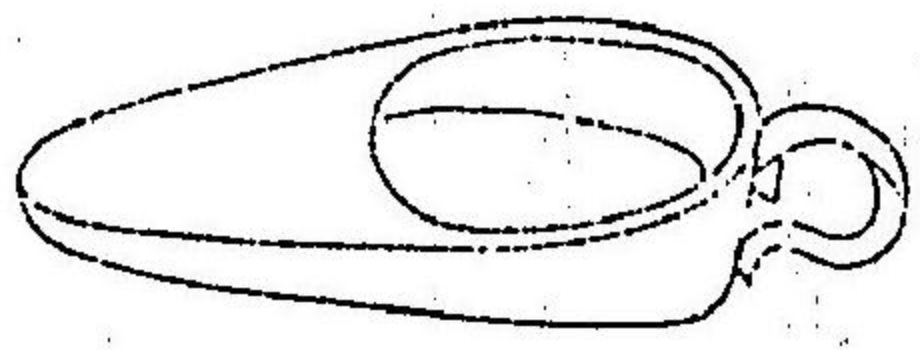
第六圖



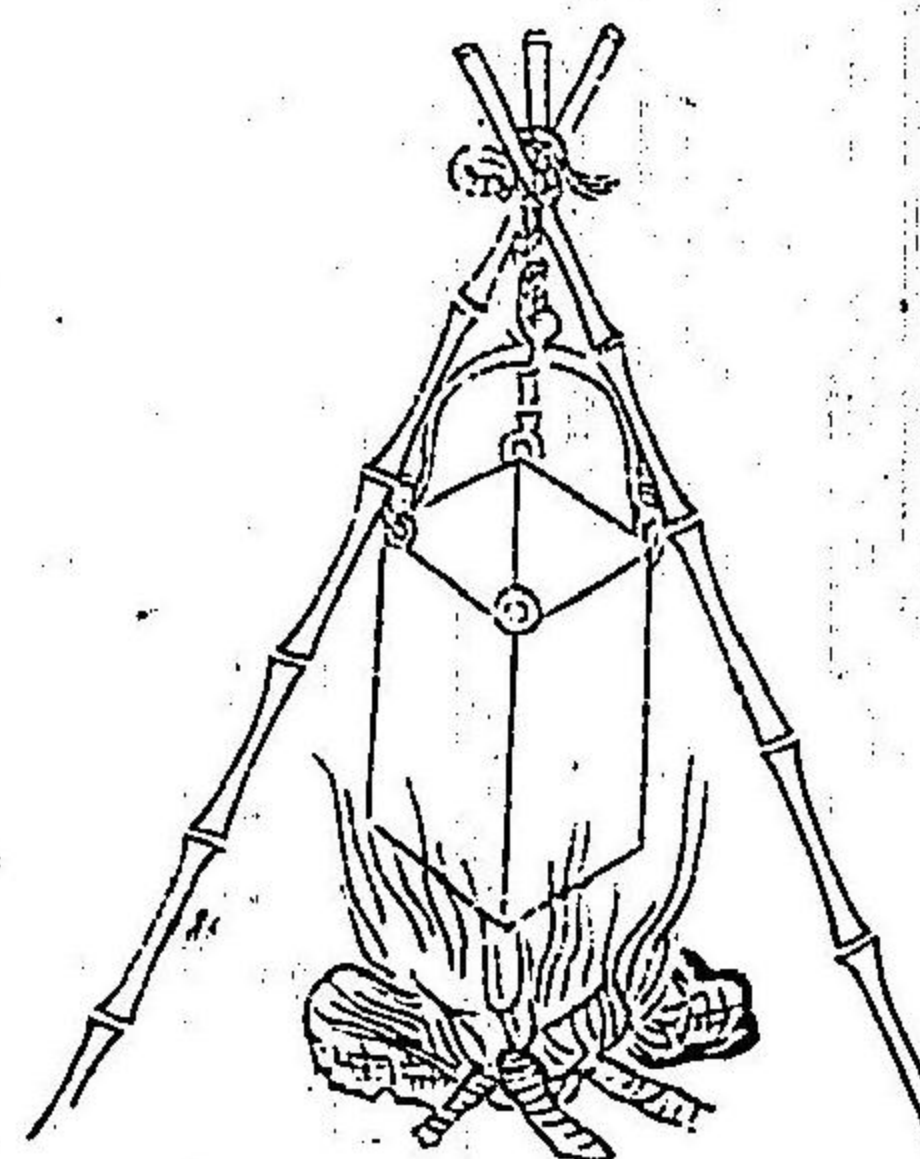
便器ノ中ニ置キ大便ヲ此皿ニ受クル様ニ爲セハ大便ヲ洗ヒ落スニ便利ナルノミナラス石灰其他ノ消毒藥ヲ便上ニ撒布スルモ便器ノ不潔トナルノ憂少ナシ又此便器ニ第六圖乙ノ

如キ中央ニ孔ヲ穿チタル蓋ヲ設ケ其孔ノ下ニ甲ノ皿ヲ置キ疲レタル患者ヲシテ尻ヲ据ヘテ通利セシムル方法モ試ミテ可ナリ木製便器中ニ武力皿ヲ置クトキハ大便ハ皿ノ上ニ留マリ小便ハ便器ニ流レ大小便ノ混セサルカ爲メ便器ヲ掃除スルニ甚タ便利アルヲ覺フ此便器中ノ大小便モ總テ第一二圖ノ武力箱ニ移シ置キ後ニ消毒スヘシ患者ノ臥蓐セル儘便ヲ取ル者ニ在リテハ第七圖ノ如キ武力製ノ薄キ便器ヲ用ユレハ患者ノ尻ノ下ニ敷キ入ルコトヲ得ヘシ此器ニ受ケタル便モ其都度消毒藥ヲ灌キ第一

第七圖



第八圖



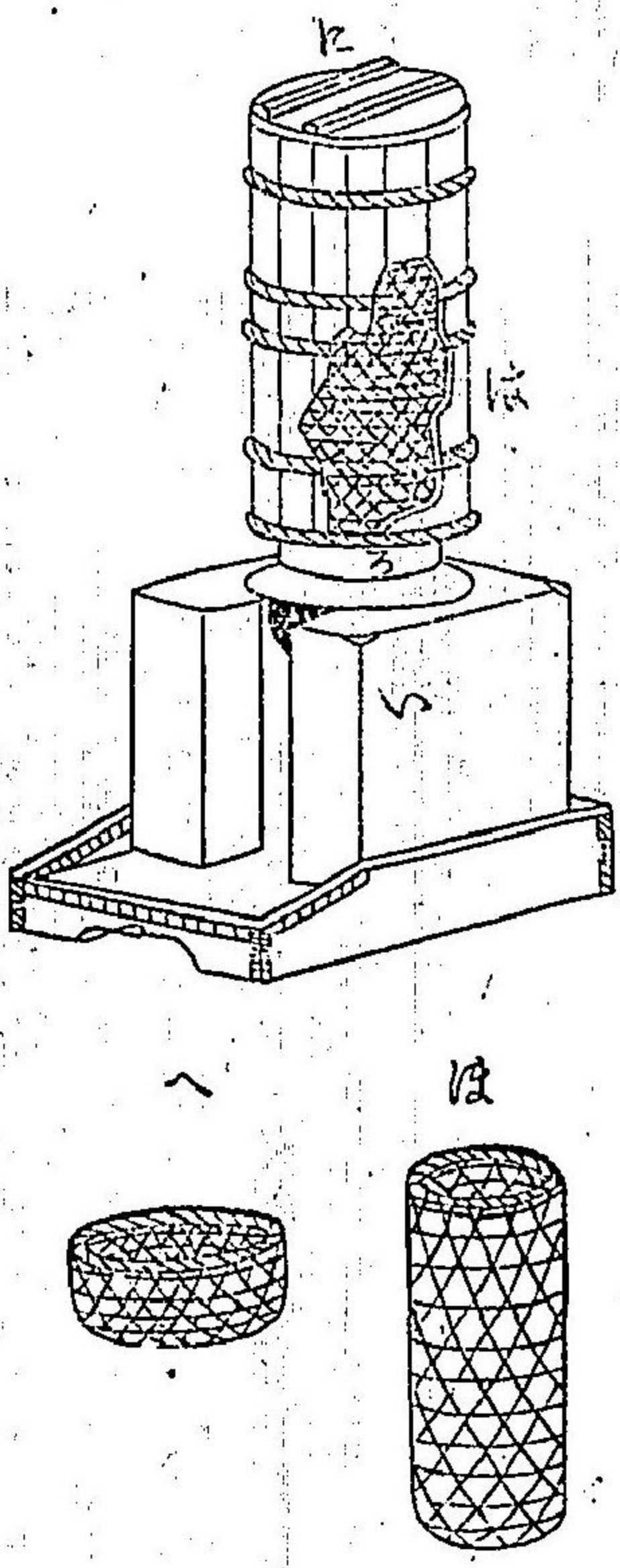
二圖ノ武力箱ニ洗ヒ落スヘシ初第一二圖ノ武力箱ニ充チタル大小便ヲ煮沸スルノ方法ハ頗ル簡易ニシテ第八圖ノ如ク何レノ場所ニテモ三個ノ石ヲ排列シテ假ノ竈ヲ作り其上ニ武力箱ヲ釣スヘキ竹又ハ木ノ三又架ヲ立テ把手ヲ此三又架ニ結ヒ附ケ

箱ヲシテ恰モ竈ノ上ニ釣シ下ヨリ火ヲ焚テ之ヲ煮沸ス便中ニ石灰ノ混シタルモノハ沸騰後十五分乃至二十分間其儘ニ煮沸スレハ病毒ハ全然死滅ニ至ルヘシ煮沸シテ病毒ヲ死滅セシメタル便ハ尋常ノ便所ニ投スルトモ又田畑ニ捨ツルトモ勝手ニ始末スヘシ決シテ害ナキナリ尿管ヲ煮沸セハ堪ヘ難キ臭氣ヲ發スル様ニ思ハルレトモ石灰ヲ混シタル尿管ハ煮沸スルモ左程臭氣ヲ發スルコト無ク殆ント驚ク程ノモノナリ此煮沸法ハ始メ消毒藥ヲ投入スルコト不充分ナリシモノモ安全無害ナラシムルニ至リ殊ニ右ノ如キ簡易ノ方法ナルヲ以テ一般ニ此方法ヲ採用スルニ至ランコトヲ企望ス

武力箱ハ堅テ長キカ故ニ便量多ケレハ沸騰ニ至ルマデ餘程ノ時間ヲ要スヘシ故ニ尿管及消毒水トモ半分目マテニ充ツルヲ極度トスヘシ又箱ハ石ノ假竈ノ上ニ直クニ乗セテ煮沸スルモ可ナルヘク別ニ三又架ヲ設グルノ必要ナキカ如クナレトモ薄キ武力ノコトナレハ火力ノ爲メニ反曲シテ時ニ顛覆スルノ憂ナシトセス又竈ト箱トノ間ニ多少ノ空隙ヲ存スレハ火力ノ當リモ強ケレハ左程ニ手敷モ費用モ要セヌ三又架ノコト故ニ是非トモ之ヲ設グルヲ安全ナリトス大概一人ノ患者ノ便ハ三四日目ニ武力箱ノ半分目ニ充ツル位ナレハ日々煮沸スルノ面倒モ無ク思ノ外ニ手敷ヲ要セサルモノト知ルヘシ又赤痢ノ便量ハ些少ナレハ都合ニ據リテハ第六圖甲ノ皿ヲ以テ直ニ便ヲ受ケ之ヲ武力箱ノ中ニ洗ヒ落スモ可ナラン其病毒ハ揮發性ニ非サレハ臭氣ヲ嗅クモ傳染ノ憂ナシ然レトモ赤痢患者ノ上リタル便所ニハ消毒濟ノ後ニ非サレハ健康人ヲ上ラシム可ラス是レ便所ノ踏板杯ニ附着セル大便ノ塵芥ニ混シテ飛揚スルノ恐アレハナリ若シ全ク乾キ切りタル以上ハ病毒モ其生活ヲ保ツコト能ハサルヘキガ未ダ枯死ニ至ラサル生マ乾キノ間ニ草履ニテ踏マレ擦ラレ杯スレハ塵芥ニ伴ヒ容易ニ飛揚スルカ故ニ此便所ニ入りタル健康人ニ附着シ又其身体ニ伴フテ散亂スルノ憂アリ是レカ爲メ

前ニモ陳フルカ如ク便所ノ踏板及ヒ其近傍ハ常ニ濕潤ナラシメ塵芥ノ發揚ヲ防グノ要アル所以ナリ  
 又便所ニモ通ヘス便器ニ上ルコトモ叶ハサル患者ハ第七圖ノ便器カ又ハ襪襪ヲ以テ其便ヲ取ラサル可ラス其便ノ爲メニ汚サレタル襪襪ハ前ニモ陳フルカ如ク必ス之ヲ箱ニ入レ消毒藥ヲ撒布シ置キ後ニ之ヲ煮沸スルカ若クハ蒸氣消毒ヲ行フヘシ襪襪ノ不始末ヨリ病毒ノ傳播セルコトハ其例ニ乏シカラス從來此襪襪ハ悉ク燒却又ハ埋却セルヨリ貧家ハ勿論相當ノ生計アル者モ數日間ニ襪襪ヲ使用シ盡シ終ニ夜具ノ綿ヲ拔テ之ヲ用ユルニ至ルモノ少シトセス是等ノ爲メ大ニ民心ヲ害シ患者隠蔽ノ一原因ヲ醸成シタルコトハ爭フ可ラサル事實ナルヘシ故ニ之レニ適當ノ消毒法ヲ施シテ再用ニ堪ヘシムルトキハ第一民心ヲ和ケテ豫防上ノ便宜ヲ得隨テ經濟上ニ裨益アリ實ニ襪襪ハ貧家ニ在テ貴重ノ財産ナルノミナラス年々歲々赤痢ノ流行ニ際シ各患家ニ使用セル莫大ノ襪襪ヲ廢棄スルト否トハ國家經濟上ニ大影響ヲ與フルコト亦喋々ノ辯ヲ要セサルヘシ  
 第三 襪襪ヲ消毒スルニ最モ手近キ方法ハ煮沸ナリ其煮沸ヨリモ尚一層簡便ナル方法ハ第九圖ノ

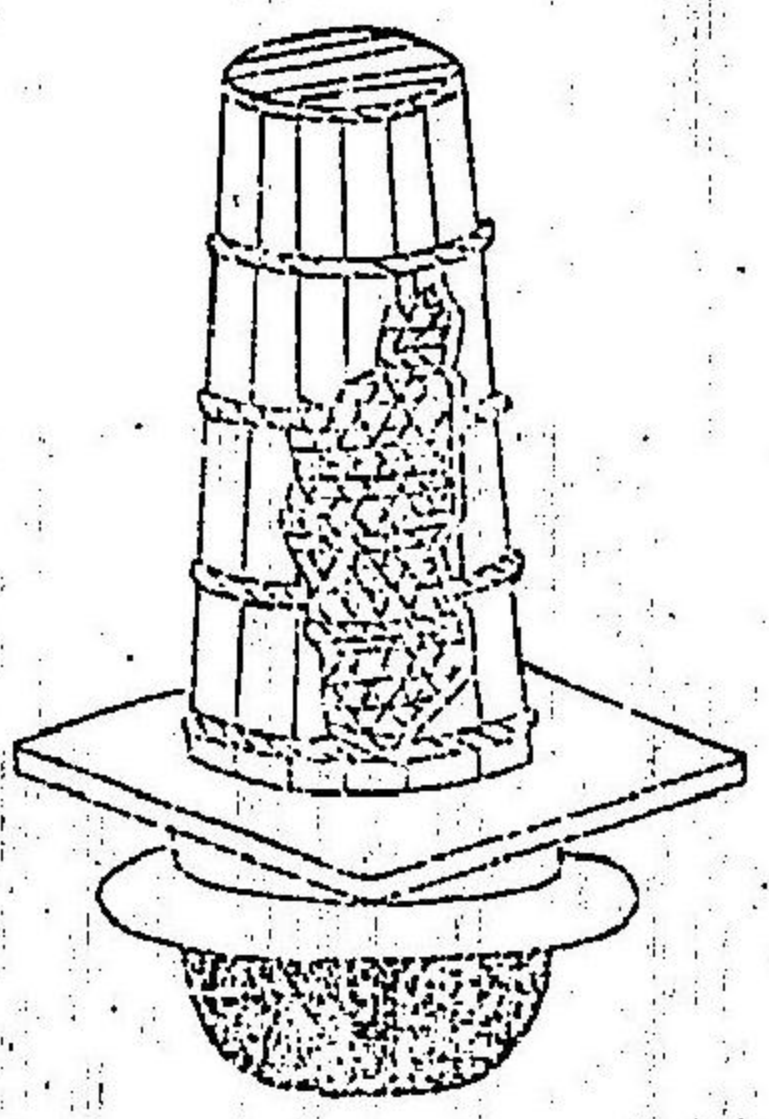
第九圖



溫熱消毒器ヲ用フルニ在リ(明治二十二年陸軍省醫務局ヨリ官報第一八〇〇號ニ掲載セリ)其構造ハ民間常用ユル所ノ燒酎蒸溜器又ハ楮皮等皮等ヲ蒸スモノト略ホ同様ノモノニ

シテ何レノ地ニ於テモ釜ヲ除キ三圓乃至五圓ニテ容易ニ製作スルコトヲ得ヘシハ普通ノ竈ニ釜ヲ掛ケタルモノニテ其上ニハノ桶ヲ乗セ其桶底ニハ一小孔ヲ穿テ以テ蒸氣ヲ通セシム而シテハナル蓋ト桶底ノ釜ニ接スル所トハ共ニ密着ナラシメ蒸氣ノ漏レヌ様ニ爲スヘシ又第十圖ノ如ク桶

第十圖



底無シトスルトキハ此器械一式ヲ持運フトキ釜ニ蓋ヲ爲シ其上ニ桶ヲ横ヘ籠ト共ニ束子ヲ桶ノ中ニ棒ヲ通セハ二人ノ人夫ニテ之レヲ昇行クコトヲ得ヘシ兩圖ノ中何レニテモ實際ノ便宜ニ從フヘシ其桶ハ大約高サ二尺五寸横徑二尺釜ノ横徑ハ此桶ノ横徑ヨリ稍々小ナルヲ要スハノ大籠ハ自由ニ出入シ得ヘキ大サ即チ高サ三尺二寸許横徑一尺九寸許トシヘノ小籠ハ五個ヲ重子テ殆ント

大籠ト同様ナルヘキ高サトス即チ六寸許ニシテ横徑ハ同シク一尺九寸トス  
 此器ニテ消毒スル方法ハ第九圖ノ如ク裝置シ釜ノ湯ヲ沸カシ其沸騰スルヲ待テ上蓋ヲ開キ消毒スヘキ物品ヲ盛りタル大籠又ハ小籠ヲ容レ蓋ヲ閉チ一時間以上之ヲ蒸スヘシ而シテ其熱度ハ攝氏百度以上タラサル可カラス  
 大籠ハ衣服夜具敷物等ノ大ナルモノヲ消毒スルトキニ之ヲ用ヒ小籠ハ襪襪布片ヲ消毒スルニ用ユルモノナリ各患家ニ在テ糞便ヲ拭ヒタル襪襪ヲ武力箱ニ投入セルモノヲ一定期ニ取纏メ甲家ノ箱ト乙家ノ箱ト紛レサル様儀メ武力器ニ名札ヲ附シ置キ其襪襪ヲ小籠ニ容レタル後モ亦甲乙混交セサル様名札ヲ附シ置ケハ一回ニ數個分ヲ蒸スコトヲ得ヘシ百度以上ノ熱ニテ一時間以上蒸ストキハ十二分ニ消毒ノ効ヲ奏スルカ故ニ襪襪ニハ赤痢便ノ見ハニ附着シ居ルモ普通洗濯ヲ爲スト同様



ニ淡水ニテ洗ヒ其水ハ下水ニ流スモ最早懸念スル所之レナキナリ斯クテ襪襪ヲ容レ來リタル武力箱ハ水中ニ投シテ蒸スルトモ又蒸シ序テニ此蒸籠ニ入レテ蒸ストモ便宜消毒法ヲ行フトキハ全然消毒セラレ安全無害ノモノトナレハ再ヒ何事ニモ之ヲ用ユルコトヲ得ヘシ  
 以上ノ消毒方法ハ獨リ府縣廳郡役所ノ衛生主任者ノミナラス一般開業醫ヲシテ之ヲ會得セシメ市町村吏以下消毒實習ノ師ニ乏シカラサルニ至ルトキハ各地漸次ニ完全ナル消毒方法ヲ行フニ至ルヘキハ必然ナルヘシ

○石川縣訓令甲第三十四號

郡市役所  
町村役場

明治二十年四月本縣訓令第百八號陸軍召集條例石川縣細務規定第百六十二條第三項分營地ハノ下左ノ通改正ス

豐橋兵營トアルヲ豐橋衛戍練兵場トス

石川縣知事 三間正弘

石川縣訓令甲第三十四號參照

石川縣訓令第百八號(明治二十年四月二十一日發布公報第百四十五號)陸軍召集條例石川縣細務規定抄錄

第百六十二條第三項

一分營地ハ豐橋兵營

○石川縣訓令甲第三十五號

郡市役所  
町村役場

明治二十五年五月本縣訓令第四十一號陸軍召集旅費出納官中左ノ通異動ス  
 明治二十六年九月十二日 石川縣知事 三間正弘

郡	名	支	給	所	出	納	官	氏	名
能	美	郡	郡	役	所	郡	長	稻垣	義方

○石川縣訓令甲第三十六號

郡市役所  
町村役場

明治二十六年勅令第三十四號ニ依リ市町村立尋常小學校ニ就學スル兒童ノ全員又ハ或學級ノ授業料ヲ徵收セサルコトニ就キ縣知事ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シテ稟申スヘシ  
 前項ノ稟申ハ町村立尋常小學校ニ就キテハ郡長ヲ經由シ郡長ハ其適否ニ關スル意見ヲ添申スヘシ  
 明治二十六年九月十九日 石川縣知事 三間正弘

- 一 每學校學級ノ數、每學級ノ兒童數及受持教員ノ職名俸給氏名
- 一 學齡兒童數、尋常小學校ノ教科ヲ卒リタル兒童數、就學猶豫ノ兒童數、就學免除ノ兒童數、家庭又ハ其他ノ學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童數、每學校ニ就學スル兒童數
- 一 國稅額、縣稅額、市町村稅額、其他市町村收入額、並其總計
- 一 市町村歲入歲出豫算書及追加額(或學級ノ兒童ノ授業料ヲ徵收セサルコトノ許可ヲ受ケントスルトキハ其學級ニ對スル授業料收入豫算額ヲモ記載スヘシ)
- 一 戶別割二戶當以上ヲ負擔スルモノノ戶數、一戶當未滿ヲ負擔スルモノノ戶數



和續入未定ノ遺産金  
 全上 物件賣却代  
 全上 利子元金地家賃ノ類  
 負債者身代限ノ分配ヲ受ケヘキ債主ノ請求ナキ分配金  
 右ノ外政府ニ於テ保管ノ義務ヲ有スル金錢ニシテ規則ニ據リ町村長ノ保管ニ屬スル金錢  
 第二條 收入官吏ハ町村長ヨリ保管金ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ニ添付アル明細書ニ郡長ノ判決  
 ナ得テ現金ヲ領收シ其送付ヲ受ケタル町村長ニ對シ領收證書(書式ハ適宜)ヲ發スヘシ  
 第三條 收入官吏ノ領收セシ保管金ハ保管金取扱規程(二十二年大藏省令第 八號ヲ云フ以下同シ)第七條ニ據リ保管金  
 送付書ヲ以テ預金局ヘ寄托スヘシ  
 第四條 收入官吏ハ町村長ノ請求ニ依リ預金局ヘ寄托ノ保管金ヲ拂戻サントスルトキハ拂戻金證  
 明書正副二通ヲ調製シ之ニ契印ヲ捺シ正書ハ町村長ヲ經由シテ權利者ニ交付シ正當領收證書ヲ  
 徴シ副書ハ收入官吏ニ於テ保存スヘシ  
 第五條 前各條(第三條)ニ係ル金錢ノ出納及保管金取扱規程第十三條ニ據リ預金局ヨリ歳入ノ通  
 知ヲ得タルトキハ出納官吏現金出納簿ニ登載シ尙適宜補助簿ヲ設ケ保管金ノ種類ヲ區分整理ス  
 第六條 收入官吏交替事務引續又ハ計算書提出方ハ會計規則(二十二年勅令第六十號)第九十條第九十七條第  
 九十九條第一百一條ニ準據シ且計算書々式等證明上ニ關シテハ歳入歳出外現金出納證明規程(二十  
 四年三月會計檢)ニ據ルヘシ  
 第七條 前條計算書ニ添付スヘキ證書類ハ受入金ニ對シテハ第二條ノ明細書支拂金ニ對シテハ  
 第四條ノ正當領收證書歳入ヘ納付金ニ對シテハ第五條ノ預金局通知書トス

○石川縣訓令甲第四十號

郡 役 所  
 縣 立 學 校  
 縣 立 病 院

本縣縣稅支辨ニ係ル旅費規則左ノ通相定ム  
 但明治二十四年八月本縣訓令第七十二號其他本則ニ抵觸スル規定ハ渾テ之ヲ廢止ス  
 明治二十六年十月十日  
 石川縣知事 三間正弘

縣稅支辨旅費規則

第一條 縣稅支辨ニ係ル職員及雇員ニシテ別段ノ規定ナキ者ノ旅費ハ左表ノ額ニ依リ支給ス

名	旅 費 額			
	瀛車賃	瀛船賃	車馬賃	日當
月俸參拾圓以上ノ職員及雇員 但判任待遇ノ者ヲ除ク間ハス	四 錢	五 錢	八 錢	六 拾 錢
月俸參拾圓未滿拾圓以上ノ職 員及雇員并月俸參拾圓未滿ノ判 任待遇ノ者	四 錢	五 錢	六 錢	五 拾 錢
月俸拾貳圓未滿ノ職員 及雇員 縣内	三 錢	四 錢	五 錢	三 拾 錢
月俸拾貳圓未滿ノ職員 及雇員 縣外	三 錢	四 錢	六 錢	五 拾 錢

本表中第一項及第二項ハ縣内外ナ區別セズ

第二條 年俸若クハ年手當及月手當若クハ日給ヲ受クル者ハ其給額ヲ月額ニ換算シテ支給ス  
 第三條 旅費ノ支給方法ハ明治十九年六月閣令第十四號内國旅費規則ニ據ル  
 第四條 本規則ハ明治二十六年十一月一日ヨリ施行ス  
 ○石川縣訓令甲第四十一號

郡 役 所  
 執務時間毎年九月十一日ヨリ翌年四月十九日迄ハ午前八時ヨリ午後四時迄ニ繰上ク  
 但本年ハ來ル十一月一日ヨリ施行ス  
 明治二十六年十月二十七日  
 石川縣知事 三間正弘

○石川縣訓令甲第四十二號

郡 役 所  
 町 村 役 場  
 船長運轉手機關手ノ免狀ヲ受有スル者ノ乗組タル船舶海難ニ罹リ又ハ乘客若クハ乗組員死傷シタル場合ニ在テハ沈没若クハ破壊ノ原因日時場所船名死傷人ノ員數等電報ヲ以テ直チニ届出ツヘシ  
 但詳細ノ事實ハ尙内務部報告例ニ據リ報告スヘシ  
 明治二十六年十月三十一日  
 石川縣知事 三間正弘

○石川縣訓令甲第四十三號

縣 立 學 校  
 市 町 村 立 學 校  
 私 立 學 校

教育ハ政論ノ外ニ立ツヘキモノタルニ因リ學校教員タル者ハ尙モ現在ノ政務ニ關スル事項ヲ論議シ又ハ學政ノ執行上障害ヲ生スルノ虞アルカ如キ演說又ハ叙述ヲナスヘカテサルコトニ注意スヘシ  
 教育會等ノ名稱ニ於ケル團體ニシテ純粹ナル教育事項ノ範圍ノ外ニ出テ教育上又ハ其他ノ行政ニ涉リ時事ヲ論議シ政事上ノ新聞雜誌等ヲ發行スルハ一種ノ政論ヲ爲スモノト認メサルヲ得サルニ因リ其團體ニ於テ法律上ノ手續ヲ履ニ相當ナル政論ノ自由アルト否トニ拘ラス學校教員タル者ハ此等團體ノ會員タルヘカラス  
 明治二十六年十一月十四日  
 石川縣知事 三間正弘

○石川縣訓令甲第四十四號

郡 市 役 所  
 町 村 役 場  
 明治十四年十二月 布告第六十三號褒章條例第一條及第二條ニ該當スルモノハ左ノ手續ニ據リ具狀スヘシ  
 明治二十六年十一月二十一日  
 石川縣知事 三間正弘

寄 附 者 具 狀 手 續  
 第一條 具狀書ニハ奇特者ノ住所、族籍、職業、位階、勳等、氏名、生年月、貧富ノ度及賞譽、刑罰ノ種類ヲ明記スヘシ  
 第二條 人命救助者ハ左ノ事項ヲ記載スヘシ  
 一 危難ト認ムヘキ實況  
 二 勞働ノ形容

- 三 救助シタル場所四面ノ景況
  - 四 敷人ニテ救助シタルトキハ每人勞力ノ等差
  - 五 被救助者ト親戚ノ關係
  - 六 救助ノ爲メ死傷シ又ハ疾病ヲ生シタルトキハ醫師ノ診斷書
  - 七 被救助者救助者又ハ關係人ノ手續書
  - 八 前各項ノ外必要ト認メ又ハ參考ト爲ルヘキ廉々
- 第三條 德行著ハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 德行近隣ニ聞ヘ親戚朋友之ヲ稱譽スル廉又ハ郷閭ニ顯ハレ郷黨之ヲ稱譽スル廉又ハ國郡ニ秀テ衆人之ヲ稱譽スル廉
  - 二 德行ノ年間行爲事歴ノ詳細及家計貧富浮沈ノ關係從來ノ異動ヲ明記シタル戸籍寫
  - 三 義僕節婢ハ主家ノ證明書
  - 四 前各項ノ外必要ト認メ又ハ參考ト爲ルヘキ廉々
- 第四條 實業精勵者ハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 農工商業上多年一貫能ク其業ニ精勵他ノ龜鑑ト爲リ又ハ其事業ニ依リ大ニ公衆ニ利益ヲ與ヘタル者ハ其年間行爲事歴ノ詳細
  - 二 農工商業上新規有益ナル發明ヲ爲シ又ハ事業ノ振起ヲ計リ販路擴張ニ力ヲ盡シ其結果地方物産ヲ發達ニ至ラシメタル者ハ其苦心焦慮ニ係ル年間行爲事歴及發起ノ志望家計貧富浮沈ノ關係
  - 三 前項ノ外必要ト認メ又ハ參考ト爲ルヘキ廉々
- 第五條 公衆ノ利益ヲ興セシ者ハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 疎河築堤墾田道路開鑿等ノ事業ヲ爲シ利益ヲ興シタル者ハ事業經營ノ年間行爲事歴發起ノ志望及直接又ハ間接ニ利益ヲ受ル所ノ區域並ニ其事業ノ爲メニ投シタル費額
  - 二 貧院學校等ヲ設立セシ者ハ其計畫ニ從事セシ年間行爲事歴發起ノ志望及之ニ要シタル費額
  - 三 前項ノ外必要ト認メ又ハ參考ト爲ルヘキ廉々
- 第六條 公同ノ事務ニ勤勉セシ者ハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 公同ノ事業ニ從事シ効勞顯著ナル者ハ其事務ノ成績職務、事業ニ從事ノ年間顯著ナル行爲、事歴ノ詳細其他必要ト認メ又ハ參考ト爲ルヘキ廉々
- 第七條 既ニ具狀ヲ爲シタル後本人重輕罪ノ刑ニ處セラレタル時ハ其趣直ニ申出ヘシ
- 石川縣訓令甲第四十五號
- 郡市役所
- 農事試験場本支場管轄區域農商務省府第八號ノ通相定メラレ候ニ付左ノ事項豫テ相心得置クヘシ
- 明治二十六年十一月二十一日
- 石川縣知事 三間正弘
- 一 農事講話ノ爲メ毎年所轄支場ノ技術官ヲシテ管轄區域内巡回セシメラル
  - 一 所轄支場ヨリ農事講話ノ爲メ技術官派出ノ報知アルトキ當廳ハ日限ヲ定メ通知ス其郡市長ニ於テハ豫メ講話ノ場所ヲ定メ其日限等部内ヘ告知スヘシ
  - 三 巡回講話若クハ品評會共進會審査等ノ爲メ旅費ヲ支辨シテ技術官ノ派出ヲ要スルトキハ開會十日前當廳ヲ經テ所轄支場ヘ申立ツヘシ
  - 四 種苗配附ハ所轄支場ニ於テ配附ノ都度其官報紙上ニ廣告アルヘシ
  - 五 十質種子肥料飼料等ノ鑑定并農事ニ關スル質問アルトキハ當廳ヲ經テ所轄支場ヘ申出ツヘシ

六 土質種子肥料飼料等ノ分析ニ關スル規程ハ追テ之ヲ定メラル  
 ○石川縣訓令甲第四十六號

郡市役所  
 町村役場

明治二十五年五月本縣訓令第四十一號陸軍召集旅費出納官中左ノ通異動ス  
 明治二十六年十二月十五日 石川縣知事 三間正弘

陸軍召集旅費<sup>臨時</sup>出納官人名

郡市名	支	給	所	出納官氏名
珠洲郡	珠洲郡	役所	郡長	野崎近幸

○石川縣訓令甲第四十七號

市役所  
 町村役場

國稅ニ係ル納付書ヘ記入スヘキ收入官吏官氏名ハ明治二十七年一月以降主任收入官吏官氏名所屬  
 分任收入官吏官氏名扱下記載スヘシ  
 明治二十六年十二月二十三日 石川縣知事 三間正弘

○石川縣訓令甲第四十八號

郡市役所

市町村立小學校ニ於テ裁縫ヲ教授スヘキ免許狀ヲ有スル教員ヲ得難キトキハ品行方正ニシテ教授  
 上適當ト認ムルモノニ限リ一時雇員トシ任用スルコトアルヘシ  
 前項ノ雇員ノ任用解職ニ就テハ明治二十六年石川縣令第四十六號ノ規程ヲ適用ス  
 第一項ノ雇員ニハ市町村立小學校准訓導ト同一ノ旅費ヲ支給シ其給料旅費等ノ支給方ハ明治二十  
 五年石川縣令第二十五號ノ規程ヲ適用ス  
 明治二十六年石川縣訓令甲第三十號ヲ廢止ス  
 明治二十六年十二月二十八日 石川縣知事 三間正弘

町村役場

訓令乙

○石川縣訓令乙第一號

明治二十二年一月ヨリ同二十五年十二月ニ至ル四箇年間ニ於テ徵兵令未行地へ轉籍シタル男子人員表差出スヘク旨其筋ヨリ通知有之候條夫々取調別紙雛形ニ基キ來ル五月五日迄ニ當廳へ到達ノ見込ヲ以テ表面調製差出スヘシ

明治二十六年四月四日

石川縣知事代理

石川縣書記官 龍岡信熊

徵兵令未行地へ轉籍者人員調査表

轉籍地名	轉籍者年齡		二十二年	二十三年	二十四年	二十五年	計
	十七年以上	二十年未滿					
沖繩縣	十七年以上	二十年未滿					
	二十年以上						
小笠原島	十七年以上	二十年未滿					
	二十年以上						
北海道	十七年以上	二十年未滿					
	二十年以上						

郡市名

計	十七年以上					
	二十年未滿					
	二十年以上					

一本表二十年以上ノ區畫ニハ徵兵事務條例第四十一條ノ終決處分ヲ經ス徵集ニ應スヘキ義務アル者ノミヲ記載ス

二本表ニハ屯田兵籍ニ編入ノ爲メ北海道へ戶籍ヲ移シタルモノハ算入セス

郡市役所  
町村役場

○石川縣訓令乙第二號

商法及之ニ關スル法律ハ目今施行延期中ニ付其實施マテハ銀行會社ヲシテ同法律ニ準據セシムルノ効力ナキハ勿論ニ候得共從來ノ慣例ニ一任致置候テハ同法律實施ノ期ニ際シ定款變更等錯雜ノ手數ヲ要シ困難ノ事情モ可有之ニ付自今銀行會社ノ設立ヲ出願スルトキハ其組織定款等可成同法律ニ據ラシムル様注意スヘシ

明治二十六年四月七日

石川縣知事代理  
石川縣書記官 龍岡信熊

○石川縣訓令乙第三號

明治二十二年四月本訓令第六十七號廢止ス

郡市役所  
町村役場

明治二十六年四月十四日

石川縣知事 三間正弘

石川縣訓令乙第三號參照

石川縣訓令第六十七號(明治二十二年四月二十三日發布公報第三十七號)抄錄

郡市役所 町村役場

陸海軍給休兵 豫備役後備軍 兵員及新兵 入營前後 現役志願兵 一年志願、令 豫備役員ノ身上異動ハ一ヶ月取極メ別紙 書式ニ照準騰記シ翌月七日迄ニ報告スヘシ

但新兵現役志願兵豫備役員ノ身上異動ハ其都度町村長ヨリ郡長へ報告スヘシ且昨二十一年九月本縣訓令第百三十九號へ廢止ス

○石川縣訓令乙第四號

郡市役所

今般其筋ヨリ訓令ノ趣モ有之民有原野ノ内町村有其他共有ニ屬スル分左表ニ依リ取調來ル五月十五日限り差出スヘシ

石川縣知事 三間正弘

民有原野共有調査表

郡市名	共有區別	箇所	段別	地價
	一 町村共有			
	數 町村共有			
	一 大字共有			



合 計	數 名 共 有	數 大 字 共 有

一本表ニ原野ト稱スルハ秣場、蒲生地、牧場、草生地、芝地、荳野、柴生地、野地、柴草登山ヲモ含有ス

○石川縣訓令乙第五號

郡市役所  
町村役場

明治二十七年召集ノ屯田兵志願方ノ儀ニ付告前置候得共尙希望者ナシテ精々出願スヘキ様獎勵方取計フヘシ

石川縣知事 三間正弘

○石川縣訓令乙第六號

市役所  
町村役場

群馬縣北勢多郡赤城村役場ニ備置ノ出寄留簿等本年三月火災ノ節焼失ニ歸シ今回調製ヲ要スルニ付テハ同村在籍者ニシテ本縣内寄留ノモノハ當初届出ノ通記載シ本年五月十日迄ニ該役場へ届出ヲ要スル旨同縣ヨリ申來候條該當ノ者有之候ハ、右手續相違候様取計フヘシ

石川縣知事 三間正弘

○石川縣訓令乙第七號

郡市役所  
町村役場

明治二十六年出師年度 明治二十六年五月一日ヨリ出師準備調査ニ於テ近衛師團充員召集下令ニ際シ兵員ノ同集合地へ參着期日ハ下士及同適任證書ヲ所有スル上等兵ノ參着期日ノ翌日ト相定メタル旨第三師團長ヨリ通知有之候條本年出師年度間ニハ陸軍召集條例本縣細務規定第二十九條達文中(午前(後)ノ下(兵員ハ其翌日)ト記入シ達書發送候條此旨心得ヘシ

石川縣知事 三間正弘

○石川縣訓令乙第八號

郡市役所  
町村役場

明治二十六年出師年度 明治二十六年五月一日ヨリニ於テ充員並召集名簿等取扱方別表ノ通ナル旨金澤大隊區司令部ヨリ通知アリタリ

石川縣知事 三間正弘



二十六年出師年度召集區分調查表

考 備	近 衛 師 團 充 員 召 集		後 備 軍 召 集		充 員 召 集					區 分 地	召 集 召 集						
	合 集 地 名 古 屋		澤	金	屋 古 名	澤	金	屋	古	名	豫 備 校	豫 備 士					
	○		步兵科 但少佐限		○	步兵科 但少佐及大尉 ノ内指者ヲ除ク		獸醫部	衛生部	軍吏部	輜重兵科	工兵科	砲兵科	騎兵科 但大尉ノ内指者 ニ限ル	步兵科 但少佐ノ内指者 ニ限ル	豫備校	將
	○		步兵科 但少佐ノ内指者 ヲ除ク		步兵科 但少佐ノ内指者 ヲ除ク			獸醫部	衛生部	軍吏部	輜重兵科	工兵科	砲兵科	騎兵科		豫備校	校
	同 衛 生 部 同 軍 吏 部 同 工 兵 科 同 砲 兵 科 同 騎 兵 科 同 步 兵 科	同 砲 兵 科 同 騎 兵 科 同 步 兵 科	○		○	輜重兵科 但少佐及大尉 ノ内指者ヲ除ク ニ限アリ		野 戰 電 信 隊 但近衛師團及師團共工兵科 隊員ヲ除ク	適任上等兵士	適任看護士	適任上等兵士	適任上等兵士	適任上等兵士	適任上等兵士	適任上等兵士	豫備校	下
	同 衛 生 部 同 軍 吏 部 同 工 兵 科 同 砲 兵 科 同 騎 兵 科 同 步 兵 科	同 砲 兵 科 同 騎 兵 科 同 步 兵 科	近衛師團 步兵科 但集合地參著日 數六日以内ノ者 限ル	近衛師團 步兵科 但集合地參著日 數六日以内ノ者 限ル	近衛師團 步兵科 但集合地參著日 數六日以内ノ者 限ル	○	野 戰 電 信 隊 但近衛師團及師團共工兵科 隊員ヲ除ク	適任看護士	適任看護士	適任看護士	適任看護士	適任看護士	適任看護士	適任看護士	適任看護士	豫備校	士
	同 工 兵 科 同 砲 兵 科 同 騎 兵 科 同 步 兵 科	同 砲 兵 科 同 騎 兵 科 同 步 兵 科	○		○	步兵科		野 戰 電 信 隊 但近衛師團及師團共工兵科 隊員ヲ除ク	輜重兵	工兵	砲兵	騎兵	騎兵	騎兵	騎兵	歸 休 兵	兵
	同 工 兵 科 同 砲 兵 科 同 騎 兵 科 同 步 兵 科	同 砲 兵 科 同 騎 兵 科 同 步 兵 科	○		○	步兵科 但少佐及大尉 ノ内指者ヲ除ク		野 戰 電 信 隊 但近衛師團及師團共工兵科 隊員ヲ除ク	看護手	看護手	看護手	看護手	看護手	看護手	看護手	豫 備 役	豫 備 役
	同 工 兵 科 同 砲 兵 科 同 騎 兵 科 同 步 兵 科	同 砲 兵 科 同 騎 兵 科 同 步 兵 科	近衛師團 步兵科 但集合地參著日 數七日以内ノ者 限ル	近衛師團 步兵科 但集合地參著日 數七日以内ノ者 限ル	近衛師團 步兵科 但集合地參著日 數七日以内ノ者 限ル	輜重兵 但少佐及大尉 ノ内指者ヲ除ク		野 戰 電 信 隊 但近衛師團及師團共工兵科 隊員ヲ除ク	看護手	看護手	看護手	看護手	看護手	看護手	看護手	後 備 役	卒

明治二十六年 出師年度 充員并召集名簿附箋標準

近衛師團 充員名簿

名簿種類	兵種
近衛師團 歩兵科之部	近衛師團 歩兵科之部
近衛師團 騎兵科之部	近衛師團 騎兵科之部
近衛師團 砲兵科之部	近衛師團 砲兵科之部
近衛師團 工兵科之部	近衛師團 工兵科之部
近衛師團 軍吏部	近衛師團 軍吏部
近衛師團 衛生部	近衛師團 衛生部

名簿種類	兵種
近衛師團 歩兵科之部	近衛師團 歩兵科之部
近衛師團 騎兵科之部	近衛師團 騎兵科之部
近衛師團 砲兵科之部	近衛師團 砲兵科之部
近衛師團 工兵科之部	近衛師團 工兵科之部
近衛師團 軍吏部	近衛師團 軍吏部
近衛師團 衛生部	近衛師團 衛生部

名簿種類	兵種
近衛師團 歩兵科之部	近衛師團 歩兵科之部
近衛師團 騎兵科之部	近衛師團 騎兵科之部
近衛師團 砲兵科之部	近衛師團 砲兵科之部
近衛師團 工兵科之部	近衛師團 工兵科之部
近衛師團 軍吏部	近衛師團 軍吏部
近衛師團 衛生部	近衛師團 衛生部

名簿種類	兵種
近衛師團 歩兵科之部	近衛師團 歩兵科之部
近衛師團 騎兵科之部	近衛師團 騎兵科之部
近衛師團 砲兵科之部	近衛師團 砲兵科之部
近衛師團 工兵科之部	近衛師團 工兵科之部
近衛師團 軍吏部	近衛師團 軍吏部
近衛師團 衛生部	近衛師團 衛生部

名簿種類	兵種
近衛師團 歩兵科之部	近衛師團 歩兵科之部
近衛師團 騎兵科之部	近衛師團 騎兵科之部
近衛師團 砲兵科之部	近衛師團 砲兵科之部
近衛師團 工兵科之部	近衛師團 工兵科之部
近衛師團 軍吏部	近衛師團 軍吏部
近衛師團 衛生部	近衛師團 衛生部

備考 本表兵種ノ部中例ヘハ歩兵ノ部ノ上等兵統率則ハ平ノ如キ名稱ヲ掲ケサルハ附箋ヲ要セサルモノナルカ故ナリ○本表中何名簿ニシテ何兵科種トアル左脇ニ記載ノ事項ハ則附箋ノ式ヲ示スモノニシテ其見易キ爲メ朱書ヲ以テ記スヘキモノトス○其二三表書同シ

Table with columns: 名簿部類, 名簿召集, 名簿召集, 名簿召集. Rows include categories like 豫備役軍吏部下士, 豫備役衛生部下士, 豫備役擔架隊下士, 歸休兵充員名簿, 豫備役兵卒充員名簿, 豫備役兵卒召集名簿, 後備將校召集名簿, 後備下士召集名簿, 後備役軍吏部下士, 後備役衛生部下士, 後備役擔架隊下士, 後備役兵卒召集名簿, 後備役兵卒召集名簿.

明治二十六年 度 充員并召集名簿

△ハ朱

△金澤召集		△金澤召集	
名簿部類	種科	名簿部類	種科
充員名簿	歩兵科之部	召集名簿	歩兵科之部
豫備將校充員名簿	歩兵科之部 △二十六年出師年度中注意 一本簿中少佐ハ師團後備將校同 相當官及下士召集ノ令ニテ召集 ハ召集 一本簿ヘ記載スヘキ者ニテ大尉ノ 内指名者ハ師團充員ノ令ニテ名 古屋ヘ召集	後備將校召集名簿	歩兵科之部 △二十六年出師年度中注意 一本簿ヘ記載スヘキ者ノ内少佐 中指名者ハ名古屋ヘ召集
豫備下士充員名簿	歩兵科之部 △一擧架術卒業業者ハ別ニ名簿(充 員名簿ニテアリ)アルヲ以テ入籍 者アルトキ該卒業業者ナルヤ否ヲ 詳ニシテ記入スヘシ	後備下士召集名簿	歩兵科之部
歸休兵充員名簿	歩兵科之部	後備役兵卒召集名簿	歩兵科之部
豫備役兵卒充員名簿	歩兵科之部 △一擧架術卒業業者及軍吏部下士通任 上等兵並衛生隊要員ハ各其名簿 (充員名簿名古屋)アルヲ以テ 入籍者アルトキ記入方注意スヘシ	後備歩兵六聯隊々屬 後備役輜重兵召集名簿 △注意 一本簿ヘ記載スヘキ者ハ人員ニ 定限アルヲ以テ記入方ハ令狀 送致來リタル上裏面ニ依リ取 扱フモノトス	○
豫備歩兵七聯隊々屬 豫備輜重兵科下士充員名簿 △注意 一本簿ヘ記載スヘキ者ハ人員ニ 定限アルヲ以テ記入方ハ令狀 送致來リタル上裏面ニ依リ取 扱フモノトス	○	後備歩兵六聯隊々屬 後備役輜重兵召集名簿 △注意 一本簿ヘ記載スヘキ者ハ人員ニ 定限アルヲ以テ記入方ハ令狀 送致來リタル上裏面ニ依リ取 扱フモノトス	○
豫備歩兵七聯隊々屬 豫備役輜重兵科下士充員名簿 △注意 一本簿ヘ記載スヘキ者ハ人員ニ 定限アルヲ以テ記入方ハ令狀 送致來リタル上裏面ニ依リ取 扱フモノトス	○	後備歩兵六聯隊々屬 後備役輜重兵召集名簿 △注意 一本簿ヘ記載スヘキ者ハ人員ニ 定限アルヲ以テ記入方ハ令狀 送致來リタル上裏面ニ依リ取 扱フモノトス	○
後備役輜重兵召集名簿 △注意 一本簿ヘ記載スヘキ者ハ人員ニ 定限アルヲ以テ記入方ハ令狀 送致來リタル上裏面ニ依リ取 扱フモノトス	○	後備歩兵六聯隊々屬 後備役輜重兵召集名簿 △注意 一本簿ヘ記載スヘキ者ハ人員ニ 定限アルヲ以テ記入方ハ令狀 送致來リタル上裏面ニ依リ取 扱フモノトス	○
後備歩兵七聯隊々屬 後備役輜重兵召集名簿 △注意 一本簿ヘ記載スヘキ者ハ人員ニ 定限アルヲ以テ記入方ハ令狀 送致來リタル上裏面ニ依リ取 扱フモノトス	○	後備歩兵六聯隊々屬 後備役輜重兵召集名簿 △注意 一本簿ヘ記載スヘキ者ハ人員ニ 定限アルヲ以テ記入方ハ令狀 送致來リタル上裏面ニ依リ取 扱フモノトス	○
後備歩兵七聯隊々屬 後備役輜重兵召集名簿 △注意 一本簿ヘ記載スヘキ者ハ人員ニ 定限アルヲ以テ記入方ハ令狀 送致來リタル上裏面ニ依リ取 扱フモノトス	○	後備歩兵六聯隊々屬 後備役輜重兵召集名簿 △注意 一本簿ヘ記載スヘキ者ハ人員ニ 定限アルヲ以テ記入方ハ令狀 送致來リタル上裏面ニ依リ取 扱フモノトス	○

○石川縣訓令乙第九號

郡市役所  
町村役場

本年五月本縣訓令乙第八號二十六年出師年度充員並ニ召集名簿等取扱方別表中左ノ通改正ス  
明治二十六年五月二十六日 石川縣知事 三間正弘

- 一 召集區分調査表充員召集名古屋ノ部後備役兵卒ノ内輜重兵ニ對スル但書左ノ如ク改ム
- 一 但下士適任上等兵ノ内指名者ニシテ步兵七聯隊々屬者並ニ後備步兵六聯隊々屬者ヲ除ク
- 一 充員並ニ召集名簿附箋表其二豫備下士充員名簿ノ内輜重兵科ノ部附箋標準左ノ如ク改ム
- 一 步兵七聯隊々屬者アルヲ以テ入籍者アルトキ記入方注意スヘシ
- 一 同上後備下士召集名簿中衛生部附箋標準二項左ノ如ク改ム
- 一 後備步兵六聯隊々屬者アルヲ以テ入籍者アルトキ記入方注意スヘシ
- 一 同上其三步兵七聯隊々屬後備輜重兵科下士充員名簿及步兵六聯隊々屬後備衛生部下士召集名簿附箋標準左ノ如ク改ム
- 一 本簿へ記載スヘキ者ハ人員ニ定限アルヲ以テ記入方ハ郡役所或ハ監視區長ヨリノ指示ニヨリ取扱フヘシ

石川縣訓令乙第九號參照  
石川縣訓令乙第八號(明治二十六年五月一日發布)別表抄録  
一 召集區分調査表充員召集名古屋ノ部後備役兵卒ノ内輜重兵ニ對スル但書  
但後備步兵六聯隊々屬者ニシテ下士適任上等兵ノ内指名者ヲ除ク  
一 充員並ニ召集名簿附箋表其二豫備下士充員名簿ノ内輜重兵科ノ部附箋標準

訓令乙

一歩兵七聯隊々屬者アルヲ以テ入籍者アルトキハ令狀ノ裏面召集地ニ注意シ記入スヘシ  
 一同上後備下士召集名簿中衛生部附録標準ニ項  
 一後備歩兵六聯隊々屬ノ者アルヲ以テ入籍者アルトキ令狀ノ裏面召集地ニ注意シ記入スヘシ  
 一同上其三歩兵七聯隊々屬豫備備兵科下士充員名簿及歩兵六聯隊々屬後備衛生部下士召集名簿附録標準  
 一本簿へ記載スヘキ者ハ人員ニ定限アルヲ以テ記入方ハ令狀送致來リタル上裏面ニ依リ取扱フモノトス

○石川縣訓令乙第十號

郡 役 所

本月十一日ヨリ來ル九月十日迄中休暇ヲ賜候ニ就テハ御用差支無之様致スヘシ且賜暇中旅行致  
 度モノハ其行先届出ツヘシ

明治二十六年七月十日

石川縣知事 三間正弘

○石川縣訓令乙第十一號

郡 市 役 所  
町 村 役 場

二十六年度縣稅戶數割追加額ハ後期ニ併セテ之ヲ徵收ス其取扱方左ノ通相心得ヘシ  
 一 本年四月一日現在人員及一戸平均額 郡ハ拾七錢三厘五毛四 依リ各市町村ノ總賦課額ヲ定メ  
 各市町村會ニ於テ既ニ議定シタル歩合ニ據リ後期分賦額ヲ査定スヘシ  
 二 本年四月一日後移轉又ハ義務消滅ニ係ルモノノ分賦額ハ縣稅取扱心得第四條ニ據リ本年八月  
 三十一日限更ニ通報スヘシ  
 三 本年四月一日後納稅義務ノ生シタルモノニシテ十月一日現在員及十月一日後納稅義務ノ生シ  
 タルモノハ第一項ノ平均額ニ依リ徵收スヘシ

明治二十六年七月二十一日

石川縣知事 三間正弘

○石川縣訓令乙第十二號

郡 市 役 所

本年海軍兵役志願者検査ハ本月十四日ヨリ別表日割ノ通施行相成候ニ付各志願者ハ實印持參検査  
 所へ出頭スヘキ様無油通達方取計フヘシ

明治二十六年九月一日

石川縣知事 三間正弘

(別表)

海軍兵役志願者検査日割表

検査場	検査日	富山縣 著	高岡 著	人員	記 事
鹿島郡	九月十四日	九月十三日	七尾 著	十九人	鹿島鳳至ノ二郡
七尾町	九月十七日	九月十六日	同 飯田 著	五人	
飯田郡	九月二十日	九月十九日	同 飯田 著	十四人	
羽咋郡	九月二十一日	九月二十日	同 羽咋 著	三十二人	
津幡町	九月二十三日	九月二十二日	同 津幡 著	四十八人	第二日目ノ三十七人ノ内七名
石川郡	九月二十四日	九月二十三日	同 松任 著	三十七人	ハ金澤ノ志願者ヲ合ス
松任町	九月二十五日	九月二十四日	同 松任 著	二十六人	
小美郡	九月二十六日	九月二十五日	同 小松 著	三十五人	
小松町	九月二十八日	九月二十七日	同 小松 著	三十人	



江沼郡	九月二十九日	九月二十八日	大聖寺著	十七人
大聖寺町				
合計	十一日			二百八十五人

一 志願者検査場へ参集時限ハ午前六時三十分トス  
 ○石川縣訓令乙第十三號

明治二十三年五月石川縣訓令第七十九號ヲ廢止ス

明治二十六年九月二十二日

石川縣知事 三間正弘

市役所  
町村役場

石川縣訓令乙第十三號參照

明治二十三年五月二日石川縣訓令第七十九號ハ、澤着物公會代價ノ内首渡ニ係ル分徴收方ノ件ナリ

○石川縣訓令乙第十四號

市役所  
町村役場

本年海軍省告示第三號ニ依リ海軍兵學校機關生徒希望者コシテ誕辰證書ノ交付方申出候節ハ該生徒志願者心得第一條第二項一二三ノ事故ノ有無ヲ審査シ其證書ヲ添附スヘシ

明治二十六年九月二十九日

石川縣知事 三間正弘

○石川縣訓令乙第十五號

明治二十五年五月本縣訓令第五十八號ヲ廢止ス

郡市役所

明治二十六年十月六日

石川縣知事 三間正弘

石川縣訓令乙第十五號參照

石川縣訓令第五十八號明治二十五年五月三十一日發布公報第四十二號

探掘特許者ニアラシテ鑛物製煉業ニ從事スル者アルトキハ本年五月農商務省訓令第十五號ニ據リ取調指出スヘシ

○石川縣訓令乙第十六號

市役所  
町村役場

屯田兵志願者願書ニ添附スヘキ書類ノ義ハ同兵召募規則第五條及第六條ニ明記アリト雖モ尙ホ左ノ事項ハ検査上參考ニ供セラレ度趣ニ付左ノ書式ニ據リ其證明ヲナシ願書ト共ニ差出スヘシ

明治二十六年十月十八日

石川縣知事 三間正弘

(書式)

證明書

何郡(市)何町(村)字何番地

一 素行修マリシモノ(素行修ラス)

何 某

二 家族中禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルモノナシ(父某明治何年何月何罪ノ爲メ何刑ニ處セラレ又ハ兄某云々)

三 志願本人ハ勿論家族中血統病ニ關スル惡疾ノモノナシ(母某實祖父(實父)天刑病ノ爲メ死没セシコトアルモ未タ本人及ヒ其他ノ子孫トモ其徵効ノモノナク常ニ農業ニ從事セリ又ハ妻某目下天刑病發患右足指皆脫步行ニ堪ヘス)

訓令乙

四 家族制限外ニ係ル弟某何歳一人ヲ分戸附籍トナシ自費移住セシムルモ家屋布其他田畑ヲ賣却スルトキハ金何圓ヲ携帶シ得ヘキヲ以テ該渡航費及ヒ移著後ノ生計ニハ差支ナシト認ム右取調候處前項記載ノ通り相違無之候也  
年 號 月 日 何縣何郡(市)町(村)長何某印

○石川縣訓令乙第十七號

來ル明治二十七年召募士官候補生及幼年學校生徒志願者出願期日告示候ニ就テハ願人身上明細表ハ本年十月陸軍省告示第八號該生召募試驗事務手續第二條第二號書式ニ準シ郡市長ニ於テ調製シ願書ト共ニ差出スヘシ  
明治二十六年十一月十日 石川縣知事 三間正弘

○石川縣訓令乙第十八號

岡山縣津高郡建部村役場ニ備置ノ同村大字櫻、市場、中田、西原ニ係ル出入寄留簿並關係書類本年十月十四日暴雨洪水ノ際悉皆流亡シ今回更ニ調製ヲ要スルニ就テハ該村在籍者ニシテ本縣内寄留ノ者ハ明治十九年内務省訓令第二十號寄留簿登記書式ニ依リ其必要事項等ヲ詳記シ又本縣在籍者ニシテ該村寄留ノ者ハ寄留屆書寫ヲ本年十二月二十五日迄ニ該村役場へ届出ヲ要スル旨同縣ヨリ申來候條該當者有之候ハ、右手續相違候様取計フヘシ  
明治二十六年十一月二十八日 石川縣知事 三間正弘

○石川縣訓令乙第十九號

石川縣訓令乙第十九號參照  
石川縣訓令第六十九號(明治二十五年八月九日發布公報第五十六號)  
免租地ヲ有租地ト爲シ若クハ有租地ヲ免租地ト爲サントスルトキ地租ノ總額ニ係ルモノハ先ツ地租條例ニ定ムル手續ニ依リ賦免ノ處分ヲ了シタル上申立サスヘシ  
明治二十五年八月本縣訓令第六十九號ハ本年十二月以降廢止ス  
明治二十六年十一月二十九日 石川縣知事 三間正弘

○石川縣訓令乙第二十號

明治二十五年五月本縣訓令第四十一號陸軍召集旅費出納官中左ノ通異動ス  
明治二十六年十二月五日 石川縣知事 三間正弘

郡市名	支給所	出納官氏名
金澤市	金澤收稅署	收稅屬 松田左忠
陸軍召集旅費臨時出納官人名		
郡市役所		郡市役所
町村役場		町村役場
郡市役所		郡市役所
市町村立小學校		市町村立小學校

訓令乙

十七

明治二十二年石川縣訓令第百十六號小學督業職務規程ヲ廢止ス

明治二十六年十二月二十八日

石川縣知事 三間正弘

告示

○石川縣告示第一號

明治二十五年文部省令第八號尋常師範學校ノ學科及其程度第五條ニ依リ石川縣尋常師範學校ノ學級ヲ左ノ通編制ス但毎年卒業及募集ノ生徒員數ノ都合ニ依リ漸次完成ス

明治二十六年一月十日

石川縣知事 鈴木大亮

- 一 男生徒(簡易科生)ハ四學級ニ編制シ各學級ノ定員ヲ二十二トス
- 二 女生徒ハ二學級ニ編制シ各學級ノ定員ヲ十九トス
- 三 簡易科生徒ハ一學級ニ編制ス

○石川縣告示第二號

石川縣尋常師範學校簡易科生徒學費支給方法ハ明治二十五年石川縣告示第五十二號石川縣尋常師範學校生徒學費支給方法ニ據ル

明治二十六年一月十日

石川縣知事 鈴木大亮

○石川縣告示第三號

本縣下石川郡富樫村役場位置同村字圓光寺へ變更ス

明治二十六年一月十四日

石川縣知事 鈴木大亮

○石川縣告示第四號

本縣下河北郡ニ於テ左ノ區域ヲ以テ八田三個用水普通水利組合ヲ設置シ同郡八田村長ヲシテ之ヲ管理セシム

組合區域

告示

河北郡

大場村 字イノ部ヨリスノ部迄 段別百九十二町四段六畝二十四步

八田村 字イノ部ヨリスノ部迄 段別百十三町三段八畝十三步

崎田村字忠繩 字イノ部ヨリスノ部迄 段別四十一町八段八畝二步

明治二十六年一月十四日

石川縣知事 鈴木大亮

○石川縣告示第五號

本縣下羽咋郡ニ於テ左ノ區域ヲ以テ寶達川水害豫防組合ヲ設置シ同郡北莊村長ヲシテ之ヲ管理セシム

組合區域

羽咋郡

中莊村字上田 全村字門前

北莊村字寶達 全村字河原

全 村字山崎 全村字小川

末森村字米出

中莊村字上田出ノ内字キノ部外七字段別三町九段五畝八步

明治二十六年一月十四日

石川縣知事 鈴木大亮

○石川縣告示第六號

明治二十五年年度縣稅歲入出豫算追加ノ件府縣制第四十三條ノ二項ニ依リ縣參事會ノ決議ヲ經左記ノ通追加ス

明治二十五年年度石川縣歲入歲出豫算追加

歲入

臨時部

第三 款 寄附金 金百圓

第一 項 寄附金 金百圓

歲入總計金百圓

歲出

經常部

第六 款 教育費追加 金百圓

第三 項 工業學校費追加 金百圓

歲出總計金百圓

明治二十六年一月十四日

石川縣知事 鈴木大亮

○石川縣告示第七號

天然痘患者届出タルモノ左表之通

明治二十六年一月十四日

石川縣知事 鈴木大亮

天然痘患者

市	自治	明治二十五年	十二月	一	日
市	至全		十二月	三十一	日
市	患		死		亡

告示

三

江	能	石	河	羽	鹿	鳳	珠	合
沼	美	川	北	咋	島	至	洲	計
郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡
三	二	一	一	一	三	一	一	二
三	一	一	一	一	一	一	一	六

○石川縣告示第八號

本縣石川郡中島用水普通水利組合區域中比樂島村字水島外二个所ニ係ル段別左記ノ通變更ノ義組合會ノ決議ニ據リ管理者ヨリノ稟請ニ對シ認可ヲ與ヘタリ

石川郡比樂島村字水島ノ內段別六拾二町五段二十八步

全郡全村字源兵衛島ノ內段別四十八町九段三畝二十五步

能美郡中島村字宮竹新ノ內段別三拾七町四段四畝二步

明治二十六年一月十九日

石川縣知事 鈴木大亮

○石川縣告示第九號

本縣尋常師範學校ニ於テ本年四月入學セシムヘキ生徒左ノ通り募集ス志願ノ者ハ明治二十五年文部省令第十號尋常師範學校生徒募集規則及本年石川縣令第四號石川縣尋常師範學校生徒募集細則ニ據リ本年二月十五日マテニ郡市役所ヲ經テ出願スヘシ

但第一種生徒滿員ニ至ラサルトキハ第二種生徒ヲシテ補充セシムヘキニ付志願ノ者ハ出願スヘシ

明治二十六年一月十九日

石川縣知事 鈴木大亮

第一種男生徒(簡易科生)江沼能美河北ノ三郡ハ各一名石川羽咋ノ二郡ハ各二名鹿島鳳至珠洲ノ三郡ハ各三名金澤市ハ四名トス

第一種簡易科生徒能美鳳至ノ二郡ハ各三名其他ノ市郡ハ各二名トス

第二種簡易科生徒ハ一名トス

○石川縣告示第十號

明治二十五年七月ヨリ十二月ニ至ルマテ半年間六種傳染病患者統計左表ノ通

石川縣知事 鈴木大亮

六種傳染病患者統計 自明治二十五年七月一日至全 十二月三十一日

加賀國	郡市名		病名	虎列刺	腸室扶斯赤	痢	實扶的里亞	發疹室扶斯痘	瘡
	患者	死者							
金澤市	五七	二二				三〇	八三		三六
江沼郡	一三	一				一一			四五
能美郡	一九	一				一三			一五
石川郡	三四	二五				二一			三六
河北郡	二九	一七				六九			三一
羽咋郡	二八	一三				三七			一五

告示

五

鹿島郡		鳳至郡		珠洲郡		合計
患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	
三九	八	三九	七	二七	二	三〇三
一三七	一	二七	二	一〇八	二六	一九七〇
一	一	一	一	一	一	一〇七
一	一	一	一	一	一	一七
一	一	一	一	一	一	一七

○石川縣告示第十一號  
 明治二十五年通常縣會ニ於テ名譽職縣參事會員ノ補充員ヲ互選シ左ノ通當選セリ

- 松井善四郎
- 田中喜太郎
- 西田彦平
- 橋本勇次

石川縣知事鈴木大亮

明治二十六年一月二十七日

○石川縣告示第十二號  
 牛痘苗取締上ノ義ニ付今般內務省衛生局ヨリ通達ノ趣有之候ニ付自今大日本私立衛生會牛痘種繼所製造ノ分ヲ首トシ總テ痘苗製造者ノ痘苗ニシテ不感若クハ不良ノ成績(例之丹毒蔓延性及下結締織炎皮膚病其他併發病症等)ヲ呈スルモノ有之トキハ牛漿ト人傳漿トノ別ナク該苗ノ包紙(殘漿アレハ共ニ)ヲ添ヘ當該郡役所ヘ申報スヘシ

明治二十六年一月二十七日

石川縣知事鈴木大亮

○石川縣告示第十三號

明治二十五年度縣稅歲入豫算中雜收入追加ハ府縣制第四十三條ノ一並ニ本縣窮民救濟金歲入豫算追加ハ同第四十三條ノ二依リ縣參事會ノ決議ヲ經左ノ通追加ス

歲入

經常部

第七款 雜收入追加 金五拾五圓七拾五錢

第十四項 手數料追加 金五拾五圓七拾五錢

明治二十五年石川縣窮民救濟金歲入豫算追加

歲入

經常部

第二款 公債證書當籤 金六百圓

第一項 公債證書當籤 金六百圓

明治二十六年一月二十七日

石川縣知事鈴木大亮

○石川縣告示第十四號

本縣下江沼郡ニ於ケル大聖寺川水害豫防組合區域段別及小字左記ノ通更正ス

江沼郡動橋村字動橋ノ内 「字ガケノ下地等」ヲ「字ト外五字地」トシ段別十九町七段五畝二十步トス

全郡全 村字合河ノ内 「字ハ外三字地」ヲ「字ヨ外九字地」トシ段別十四町五段三畝十五步トス

全郡庄 村字加茂ノ内 「字頭外二十八字地」ヲ「字一外二十二字地」トス

告示

- 全 郡全 村字西島ノ内 「字麥水門地」ヲ「字リ外二十字地」トス
- 全 郡全 村字七日市ノ内 「七日市堀地」ヲ「字イ外十六字地」トス
- 全 郡全 村字庄ノ内 「字ガケノシタ地等」ヲ「字イ外十四字地」トス
- 全 郡全 村字桑原ノ内 「字菜洗外一字地」ヲ「字チ外五字地」トス
- 全 郡勅使村字上野ノ内 「字ミソ水地」ヲ「字レ外八字地」トス
- 全 郡全 村字森ノ内 「字下ヲ地等」ヲ「字イ外八字地」トス
- 全 郡全 村字二子塚ノ内 「字高野地」ヲ「字イ外二十六字地」トス
- 全 郡全 村字津波倉ノ内 「字西野地」ヲ「字ロ外二字地」トス
- 全 郡勸橋村字八日市ノ内 「字上ノ繩外一字地」ヲ「字イ外二字地」トス
- 全 郡全 村字中島ノ内 「字古川地」ヲ「字ウノ部」トス
- 全 郡山代村字山代ノ内 「字一外五十二字地」ヲ脱ス
- 全 郡福田村字敷地ノ内 「字イ外二十字地」ヲ脱ス

明治二十六年一月二十七日

石川縣知事 鈴木大亮

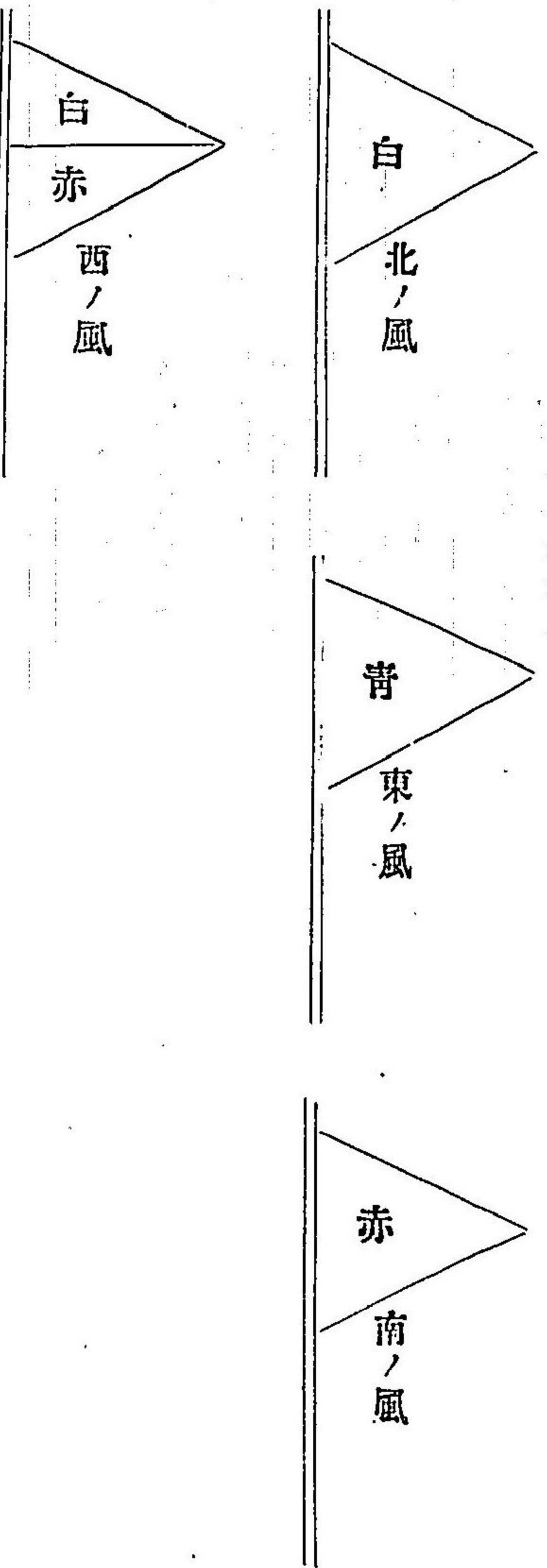
○石川縣告示第十五號

今般内務大臣ノ認可ヲ得テ來ル二月一日ヨリ金澤測候所ニ於テ地方天氣豫報ヲ發布候ニ付同日ヨリ左ノ通本縣廳構内ニ其信號標ヲ掲揚ス  
但豫報ハ當分ノ内金澤市ノミニ發ス  
明治二十六年一月二十七日

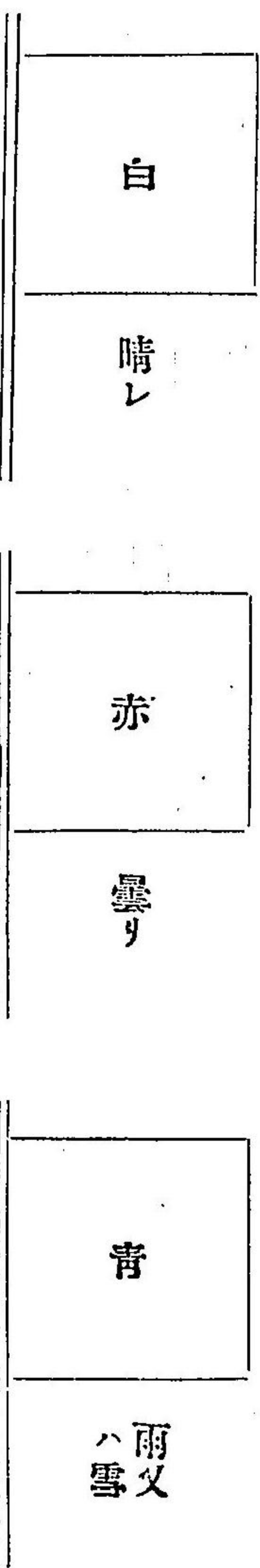
豫報信號標

石川縣知事 鈴木大亮

一 豫報信號標ハ三角旗、方旗及長旗ノ三類トス  
一 三角旗ハ風向ヲ豫報スルモノニシテ其分類左ノ如シ

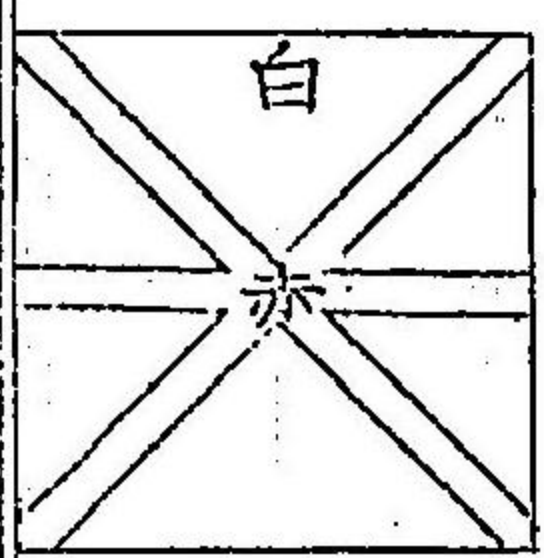


一 方旗ハ天氣ヲ豫報スルモノニシテ其分類左ノ如シ



告示

告示



一長疏ハ温度ノ昇降ヲ豫報スルモノニシテ其分類左ノ如シ

白
白赤
赤
白赤
赤
白

霧

白
赤

霜

青

寒クナル(冬、春)  
涼クナル(夏、秋)

赤

暖クナル(冬、春)  
熱クナル(夏、秋)

○石川縣告示第十六號

明治二十五年十月本縣告示第四百四十六號期日表中一月ノ下タ「三十日」トアル三字ヲ削除ス

明治二十六年二月二日

石川縣知事鈴木大亮

○石川縣告示第十七號

本年本縣農學校ニ於テ左ノ通生徒ヲ募集スルニ付志願ノ者ハ明治二十四年石川縣令第三十八號第二十條及明治二十三年石川縣令第五十四號第五條ニ依リ郡市役所ヲ經テ本年三月十日マテニ出願スヘシ但入學試験ハ郡市役所ニ於テ施行スヘキニ付該試験等ニ關スル事ハ郡市役所ニ就キ承合スヘシ

明治二十六年二月二日

石川縣知事鈴木大亮

一本科 三十一人

一撰科(養蠶) 二十人

一獸醫別科 十五人

○石川縣告示第十八號

明治二十五年本縣告示第二百二十六號中毎年ノ下二月トアルヲ三月ト改ム

石川縣知事鈴木大亮

明治二十六年二月四日

石川縣告示第十八號參照

石川縣告示第二百二十六號(明治二十五年九月二日發布公報第五十九號)

本縣巡查守及其遺族ニテ巡查守給助例ニ依リ年金受給者ハ自今別紙書式ニ據リ請求書ヲ編製シ所在市町村長ノ與書ヲ受ケ毎年二月兩度ニ差出スヘシ

但本年ニ限リ九月十五日迄ニ差出スヘシ

(別紙書式略ス)

○石川縣告示第十九號

明治二十五年度本縣歳入歳出豫算書追加本縣々會ノ決議ヲ經左ノ通相定ム

明治二十五年度石川縣歳入歳出豫算追加

歳入臨時部

第二款 財産賣拂代追加

金千百拾六圓四拾貳錢

第一項 不動産賣拂代追加

金千百拾六圓四拾貳錢

明治二十六年二月四日

石川縣知事鈴木大亮

○石川縣告示第二十號

告示

十一



本年一月中届出タル痘瘡患者及死亡左表ノ通

明治二十六年二月四日

痘瘡患者及死亡

石川縣知事 鈴木大亮

郡市名	患者	死亡
金澤市	一八	一
江沼郡	一	一
能美郡	一三	一
石川郡	一三	一
河北郡	一	一
河内郡	一	一
羽咋郡	二七	一
鹿島郡	三	一
鳳至郡	二五	一
珠洲郡	一〇	一
合計	一〇八	二〇

○石川縣告示第二十一號

非役正七位以下同勳七等以下及退職罷役正七位以下同勳七等以下ノ輩來ル十一日午前第九時紀元節ニ付參賀トシテ禮服着用出處スヘシ

但本廳遠隔ノ地ニ在住或ハ寄留ノ向ハ二月十一日付テテ賀表差出スヘシ

明治二十六年二月八日

石川縣知事 鈴木大亮

○石川縣告示第二十二號

本月二十四日ヨリ本縣尋常師範學校内ニ於テ二十五年度石川縣教育會ヲ開設ス

明治二十六年二月八日

石川縣知事 鈴木大亮

○石川縣告示第二十三號

明治二十六年度營業稅雜種稅課目課額本縣々會ノ議決ヲ經別冊ノ通相定ム

明治二十六年二月十四日

石川縣知事 鈴木大亮

(別冊)

明治二十六年度石川縣營業稅雜種稅課目課額表

營業	營業稅						平均年 稅額		
	一等稅區	二等稅區	三等稅區	四等稅區	五等稅區	六等稅區			
金澤	能美 小松	江沼 大聖寺 安宅	石川 上金石 七尾	美川 山代 能美 寺井 湊	石川 河北 幡 羽咋 高濱 鳳至 輪島	宇出津 飯田	鹿島	全	壹圓八拾錢
石川	能美 石川	江沼 大聖寺 安宅	石川 上金石 七尾	美川 山代 能美 寺井 湊	石川 河北 幡 羽咋 高濱 鳳至 輪島	宇出津 飯田	鹿島	全	壹圓四拾錢
粟津	石川 下金石	江沼 大聖寺 安宅	石川 上金石 七尾	美川 山代 能美 寺井 湊	石川 河北 幡 羽咋 高濱 鳳至 輪島	宇出津 飯田	鹿島	全	壹圓三拾錢
野々市	石川 黑島 穴水 珠洲 小木	江沼 大聖寺 安宅	石川 上金石 七尾	美川 山代 能美 寺井 湊	石川 河北 幡 羽咋 高濱 鳳至 輪島	宇出津 飯田	鹿島	全	壹圓貳拾錢

告示

告示

七等 稅區	八等 稅區	九等 稅區	十等 稅區	十一等 稅區
江沼 橋 羽咋 鹿島 鳳至 江沼 鹽屋 能美 石川 鹿島 出城 粟崎 田鶴濱 江沼 橋 羽咋 鹿島 鳳至 江沼 鹽屋 能美 石川 鹿島 出城 粟崎 田鶴濱	江沼 橋 羽咋 鹿島 鳳至 江沼 鹽屋 能美 石川 鹿島 出城 粟崎 田鶴濱	江沼 橋 羽咋 鹿島 鳳至 江沼 鹽屋 能美 石川 鹿島 出城 粟崎 田鶴濱	江沼 橋 羽咋 鹿島 鳳至 江沼 鹽屋 能美 石川 鹿島 出城 粟崎 田鶴濱	江沼 橋 羽咋 鹿島 鳳至 江沼 鹽屋 能美 石川 鹿島 出城 粟崎 田鶴濱
全	全	全	全	全
壹圓拾錢	壹圓	九拾錢	八拾錢	七拾錢

十四

十二等 稅區	十三等 稅區
江沼 橋 羽咋 鹿島 鳳至 江沼 鹽屋 能美 石川 鹿島 出城 粟崎 田鶴濱 江沼 橋 羽咋 鹿島 鳳至 江沼 鹽屋 能美 石川 鹿島 出城 粟崎 田鶴濱	江沼 橋 羽咋 鹿島 鳳至 江沼 鹽屋 能美 石川 鹿島 出城 粟崎 田鶴濱 江沼 橋 羽咋 鹿島 鳳至 江沼 鹽屋 能美 石川 鹿島 出城 粟崎 田鶴濱
全	全
六拾錢	五拾錢

告示

十五



二

類

唐木細工職  
上給職  
範付職  
印版職  
摺物職  
佛檀職  
藝物職  
縫箔職  
鑄物師職

時繪職  
染物職  
彫物職  
銅版職  
佛師職  
佛具職  
革細工職  
金銀銅細工職

圓壹

錢拾五

錢五拾九

厘五錢貳拾四圓壹

錢拾八圓壹

錢五拾貳圓貳

錢拾七圓貳

厘五錢七拾九圓貳

錢拾四圓三

厘五錢貳拾八圓三

錢五拾貳圓四

錢拾四

家大工職  
車大工職  
雜具大工職  
左官職  
神檀職  
沈金職  
陶器職  
法表仕立職  
股引仕立職  
腹掛仕立職

船大工職  
椅子大工職  
建具職  
表具職  
指物職  
塗師職  
和服仕立職  
足袋仕立職  
脚半仕立職  
手覆仕立職

三

類

馬具職  
合羽職  
扇子職  
筆職  
鬚職  
琴三味線弦職  
酒類杜氏職  
活版器械職  
學術器械職  
火防器械職  
葬具職  
ラムネ職  
製藥職  
度量衡職  
煙草刻職  
護謨引職  
井戸堀職

蝠蝠傘職  
履物職  
團扇職  
製本職  
遊本職  
玩弄物細工職  
金銀吹分職  
料理職  
測量器械職  
醫術器械職  
銃炮銀治職  
花簪細工職  
藥劑職  
生藥職  
菓子職  
鍍金職  
防水布職  
木地職

錢拾五

錢五拾貳

厘五錢七拾四

厘三錢壹拾七

錢拾九

厘五錢貳拾圓壹

錢五拾三圓壹

厘八錢八拾四圓壹

錢拾七圓壹

厘三錢壹拾九圓壹

厘五錢貳拾圓貳

錢拾貳